

## XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめている。なお、データは平成 27 年 3 月 31 日現在のものである。

## 1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 増子 和男
------------------	----------

## 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	早稲田大学 第一文学部 文学科中国文学専修[1976 年 03 月卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 中国文学専攻[1978 年 03 月修了] 早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989 年 4 月～1991 年 3 月) 鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991 年 4 月～1995 年 3 月) 九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994 年 4 月～1999 年 3 月) 梅光女学院大学 文学部 助教授(1995 年 4 月～2001 年 3 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 梅光学院大学 文学部教授(2001 年 4 月～2008 年 3 月) 東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002 年 4 月～2004 年 3 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002 年 4 月～2008 年 3 月) 山口大学 非常勤講師兼任(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008 年 2 月～2008 年 2 月) 茨城大学 教育学部教授(2008 年 4 月～) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任(2011 年 4 月～2014 年 3 月) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科)非常勤講師兼任(2011 年 4 月～) 茨城大学教育学部附属特別支援学校校長併任(2012 年 4 月～2015 年 3 月)
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本中国学会, 全国漢文教育学会, 和漢比較文学会, 中唐文学会, 早稲田大学中国文学会, 中国詩文研究会, 中国古典学会, 日本詩経学会, 日本聞一多学

	会, 早稲田大学国文学会
専門分野	各国文学・文学論
教育研究概要	唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。 文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。 また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。
	(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[日中比較妖怪学入門] (専門科目)漢文学概論, 漢文学演習 I, 漢文学演習 II, 初等国語科内容研究, 漢文学基礎, 漢文学研究法 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 漢文学研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

- [著書・共著]井上一之、住谷孝之、増子和男、丸井憲「新訂 中国詩文」, 中国詩文研究会, 89-93,94-97,98-100,203-211,212-221(2015 年 04 月 01 日)
- [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]増子和男「産死鬼考」, 中国詩文論叢, 34, 223-235(2015 年 12 月)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

- [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] 増子 和男「馳怪異譚考—日中比較の立場から—」国際シンポジウム・東アジア文化交流—妖異・怪異・変異—() [2015 年 12 月 19 日]
- [口頭発表(一般)・(単独)] 増子 和男「産鬼伝説考—ウブメ伝説の構成要素の検討—」和漢比較文学会第8回海外特別例会() [2015 年 08 月 31 日]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

- [非常勤講師] 早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科)・非常勤講師, 6(時間/月)(2011 年 04 月～)

#### ○ 学協会での役職

- 日本詩経学会, 理事(2002 年 04 月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

中国 西安 西北大学[学会発表](2015 年 8 月～9 月:7 日間)

学校教育教員養成課程(国語教育)

氏名 川嶋 秀之

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1955年11月
学歴・職歴	東京都立大学大学院 人文科学研究科 国語学[1987年]
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	古事記学会, 日本方言研究会, 国語学会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション[日本語の世界] (専門科目)国語学演習 II, 国語学概論, 初等国語科内容研究, 国語学演習 I, 言語と文化の諸相, 郷土の言葉, 保育内容の研究(言葉), 初等国語科内容研究, 国語表現法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 古典語特論

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・分担執筆]『擬音語・擬態語辞典』, 講談社学術文庫, (2015年05月08日)

**社会的活動、地域貢献など**

○ 行政機関等での委員就任

1. 「第10回茨城弁交通安全川柳コンテスト」(財)茨城県交通安全協会[特別審査委員]

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 鈴木 一史
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 7 月
学歴・職歴	筑波大学大学院 教育研究科 教科教育専攻[1996 年 03 月修了] 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000 年 4 月～2012 年 3 月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002 年 4 月～2004 年 3 月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005 年 4 月～2012 年 3 月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007 年 4 月～2012 年 3 月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会, 日本読書学会, 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作文コーパス 教科書分析 作文語彙 授業開発
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究, 初等国語科内容研究, 初等国語科教育法研究, 保育内容の研究(人間関係), 国語科教育法特講 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育特論 I, 国語科教育演習 I

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [単行本(一般書)・]鈴木一史 授業づくり研究会「言語活動アイデア事典」, 明治図書, (2016 年 03 月)</li> <li>2. [著書・単著]「講座 日本語コーパス4 コーパスと国語教育」, 朝倉書店, 30-50(2015 年 12 月 15 日)</li> <li>3. [著書・単著]鈴木一史「授業を変える課題提示と発問の工夫39」, 明治図書, (2015 年 09 月)</li> <li>4. [(MISC)総説・解説(その他)単著]鈴木一史「授業に引き込む導入の工夫ー授業の質的变化と課題設定の要素ー」, 教育科学国語教育, <b>57</b>, 12, 4-8(2015 年 12 月 01 日)</li> <li>5. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]鈴木一史「作文コンクール入賞作品の文体特徴 ー小平作文コンクールの語彙素解析をもとにー」, 解釈, <b>61</b>, 5.6, 2-11(2015 年 06 月 01 日)</li> </ol>
--

6. [(MISC)総説・解説(その他)単著]「書き言葉・話し言葉指導」, 教育科学 国語教育, **57**, 5, 58-59(2015年05月01日)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 鈴木一史「アンケートから見る教師の意識」日本国語教育学会茨城支部地区研究会(茨城大学)[2016年02月06日]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 免許状更新講習・(2012年04月～)

### ○ 学協会での役職

1. 日本国語教育学会, 高等学校部会副部会長(2010年04月～)  
 2. 解釈学会, 常任委員・編集委員(2009年01月～)  
 3. 日本国語教育学会, 全国大会企画委員(2008年04月～)  
 4. 日本国語教育学会, センター試験問題検討委員(2005年04月～)

### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「第47回 解釈学会全国大会(国内)」, [企画・運営](2015年08月)  
 2. 「授業づくり研究会(国内)」, [企画・運営,その他](2015年08月)  
 3. 「第78回 国語教育全国大会」, 日本国語教育学会(東京)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,企画・運営](2015年08月)  
 4. 「授業づくり研究会(国内)」, [](2015年07月)  
 5. 「授業づくり研究会(国内)」, [](2015年06月)  
 6. 「第68回 高等学校部会研究会」, [企画・運営,その他](2015年05月)  
 7. 「授業づくり研究会(国内)」, [](2015年05月)  
 8. 「授業づくり研究会」, [](2015年04月)  
 9. 「第34回 茨城国語教育学会研究会(国内)」, 茨城国語教育学会[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ,パネリスト,企画・運営](2015年03月)  
 10. 「水戸市国語同人会(国内)」, [その他](2015年02月)  
 11. 「授業づくり研究会」, [](2015年01月)

### ○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「日本教育大学協会」(2015年～)  
 2. [その他公的社会活動]「磯崎小学校校内研究会 講師」(2015年～)  
 3. [その他公的社会活動]「日本学術振興会」(2013年～)  
 4. [学外審議会・委員会等]「センター試験問題問題検討委員」(2002年04月～)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

中国 南京、揚州・南京大学外語学院、個園、瘦西湖[シンポジウム参加、実地踏査](2014 年 8 月 3 日ー7日)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「教科書コーパスと作文コーパスとのリレーション解析による言語教育の影響と授業開発」, 310 万円 (2013 年 04 月～2016 年 03 月)

○ 共同研究・受託研究

1. [学内共同研究]「新しい再生医療社会を理解し迎えるためのモデル教育の創出と提言(分担)」, 未詳(2014 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 橋浦 洋志
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	特任教授
学歴・職歴	東北大学 文学部 国文[1973 年卒業] 東北大学大学院 文学研究科 日本近代文学[1976 年修了]
学位	修士(文学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会 日本文芸研究会 日本近代文学会
専門分野	日本近代文学
教育研究概要	近代日本文学研究 特に「北村透谷」「夏目漱石」「芥川龍之介」を中心に、方法の問題と詩精神との関わりについて考察すると同時に、近現代詩についての批評活動を行う。  (キーワード)小説及び詩の方法の問題を作品構造の分析を中心に考察する。
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論[ことばの力実践演習] (専門科目)教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科内容研究, 近・現代散文研究 I, 近・現代韻文演習 I, 保育内容の研究(言葉), 教育における平和学, 初等国語科内容研究, 国文学史, 近・現代散文研究 II, 近・現代韻文演習 II, 卒業研究(教育:4 単位)  (大学院科目)研究と教育—知の往還をめぐって—, 言語文化総合研究, 近代文学特論, 現代文学研究 II

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等

1. []橋浦洋志「山村暮鳥—詩想の展開—」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 65 (2016 年 03 月 31 日)

**研究業績(2)学会発表など****研究業績(3)芸術・体育系の活動**

[芸術活動]詩集『水俣』(思潮社)(茨城文学賞 平成9年度、第八回日本詩人クラブ新人賞 1998)  
(年度不詳)

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 全労済・小学生作品コンクール・作文の部 審査委員長(茨城県)(2007年01月～)
2. [兼業] 全労済・小学生作品コンクール・作文の部 審査委員長(茨城県)(2006年01月～)
3. [出前授業] 茨城県立佐竹高等学校・(2005年03月～)
4. [その他] 全労済・小学生作品コンクール・作文の部 審査委員長(茨城県)(2005年01月～)

## ○ 地域協力活動

1. [マスコミ活動]「茨城詩壇(茨城新聞)選者(隔週)」(2006年01月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**



学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 小野寺 淳
-------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年8月
学歴・職歴	筑波大学 人文学類 歴史地理学[1978年] 筑波大学大学院 歴史・人類学研究科 史学専攻(歴史地理学)[1985年]
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会 日本国際地図学会 東京地学協会 日本地理学会 人文地理学会 歴史地理学会 茨城地理学会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。  (キーワード)江戸時代の古地図研究,伊勢参り,古道,城下町
担当科目	(教養科目)社会と人間[都市の歴史的景観], 主題別ゼミナール[地域と世界を考える] (専門科目)歴史地理学II(免許あり), 人文地理学E/人文地理学I/人文地理学I/ 人文地理学, 初等社会科内容研究, 地域へのアプローチ, 地理学野外実習I, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 人文地理学演習, 卒業研究(教育:4単位)  (大学院科目)人文地理学特論, 人文地理学演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [(MISC)その他記事単著]「図書館を活用したアクティブ・ラーニング」, 地理, 60, 12, 28-32(2015年12月01日)
2. [(MISC)その他記事単著【査読あり】]「書評:羽山久男『知行絵図と村落空間』」, 地理学評論, 88, 6, 627-628(2015年11月01日)

### 研究業績(2)学会発表など

## ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 永山未沙希「長久保赤水の地図作製過程-古川古松軒と高山彦九郎との関係を中心に-(永山未沙希・小野寺淳)」歴史地理学会第 242 回例会(日本大学文理学部)[2016 年 02 月 27 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小野寺淳・増子和男・千葉真由美・上杉和央・石井智子・岩間絹世・永山未沙希「長久保赤水の地図作製過程-新出史料の伝来を中心に-」日本地理学会 2015 年秋季学術大会(愛媛大学)[2015 年 09 月 18 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 石井智子「明治期の民間地図製作者酒井捨彦の地図(石井智子・小野寺淳・塚本麻文)」歴史地理学会第 58 回大会(米沢市)[2015 年 06 月 28 日]

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 行政機関等での委員就任

1. 「北茨城市創生推進会議委員」北茨城市長 豊田稔

## ○ 学協会での役職

1. 歴史地理学会, 常任委員長(2015 年 06 月~2017 年)
2. 日本地理学会, 代議員(2013 年~2015 年)
3. 茨城地理学会, 会長(2012 年 08 月~)
4. 人文地理学会, 協議員(2007 年~)
5. 茨城地理学会, 常任委員長(2006 年~)
6. 日本国際地図学会, 評議員(2005 年 04 月~)

## ○ 学外教育

1. [出前授業]「近世絵図の世界」,, 40 名出席, 下館第一高校プレカレッジ
2. [出前授業]「近世絵図へのいざない」,, , 牛久栄進高校

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 「土木学会関東支部茨城会 13 回茨城会イブニングセミナー講演「水戸城下の構造とその変化」(国内)」, 土木学会関東支部茨城会(三の丸庁舎)[招待講演](2015 年 10 月)
2. 「鹿嶋市文化スポーツ振興事業団第 25 回歴史講演会(国内)」, 後援:茨城県教育委員会, 鹿嶋市教育委員会, 鹿島神宮(鹿嶋市(会場:鹿嶋勤労文化会館))[招待講演](2015 年 08 月)
3. 「水戸道中・岩城相馬道を歩く-茨城県歴史の道調査事業の報告-(茨城県立歴史館「日曜歴史館講座」)(国内)」, [招待講演](2015 年 05 月)

## ○ 地域協力活動

1. 水戸市商工会議所商工振興課まちの駅みとネットワーク協議会(2013 年 09 月~)

**科学研究費補助金などの受領**

科学研究費基盤研究(C)2014~2016 年度「長久保赤水の地図作製プロセスに関する研究」(代

表)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 村山 朝子
-------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年7月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 地理学科[1981年03月卒業] 奈良女子大学大学院 文学研究科 地理学[1984年03月修了] お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984年4月～1990年3月) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992年12月～2004年3月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993年4月～2004年3月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998年4月～2005年3月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004年4月～2009年9月) 茨城大学教育学部教授(2009年10月～)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(人文地理学会)(2007年11月17日)
所属学会	日本社会科教育学会, 日本地理教育学会, 日本地理学会, 人文地理学会, 茨城地理学会
専門分野	教科教育学 地理教育
教育研究概要	<p>地理教育を中心に、社会科教育のあり方、具体的にはカリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。中学校社会科地理的分野の教科書作成にも長年関わっています。授業は中等社会科の指導法の科目を主に担当しています。2011年から茨城県内の小中学生の地図作品展「いばらき児童生徒地図作品展」を主催し、小中学生の地域に対する関心や空間的思考を培う地図づくりの活動の普及に努めています。</p> <p>(キーワード)社会科教育 地理教育 教科書 教材 カリキュラム 地図 スウェーデン</p>
担当科目	<p>(教養科目)ことばの力実践演習</p> <p>(専門科目)中等社会科教育法研究, 地理歴史科教育法研究 I, 社会科教育学入門, 社会科教育法特講 II, 社会科教科論, 社会科教育法演習 II, 卒業研究(教育: 4単位)</p> <p>(大学院科目)社会科教育特論 II, 社会科教育演習 II, 社会科授業設計</p>

## 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

### ○ 著書・論文等

1. 書評「戸井田克己： 青潮文化論の地理教育学的研究」地理学評論 89-4.186-187(2016.7)
2. 地理学習における写真資料活用力の発達プロセス-小・中学生の読解的側面に関する調査-  
茨城大学教育学部紀要（教育科学）65.1-14.（2016）（鈴木明憲と共著）
3. 「手をつないで街を歩く」. 茨城大学教育学部茨城大学、教育学部附属幼稚園編『子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A』福村出版. 82-86.（2016.8）
4. 地理学習における文学作品の活用の可能性. E-journalGEO 11（2）415-424.（2016.11）
5. 第 16 回（平成 27 年度）「いばらき児童生徒地図作品展」について. 茨城地理 17. 67-73.（2016.12）
6. 邦訳『ニルスの不思議な旅』の系譜 その 1. 茨城大学教育学部紀要（人文・社会科学、芸術）66.（11 月 1 日受理済）
7. 邦訳『ニルスの不思議な旅』の系譜 その 2. 茨城大学教育学部紀要（人文・社会科学、芸術）66.（11 月 1 日受理済）

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 学協会での役職

1. 日本地理教育学会, 編集委員(2013 年 04 月～)
2. 茨城地理学会, 常任委員長(2012 年 08 月～)
3. 日本地理教育学会, 評議員(2010 年 04 月～)○ 地域協力活動

### ○[その他公的社会活動]

「いばらき児童生徒地図研究会」会長(2011 年 05 月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 木村 勝彦
-------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	筑波大学 第一学群人文学類 史学[1984年] 筑波大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1991年]
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会, 日本教育方法学会, 全国社会科教育学会, 日本社会科教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究。 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(専門科目)初等社会科教育法研究, 初等社会科教育法研究, 生活科内容研究, 初等社会科教育法研究, 公民科教育法研究 I, 社会科教育学入門, 社会科教育法特講 I, 社会科教育法演習 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)社会科教育特論 I, 社会科教育演習 I, 社会科授業設計

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]岡野 英輝, 木村 勝彦, OKANO Hideki, KIMURA Katsuhiko「中学校歴史的分野における通史と地域史の関連付けと授業構想のための理論 : 立体的・有機的歴史像の構築をめざして」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, <b>64</b> , 1-22(2015年)

### 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職
1. [非常勤講師] 白鷗大学法学部・講師, 16(時間/月)(2005年04月～)
2. [その他] 茨城県教育研修センター・講師(2004年07月～)
○ 学協会での役職

1. 日本社会科教育学会，評議員(2005 年 04 月～)
2. 日本公民教育学会，常任理事(2002 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)

氏名 中野 雅紀

## 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	<p>中央大学 法学部 法律学科[1987 年 03 月卒業]</p> <p>中央大学大学院 法学研究科 公法専攻[1991 年 03 月修了]</p> <p>中央大学大学院 法学研究科 公法[1996 年 03 月単位取得満期退学]</p> <p>慶應義塾大学大学院 法学研究科・法学部(2005 年度文部科学省内地留学訪問教官)[2006 年 03 月修了]</p> <p>京都大学大学院 法学研究科 法政理論専攻[年]</p> <p>慶應義塾大学 文学部 哲学系[年卒業]</p> <p>中央大学(1991 年～)</p> <p>埼玉大学(1995 年～1998 年)</p> <p>中央大学(1996 年～1998 年)</p> <p>千葉大学(1996 年～1998 年)</p> <p>日本比較法研究所(1996 年～)</p> <p>武蔵丘短期大学(1997 年～1999 年)</p> <p>芝浦工業大学(1997 年～2005 年)</p> <p>茨城大学(1998 年～)</p> <p>茨城工業高等専門学校(1999 年～2005 年)</p> <p>リリー保育福祉専門学校(2004 年～2005 年)</p> <p>慶應義塾大学(2005 年～2006 年)</p>
学位	法学士[中央大学] 法学修士[中央大学] 学士(哲学)[慶應義塾大学]
受賞歴	なし
所属学会	比較憲法学会 法制史学会 史学会 法文化学会 日本法哲学会 日本比較法研究所 憲法裁判研究会 ドイツ憲法判例研究会 憲法理論研究会 日本公法学会
専門分野	法哲学 西洋法制史 日本国憲法 公法学 ドイツ国法学
教育研究概要	(キーワード)公法学、国法学、憲法学、ドイツ法、法哲学 etc.
担当科目	(教養科目)日本国憲法(集中 1)[現代人権論], 日本国憲法[現代人権論]



	(専門科目)法と社会, 日本国憲法, 法学概論, 法学演習 (大学院科目)社会・文化総合研究
--	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・共著]「18歳から考える人権」, 法律文化社, (2015年11月)
2. [単著【査読あり】]「人権を考えるための基礎知識」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), **65**, 13-25(2016年03月28日)
3. [単著【査読あり】]「キーワード12 少数者の権利ーいわゆる「黒歴史」について」, 18歳から考える人権, 13-13(2015年11月)
4. [単著【査読あり】]「キーワード11 人権の種類と裁量」, 18歳から考える人権, 12-12(2015年11月)
5. [単著【査読あり】]「キーワード10 人権の「質」と「量」」, 18歳から考える人権, 12-12(2015年11月)
6. [単著【査読あり】]「キーワード9 人権の対国家性」, 18歳から考える人権, 11-11(2015年11月)
7. [単著【査読あり】]「キーワード8 相互承認」, 18歳から考える人権, 10-10(2015年11月)
8. [単著【査読あり】]「キーワード7 人権と「憲法上の『権利』」」, 18歳から考える人権, 10-10(2015年11月)
9. [単著【査読あり】]「キーワード6 公共の福祉」, 18歳から考える人権, 10-10(2015年11月)
10. [単著【査読あり】]「キーワード5 衡量(balancing)」, 18歳から考える人権, 9-9(2015年11月)
11. [【査読あり】]「キーワード4 自然権思想と法実証主義ー「神」の法から「紙」の法へー」, 18歳から考える人権, 9-9(2015年11月)
12. [単著【査読あり】]「キーワード3 価値相対主義」, 18歳から考える人権, 8-8(2015年11月)
13. [単著【査読あり】]「キーワード2 憲法改正の限界と日本国憲法の三大原理」, 18歳から考える人権, 8-8(2015年11月)
14. [単著【査読あり】]「キーワード1 近代立憲主義」, 18歳から考える人権, 8-8(2015年11月)
15. [単著【査読あり】【依頼/招待】]「コラム3 裁判とゲーム」, 18歳から考える人権, 13-13(2015年11月)
16. [単著【査読あり】【依頼/招待】]「コラム2 ホブズとカントから「基本的人権の尊重」と「平和主義」を考える②」, 18歳から考える人権, 11-11(2015年11月)
17. [単著【査読あり】【依頼/招待】]「コラム1 ホブズとカントから「基本的人権の尊重」と「平和主義」を考える①」, 18歳から考える人権, 9(2015年11月)
18. [単著【査読あり】]「憲法は私たちの「人権」をどのように守ってくれるの?人権を考えるための基礎知識」, 『18歳から考える人権』, 8-13(2015年11月)
19. [共著【査読あり】]「《シンポジウム》第一部会 公法判例の現在 討論要旨 市川正人会員(立命館大学)に対する中野雅紀会員(茨城大学)の質問」, 公法研究, 77, 146-146(2015年10月)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「2015 年度卒論・修論発表会 コメントなど」茨城大学教育学部社会科教育 教育学部棟B棟 B203 B204 控え室 B205() [2016 年 02 月 11 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「板持研吾氏(東京大学)報告「法人設立の準則主義化 ニュー・ヨーク州立法を題材に」について」第 260 回東京部会(2015 年 12 月 12 日)早稲田大学() [2015 年 12 月 12 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「坂井大輔氏(一橋大学)報告「穂積八束の国家論に見る ルドルフ・ゾームの影響」について」第 260 回東京部会(2015 年 12 月 12 日)早稲田大学() [2015 年 12 月 12 日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「出雲孝会員(中央大学)「近世自然法論における夫婦間の平等——親権を中心にして——」司会兼コメンテーター」法文化学会第 18 回研究大会(慶應義塾大学)() [2015 年 11 月 15 日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「篠原永明氏(甲南大学)「『価値』としての基本権上の自由と憲法秩序における個人の地位」司会兼コメンテーター 地位」法文化学会第 18 回研究大会(慶應義塾大学)() [2015 年 11 月 14 日]
6. [.] 「大藤慎司会員(駿台教育振興)「改革の対象としてのプロイセン将校団——”年功序列”制の実態——」司会兼コメンテーター」法文化学会第 18 回研究大会(慶應義塾大学)() [2015 年 11 月 14 日]
7. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「齊藤豪大会員(一橋大学)「スウェーデン航海法制定における担い手」司会兼コメンテーター」法文化学会第 18 回研究大会(慶應義塾大学)() [2015 年 11 月 14 日]
8. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「テーマ報告「身分——法における垂直関係と、水平関係」の趣旨説明」法文化学会第 18 回研究大会(慶應義塾大学)() [2015 年 11 月 14 日]
9. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「公法学会第一部会 駒村圭吾会員(慶應義塾大学)について」公法学会(於 同志社大学)() [2015 年 10 月]
10. [メディア報道等・国内会議(単独)] 「「県内の憲法学者 安保法案こう考える(1)茨城大学 中野雅紀さん「徹底的に議論すべき」」茨城新聞 2015 年 8 月 22 日 第 25 面() [2015 年 08 月 22 日]
11. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「2015 年度法学研究科憲法専攻・中間報告会」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室() [2015 年 08 月 05 日]
12. [その他・国内会議] 法文化学会「法文化叢書第15巻『身分——法における垂直関係と、水平関係』(仮)原稿募集のご案内 法文化叢書第15巻編集担当 中野雅紀(茨城大学)」法文化学会会報 Vol.16 No.1() [2015 年 07 月 17 日]
13. [メディア報道等・国内会議(共同)] 「「3 日、68 回目憲法記念日 「改憲」「護憲」動き活発 若者、議論深まらず」茨城新聞 2015 年 5 月 3 日() [2015 年 05 月 03 日]
14. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(共同)] Prof. Dr. Thomas Vesting「Prof.

Dr. Thomas Vesting, Der öffentlich-rechtliche Rundfunk und die neue Kultur der Netzwerke (「公共放送と新しいネットワーク文化」) 質疑応答 京都大学吉田キャンパス 法経本館 2 階法経第九教室()  
[2015 年 04 月 28 日]

15. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「水島朝穂「緊急事態における権限分配と意思決定—大規模震災を中心に—」を読んで」京都大学大学院法学研究科曾我部真裕スクーリング(法科大学院生合同)() [2015 年 04 月 24 日]

### 社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 法文化学会, 理事(2014 年～)

○ 地域協力活動

1. 「茨城大学教職員組合執行委員」(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

2. 茨城司法書士会[その他公的社会活動]「茨城司法書士会研修会講師」(1999 年～)

3. [学外審議会・委員会等]「茨城町情報公開審査委員」(1999 年～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 千葉 真由美
-------------------	-----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1971年3月
学歴・職歴	横浜国立大学 教育学部 小学校教員養成課程[1995年03月卒業] 横浜国立大学大学院 教育学研究科 社会科教育専攻[1997年03月修了] 東京学芸大学大学院連合 学校教育学研究科 学校教育学専攻[2002年03月単位取得満期退学]
学位	博士(学術)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	神奈川地域史研究会, 地方史研究協議会, 歴史学研究会, 関東近世史研究会, 茨城地方史研究会
専門分野	日本史
教育研究概要	(キーワード)近世史、村落史、地域史、史料学、印と捺印をめぐる社会
担当科目	(教養科目)人間と歴史[江戸時代の村と人] (専門科目)基礎日本史, 初等社会科内容研究, 日本史特講 I, 日本史概説 I, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 日本史演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)日本史特論, 日本史演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等
1. [その他・その他]「神田上水関口村大洗堰 水番人関係資料」, 文京区教育委員会, (2015年12月28日)
2. [(MISC)その他記事単著]「農村の自治と潰れ百姓」, 千年ひと昔 My 舎人倶楽部, 13, 2-3(2016年01月01日)

**社会的活動、地域貢献など**

○ 兼業・兼職
1. [兼業] 伊豆の国市教育委員会・伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会 韮山反射炉関連文書調査員(2013年08月～)

2. [兼業] 文京区教育委員会・文京区文化財調査員(2006年06月～)

○ 地域協力活動

1. 「伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会韮山反射炉関連文書調査員」(2013年08月～)

2. 「文京区文化財調査員」(2006年06月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大島 規江
-------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 小学校教員養成課程 社会科選修 [1996 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 地球科学研究科 博士課程 地理学・水文学専攻[2002 年 03 月修了]
学位	博士(理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市地理学会 The Royal Dutch Geographical Society 秋田地理学会 茨城地理学会 東京地学協会 人文地理学会 日本地理学会
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目[オランダの環境と社会] (専門科目)地理学研究法, 基礎地理, 言語と文化の諸相, 初等社会科内容研究, 地誌学 IV, 地誌学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地誌学特論, 社会・文化総合研究, 地誌学演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]石井智子・永山未沙希・鈴木将也・大島規江「根釧酪農地域における酪農家支援システムー釧路市と厚岸郡浜中町の比較を通してー」, 茨城地理, 16, 49-63(2015 年 09 月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ ビーゼル ビーゼル周辺[周辺調査](2015 年 6 月:6 日間)
オランダ ビーゼル ビーゼル周辺[情報収集](2015 年 9 月:5 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

「オランダの農村地域における外国人労働力に関する研究」(基盤研究 C)2013.4.-2016.3.研究代表者
---

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 藤崎 衛
-------------------	---------

### 教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京大学大学院 大学院人文社会系研究科(日本)[2011年04月修了] 東京大学(2007年10月～2012年9月) 東京大学(2012年10月～2016年3月) 茨城大学(2016年4月～)
学位	博士(文学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	キリスト教史学会 都市史学会 西洋中世学会 地中海学会 史学会
専門分野	史学一般 ヨーロッパ史・アメリカ史
教育研究概要	(キーワード)西洋史 中世史 教皇権/ローマ教皇庁
担当科目	

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]加藤磨珠枝(編)、藤崎衛、山田順、ほか12名「教皇庁と美術」、竹林舎、pp. 25-51(2015年09月15日)
2. [単行本(一般書)・共訳]マックス・ケルナー、クラウス・ヘルバース、藤崎衛(訳)、エリック・シッケタンツ(訳)、森本光(付録訳)「女教皇ヨハンナ」、三元社、(2015年09月08日)
3. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著]藤崎衛「世界史 Q&A 十分の一税について教えてください。」、歴史と地理, 961, 46-48(2016年02月)
4. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】]藤崎衛「中世カトリック世界の重層的アイデンティティー12・13世紀の教会会議言説の分析一」、歴史学研究, 937, 171-180(2015年10月)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国際会議(単独)] Mamoru Fujisaki "The Curia and the Khan - A Franciscan Mission to the Il-khan Abaqa" DFG Netzwerk Stilus curiae. Spielregeln der Konflikt- und Verhandlungsführung am Papsthof des Mittelalters (12.-15. Jahrhundert) Vierter Workshop(Ludwig-Maximilians-Universität München, München)[2015年11月07日]
2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 藤崎衛「中世カトリック世界の重層的アイデンティティー12・13世紀の教会会議言説の分析一」2015年度歴史学研究会大会合同部

会「分裂と統合の場としての教会会議」(慶應義塾大学三田キャンパス(東京))[2015年05月24日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

#### 社会的活動、地域貢献など

##### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 立教大学・(2012年04月～)

#### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

#### 科学研究費補助金などの受領

##### ○ 競争的資金の獲得

- 1) [人文科学研究助成](代表)「宣教団派遣に見る中世ヨーロッパのアジア認識と対モンゴル交渉に関する研究」, 110万円 , 三菱財団助成(三菱財団)(2015年10月01日～2016年09月30日)
2. [科研費]若手研究(B)(代表)「都市ローマ及び教皇領支配の観点に基づく中世教皇庁研究」, 390万円 (2015年04月01日～2019年03月31日)
- 3) [科研費以外]「東京大学学術成果刊行助成」, 99.5万円 , (2013年12月～)
4. [科研費]基盤研究(B)(分担)「中世盛期教皇庁の統治戦略とヨーロッパ像の転換」, 1716万円 (2013年04月01日～2017年03月31日)



教育実践高度化専攻	氏名 田瀬 則雄
-----------	----------

**教員履歴など**

現 職	
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	
	(キーワード)
担当科目	

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

--

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**

--

**科学研究費補助金などの受領**

--

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 小口 祐一
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	盛岡大学文学部助教授(2005年4月～2007年3月) 盛岡大学文学部准教授(2007年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部准教授(2010年4月～2013年3月) 茨城大学教育学部教授(2013年4月～)
学位	博士(教育学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会, 日本教授学習心理学会, 日本科学教育学会, 日本数学教育学会, National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育 (キーワード)統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(教養科目)身近な数学[応用統計学] (専門科目)算数科教育法研究, 数学科教育法演習 II, 算数科教育法研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)数学教育学特論 II, 数学教育学演習 II, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [著書・共著]藤井齊亮(編著)「教科教育学シリーズ③ 算数・数学科教育」, 一藝社, (2015年10月30日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著]小口祐一「標本抽出の方法に関する学習者の認識 一層化抽出と集落抽出に関して」, 日本数学教育学会 秋期研究大会発表集録, **48**, 271-274(2015年11月07日)
3. [研究論文(学術雑誌)単著]小口祐一「統計的問題解決の体系的な指導に向けて」, 日本科学教育学会 年会論文集, **39**, 81-82(2015年08月22日)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 近大姫路大学教育学部・非常勤講師(2011年04月～)

#### ○ 学協会での役職

1. 日本教授学習心理学会, 編集委員長(2014年07月～)
2. 日本数学教育学会, 編集部幹事(2011年11月～)
3. 日本教授学習心理学会, 編集委員(2011年07月～)
4. 日本統計学会, 統計教育委員(2008年04月～)

### 科学研究費補助金などの受領

#### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「中学校高校数学における動的データ探索ソフトによるコンテンツの開発と効果」, 350万円 (2014年04月01日～2018年03月31日)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 梅津 健一郎
------------------	-----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学 第一学群 自然科学類[1988年03月卒業] 筑波大学大学院 数学研究科[1993年03月修了] 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年6月～1997年2月) 筑波大学数学系助手(1997年3月～1997年3月) 前橋工科大学工学部講師(1997年4月～2001年3月) 前橋工科大学工学部助教授(2001年4月～2007年3月) 前橋工科大学工学部准教授(2007年4月～2008年3月) 茨城大学教育学部准教授(2008年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部教授(2012年4月～)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	(The International Society for Analysis, its Applications and Computation) (2003年08月)
所属学会	日本数学会, 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線型境界条件, concave-convex 非線形性, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 位相的手法, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)解析学C, 解析学A, 解析学の基礎I, 解析学D, 解析学B, 解析学の基礎II, 卒業研究(教育:4単位)

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu "Bifurcation for a logistic elliptic equation with nonlinear boundary conditions: A limiting case", Journal of Mathematical Analysis and Applications, <b>428</b> , 2, 1265-1285(2015年)

### 研究業績(2)学会発表など

## ○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)・国際会議(共同)] Kenichiro Umezu "An indefinite superlinear elliptic equation with a nonlinear boundary condition of sublinear type" RIMS Workshop `Shapes and other properties of solutions of PDEs' () [2015 年 11 月 13 日]
2. [口頭発表(招待・特別)・国際会議(単独)] Kenichiro Umezu "Bifurcation analysis for a logistic elliptic equation having nonlinear boundary conditions with sign-definite weights" The department seminar of Department of Mathematics, Universidad de Santiago de Chile (Department of Mathematics, Universidad de Santiago de Chile) [2015 年 09 月 01 日]

**海外出張・海外研修・内地研修など**

チリ サンティアゴ サンティアゴ大学[研究打合せ](2015 年 8 月～9 月:11 日間)

**科学研究費補助金などの受領**

科研費・基盤研究(C) 研究課題「符号不定係数と混合型非線形性を伴う楕円型境界値問題の正値解の分岐構造に関する研究」, 研究課題番号:15K04945, 平成 27-29 年度.

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 栗原 博之
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1970 年 5 月
学歴・職歴	弘前大学 理学部 数学科[1993 年卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科[1999 年修了] 埼玉短期大学 情報メディア学科 講師(2002 年 4 月～2008 年 3 月) 八戸工業高等専門学校 総合科学科 准教授(2009 年 4 月～2013 年 9 月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 10 月～)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)幾何学の基礎 I, 幾何学C, 幾何学A, 幾何学の基礎 II, 幾何学D, 幾何学B, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)幾何学演習 I

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

工学系テキストシリーズ 応用数学 森北出版  
工学系テキストシリーズ 線形代数 森北出版  
Hiroyuki Kurihara and Koji Tojo, Involutions on a compact 4-symmetric space of exceptional type, Osaka J. Math., Volume 52, Number 4 (2015), 1101-1125.

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 松村 初
------------------	---------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 12 月
学歴・職歴	慶應義塾大学 理工学部[2001 年 03 月卒業] 慶應義塾大学大学院 理工学研究科[2006 年 03 月修了]
学位	博士(理学)[慶應義塾大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	離散数学、グラフ理論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学[初歩からの数学入門], 主題別ゼミナール[数学入門], 身近な数学[応用統計学] (専門科目)代数学C, 確率統計概論, コンピュータ概論, 情報技術の基礎, 算数 科内容研究, 卒業研究(教育:4 単位)

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]“On spanning  $k$ -tree in which specified vertices have degree less than  $k$ ”, *Discussiones Mathematicae Graph Theory*, **35**, 1, 191-196(2015 年)

### 研究業績(2)学会発表など

- , “Degree conditions for spanning  $k$ -spiders” (Japan Conference on Graph Theory and Combinatorics, 2014 年 05 月)
- , 「2 部グラフにおける指定した頂点を結ぶパスによる分割について」(2014 年度応用数学合同研究集会・2014 年 12 月)
- , 「Degree conditions for vertex-disjoint paths joining specified vertices in bipartite graphs」(離散数学とその応用研究集会 2014・2014 年 08 月)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 吉井 豊
------------------	---------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1981年5月
学歴・職歴	千葉大学大学院 自然科学研究科 数理解物性科学専攻[2009年03月単位取得満期退学] 奈良工業高等専門学校 (2011年4月～2015年3月) 茨城大学(2015年4月～)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	代数学
教育研究概要	(キーワード)有限群、代数群、群の表現論、モジュラー表現、リー代数
担当科目	(教養科目)身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)代数学A, 算数科内容研究, 代数学の基礎I, 代数学B, 代数学D, 代数学の基礎II, 卒業研究(教育:4単位)

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Yutaka Yoshii“A generalization of Pillen’s theorem for principal series modules II”, Journal of Algebra, <b>429</b> , 177-191(2015年05月)

### 研究業績(2)学会発表など

吉井 豊, 「A direct sum decomposition of the $kG(\hat{p}, \hat{r})$ -submodule generated by the highest weight vector of a certain Weyl $G$ -module」(RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」・2015年02月)
--



学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 根本 博
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	特任教授
生年月	1950 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学大学院 教育学研究科 数学教育学専攻[1981 年 03 月修了] 文部科学省(旧文部省)(1991 年 4 月～2006 年 3 月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会, 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学(数学科)
教育研究概要	<p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 —数学教育の社会的考察の試み—</p> <p>現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学 知識論 数学科教育課程論 認知科学</p>
担当科目	<p>(教養科目) 身近な数学[数学の楽しみ]</p> <p>(専門科目) 算数科教育法特講 II, 数学科教育法演習 I, 数学科教育法研究 I, 算数科教育法研究, 数学科教育法研究 II, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 数学教育学特論 I, 数学教育学演習 I, 特別課題研究</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

日本数学教育学会(東北ブロック)(全体会 講演)(2014 年 11 月)  
 <招待講演> 日本数学教育学会(全国大会)(中学校部会 講演 )(2014 年 08 月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 矢島 裕介
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年8月
学歴・職歴	東京大学 理学部 物理学科[1976年卒業] 東京大学大学院 理学系研究科 相関理化学[1982年修了] 日立製作所(株)(1982年4月～2003年3月) フラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988年2月～1989年1月) 茨城大学教育学部教授(2003年4月～)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会, 日本物理教育学会
専門分野	物性Ⅱ
教育研究概要	物理学 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 認知・数理系科目[暮らしと数理] (専門科目) 初等理科内容研究, 量子力学, 物理学実験指導法/物理学実験 I/物理学実験 I, 物理学演習A, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 自然科学総合研究, 物理学特別実験

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)] Yusuke YAJIMA "An Elementary Geometrical Construction of Planetary Orbits", Bull. Col. Edu. Ibaraki Univ. (Nat. Sci.), **65**, 1-5 (2016年03月31日)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2015年11月)
2. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2015年08月)
3. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2015年08月)
4. [非常勤講師] 土浦協同病院附属看護専門学校・講師(2015年04月～2016年03月)

5. [非常勤講師] 水戸メディカルカレッジ・講師(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 松川 寛
------------------	---------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1969年11月
学歴・職歴	東京工業大学 工学部 化学工学[1992年] 東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学[1997年] 千葉大学 助手(1997年4月～2001年3月) 茨城大学教育学部 助教授(2001年4月～)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会, 理科教育学会, 有機合成化学協会, 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。 (キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(教養科目)身近な化学[化学と環境と生活] (専門科目)有機化学, 化学実験指導法/化学実験 I/化学実験 II, 環境化学, 初等理科内容研究, 初等理科実験観察内容研究, 有機化学演習, 化学実験 II, 化学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)化学特論, 自然科学総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

Satoru Matsukawa, Kazuki Fukazawa, Junya Kimura, "Polymer-supported PPh<sub>3</sub> as a reusable organocatalyst for the Mukaiyama aldol and Mannich reaction", RSC Advances, 4, 27780-27786, 2014.

Satoru Matsukawa, Yasutaka Mouri, "A Mild and Regioselective Ring-Opening of Aziridines with Acid Anhydride Using TBD or PS-TBD as a Catalyst" Molecules 2015, 20(10), 18482-18495

**研究業績(2)学会発表など**

「空気に安定な新規ジホスホニウム塩の合成とその利用」日本化学会第94春季年会(名古屋)

「ポリスチレン担持トリフェニルホスフィンを触媒とした向山アルドール反応」日本化学会第 94 春季年会（名古屋）

「TBD を触媒とするカルボニル 化合物へのシアノシリル化およびシアノエステル化」第 4 回 CSJ 化学フェスタ（東京）

### 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城県立農業大学校・非常勤講師(2012 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 棗田 孝晴
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1967年9月
学歴・職歴	<p>三重大学 水産学部 水産学科[1991年03月卒業]</p> <p>大阪教育大学大学院 教育学研究科 理科教育専攻生物学専修[1994年03月修了]</p> <p>京都大学大学院 理学研究科 動物学専攻[1998年03月単位取得満期退学]</p> <p>財団法人自然環境研究センター 研究員(1999年4月～1999年8月)</p> <p>地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000年4月～2001年3月)</p> <p>山梨学院大学 非常勤講師(2000年4月～2007年3月)</p> <p>富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任)(2006年4月～2008年3月)</p> <p>独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助/研究支援職員(2008年4月～2009年3月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008年9月～2009年3月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009年4月～2013年3月)</p> <p>茨城大学 教育学部 准教授(2013年4月～)</p>
学位	修士(教育学)[大阪教育大学] 博士(理学)[京都大学]
受賞歴	平成22年度 日本水産学会論文賞(公益社団法人 日本水産学会)(2011年03月29日)
所属学会	日本陸水学会 日本水産学会 日本生態学会 応用生態工学会 日本魚類学会 日本動物行動学会
専門分野	魚類生態学 保全生物学 動物生態学 河川生態学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)身体・行動系科目[動物の行動と社会]</p> <p>(専門科目)基礎生物学, 生物学実験, 保育内容の研究(環境), 生物学野外実習, 動物生態学, 動物学演習, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 生物学特別実験, 生物学特論</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

## ○ 著書・論文等

1. [その他・分担執筆] 棗田孝晴「茨城における絶滅のおそれのある野生生物・動物編 2016 年度改訂版(茨城県レッドデータブック)」, 茨城県生活環境部環境政策課, p.108 & p.113(2016 年 03 月)
2. [研究論文(学術雑誌)共著] Iguchi K, Hideki Tanaka H, Shinagawa T, Tsuruta T, Natsumeda T, Konishi K, Abe S "Differing wariness for approaching humans among cormorant migrants advancing into rural or urban habitats", *Journal of Agricultural Science*, **7**, 11, 180-188(2015 年 10 月)
3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】] Takaharu Natsumeda, Noriko Takamura, Megumi Nakagawa, Yasuro Kadono, Tetsuo Tanaka, Hiromune Mitsuhashi "Environmental and biotic characteristics to discriminate farm ponds with and without exotic largemouth bass and bluegill in western Japan", *Limnology*, **16**, 3, 139-148(2015 年 08 月)
4. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著] 棗田孝晴・吉田孝志「千葉県北東部の谷津田の草地におけるキュウシュウノウサギ (*Lepus brachyurus brachyurus*) の糞場周囲の草高の選択性」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), **64**, 33-39(2015 年 05 月)

**研究業績(2)学会発表など**

## ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 片山 暢・田原大輔(福井県大海洋生物)・武島弘彦(地球研)・棗田孝晴(茨城大教育)「落差工がカジカ大卵型の移動生態に及ぼす影響」平成 28 年度公益社団法人日本水産学会春季大会() [2016 年 03 月 29 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 古屋康則・森 温子(岐阜大教育)・田原大輔(福井県立大)・山家秀信(東農大生物産業)・棗田孝晴(茨城大教育)・藤井亮吏(岐阜水産研)「冬季の高水温がカジカ小卵型の雄の精子形成に及ぼす影響」平成 28 年度公益社団法人日本水産学会春季大会(東京海洋大学(品川キャンパス)) [2016 年 03 月 27 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 阿部信一郎・棗田孝晴(茨大)・黒田 暁・井口恵一朗(長崎大)「奄美大島役勝川の栄養塩供給源はどこにあるのか」日本藻類学会第 40 回大会(日本歯科大学) [2016 年 03 月 20 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 棗田孝晴(茨城大教育)・宮本北斗(松岡水産)・鶴田哲也(大阪産大人間環境)・武島弘彦(地球研)・安房田智司(新潟大理臨海)・井口恵一朗(長大院水・環)「長野県千曲川水系の支流枝沢におけるカジカ大卵型(*Cottus pollux* LE)の食性と餌料選択性の流程変異」2015 年度日本魚類学会年会(近畿大学 奈良キャンパス) [2015 年 09 月 06 日]

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 学協会での役職

1. 日本魚類学会, 会計幹事(2014 年 01 月~2015 年 12 月)
2. 日本魚類学会, 自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員(2011 年 01 月~)

**科学研究費補助金などの受領**

## ○ 競争的資金の獲得

- 1) [調査・研究部門(一般的助成)](代表)「河床構造の異質性が生物多様性に与える影響の解明」, 100 万円, 河川整備基金助成事業 (河川整備基金) (2015 年 04 月～2017 年 03 月)
2. [科研費](分担)「カジカ個体群間の産卵期変異を通じた地域個体群の固有性の明示と保全」, 507 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)
3. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「カジカ等の生態的移動弱者の生物多様性に配慮した河川管理方策の提案」, 400 万円 (2013 年 04 月～2016 年 03 月)



学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 青島 政之
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1972 年 11 月
学歴・職歴	千葉大学 理学部 化学科[1995 年 03 月卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科 理化学専攻[1998 年 03 月修了] 千葉大学大学院 自然科学研究科 物質高次科学専攻[1999 年 05 月中退] 秋田県立大学 助手(1999 年 6 月～2006 年 3 月) 秋田県立大学 助教(2006 年 4 月～2014 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2014 年 4 月～)
学位	修士(理学)[千葉大学] 博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	粉体工学会 日本化学会
専門分野	物理化学
教育研究概要	酸化鉄コロイド粒子の形態制御と凝集現象 (キーワード)磁性粒子、ヘマタイト、分子シミュレーション
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル], 物質・生命系科目[化学の基礎概念] (専門科目)無機物理化学, 初等理科内容研究, 基礎化学(中教科:理科)/基礎化学(環境コース), 化学実験 I, 化学実験 II, 化学演習 (大学院科目)自然科学総合研究, 化学特別実験

**社会的活動、地域貢献など**

○ 兼業・兼職
1. [兼業] 産業技術総合研究所・客員研究員(2015 年 07 月～2016 年 03 月)
○ 地域協力活動
1. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」(2015 年 08 月～)
2. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 県西生涯学習センター」(2015 年 08 月～)
3. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業「科学自由研究の指導(探求基礎)」県西生涯学習センター」(2014 年 08 月～)

**科学研究費補助金などの受領**

「ヘマタイトコロイド粒子の形態制御と自己組織化」[平成26年度教育学部研究費特別配分](代表)  
(2014年08月01日～2015年03月31日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 永尾 敬一
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973 年 9 月
学歴・職歴	<p>東京大学 理学部 物理学科[1997 年卒業]</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系[1999 年修了]</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系[2002 年修了]</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 4 月～2003 年 1 月)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 1 月～2005 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 4 月～)</p>
学位	学術修士[東京大学] 学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル]</p> <p>(専門科目) 基礎物理学, 初等理科内容研究, 電磁気学, 理論物理学演習, 物理学演習B, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 自然科学総合研究, 物理学特論</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen"Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory", Progress of Theoretical and Experimental Physics, <b>2015</b> , 5, 051B01, 1-9(2015 年 05 月 11 日)

### 研究業績(2)学会発表など

## ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 永尾 敬一、Holger Bech Nielsen「Expression of the  $Q$  operator for the proper inner product in complex harmonic oscillator」日本物理学会 2015 年秋季大会(関西大学)[2015 年 09 月 16 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 永尾 敬一、Holger Bech Nielsen「Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory」日本物理学会 2015 年秋季大会(関西大学)[2015 年 09 月 16 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 永尾 敬一「Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory」日本大学理工学部素粒子論研究室セミナー(茨城大学理学部素粒子論研究室)[2015 年 06 月 24 日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 永尾 敬一「Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory」茨城大学理学部素粒子論研究室セミナー(茨城大学理学部素粒子論研究室)[2015 年 05 月 18 日]

**海外出張・海外研修・内地研修など**

デンマーク コペンハーゲン Niels Bohr Institute[複素作用理論に関する研究](2016 年 1 月～2 月:25 日間)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 上栗 伸一
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1977 年 6 月
学歴・職歴	琉球大学 理学部[2000 年 03 月卒業] 九州大学大学院 比較文化研究科[2002 年 03 月修了] 九州大学大学院 比較文化研究科[2005 年 03 月修了] 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005 年 4 月～2007 年 3 月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011 年 4 月～2012 年 3 月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012 年 4 月～)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	地球環境史学会 日本地学教育学会 日本地質学会 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	古生物を使って、地球の歴史を復元する。 (キーワード)地学, 新生代, 古生物
担当科目	(教養科目)身近な地球科学[地球のしくみ] (専門科目)基礎地学, 生活科内容研究, 地学実験A, 地学野外実習, 地学実験B, 初等理科内容研究, 地質学, 地球科学演習, 天文学, 地学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)自然科学総合研究, 地学特論, 地学特別実験

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

- [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤 孝・上栗伸一・片口直樹・大辻永「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践1ー地学と美術編ー」, 茨城大学教育学実践研究, **33**, 1-11 (2015 年)
- [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Moore, T.C.Jr., Kamikuri, S., Erhardt, A.M., Baldauf, J., Coxall, H.K., Westerhold, T. "Radiolarian stratigraphy near the Eocene-Oligocene boundary", Marine Micropaleontology, **116**, 50-62(2015 年)
- [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Shin-ichi Kamikuri "Radiolarian assemblages during the

middle-late Eocene transition at Site 1052, ODP Leg 171B, Blake Nose, western North Atlantic Ocean”, News of Osaka Micropaleontologists, **15**, 139-167 (2015 年)

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 上栗伸一「中～後期中新世のカリフォルニア海流の変遷史」日本古生物学会() [2015 年 06 月]

### 社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. 「いばらき推進事業」(2013 年 04 月～)
2. 「地学オリンピック予選 地区コーディネーター」(2013 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 山本 勝博
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	兵庫教育大学大学院連合学校 教育学研究科 学校教育学[2003 年] 大阪府立高等学校講師(1971 年 4 月～1971 年 9 月) 大阪府立高等学校教諭(1971 年 10 月～1992 年 3 月) 大阪府科学教育センター・主任研究員(1992 年 4 月～1993 年 3 月) 大阪府教育センター・主任研究員(1993 年 4 月～2005 年 3 月) 大阪府教育センター・主任研究員(化学リーダー)(2005 年 4 月～2006 年 3 月) 教授(2006 年 4 月～2013 年 3 月) 特任教授(2013 年 4 月～)
学位	博士(学校教育学) 修士(工学)[兵庫教育大学大学院連合学校]
受賞歴	なし
所属学会	日本化学会 大阪府高等学校理化教育研究会
専門分野	科学教育
教育研究概要	理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学、伝統産業、最先端科学、教材開発 ①環境教育に活用できる水環境調査(茨城県の河川や湧水等) ②地域素材を活用した教材開発(陶芸や紙すき、染色等伝統産業に関わったもの) ③最新の科学技術を取り入れた教材開発(色素増感太陽電池の環境教育への活用) ④内容が豊富で理解しやすい理科実験教材、教具の開発(結晶育成装置の製作)  (キーワード)理科教育、化学教育、環境教育、水環境科学
担当科目	(専門科目)初等理科教育法研究, 中等理科教育法研究, 初等理科教育法研究, 保育内容の研究(環境), 理科教科論, 中等理科内容研究, 理科教育演習 I, 理科教育演習 B, 卒業研究(教育:4 単位)  (大学院科目)理科教育学演習, 理科教育学特論, 理科授業設計, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

### 研究業績(2)学会発表など

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

### 社会的活動、地域貢献など

## ○ 学協会での役職

1. 日本理科教育学会, 理事(2006 年 04 月～)
2. 大阪府高等学校理化教育研究会, 研究会顧問(2006 年 04 月～)

## ○ 地域協力活動

1. 茨城大学教育学部附属小学校(2007 年 04 月～)
2. 茨城県教育研究連盟研究集会(2006 年 04 月～)
3. 茨城大学教育学部附属中学校(2006 年 04 月～)
4. 茨城大学教育学部附属幼稚園(2006 年 04 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**



学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 小野 義隆
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	<p>信州大学 農学部 園芸農学科[1973 年]</p> <p>東京教育大学大学院 農学研究科[1975 年修了]</p> <p>パデュウ大学大学院 農学研究科 植物学・植物病理学(アメリカ合衆国)[1978 年修了]</p> <p>東京都立豊島高等学校(定時制)教諭(1974 年 4 月～1975 年 12 月)</p> <p>茨城大学助手(教育学部)(1980 年 4 月～1985 年 3 月)</p> <p>茨城大学講師(教育学部)(1985 年 4 月～1986 年 3 月)</p> <p>茨城大学助教授(教育学部、大学院教育学研究科)(1986 年 4 月～1999 年 9 月)</p> <p>茨城大学教授(教育学部、大学院教育学研究科)(1999 年 10 月～2015 年 3 月)</p> <p>茨城大学教授(教育学部、大学院教育学研究科、大学院理工学研究科後期課程兼務)(2000 年 4 月～2015 年 3 月)</p> <p>カセサート大学 海外連携教授(カンペンセン校農学部)(2014 年 8 月～)</p> <p>茨城大学 特任教授(教育学部、大学院教育学研究科)(2015 年 4 月～)</p> <p>東北林業大学 客員教授(林学部)(2015 年 9 月～)</p>
学位	農学博士[パデュウ大学大学院] 農学修士[東京教育大学農学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本菌学会 アメリカ菌学会 イギリス菌学会 日本植物病理学会 日本生物教育学会 日本進化学会
専門分野	系統・分類 植物保護
教育研究概要	<p>植物サビ病菌の分類学的・生態学的研究 教育:基礎生物学、生物学実験、生物学野外実習、植物学、植物分類学、系統分類学特論(大学院修士課程)、真菌系統分類学(大学院博士後期課程) 研究:植物寄生菌(特にさび病菌)の生態学および系統分類学的研究</p> <p>(キーワード)植物寄生菌、サビキン、同定、分類、宿主特異性、生活環、多様性、サビキン相、地理的分布、分子系統</p>
担当科目	<p>(専門科目)植物分類学, 生物学実験, 生物学野外実習/生物学野外実習, 植物学演習, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)自然科学総合研究, 生物学特別実験, 生物学特論, 特別課題研究</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

## ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Ono Y."Mixed infections of grapevine leaf rusts *Phakopsora meliosmae-myrianthae* and *P. montana* in Japan.", *Journal of General Plant Pathology*, **82** (2016 年 03 月 15 日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著]Ono Y"*Phakopsora hornotina*, an additional autoecious rust species on *Meliosma* in the Philippines and the Ryukyu Islands, Japan.", *Mycoscience*, **57**, 71-78(2016 年 01 月 25 日)
3. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]田中栄爾・棚田一仁・玉置喬子・鈴木正一・小野義隆「石川県における *Uromyces japonicus* によるギョウジャニンニクさび病(新称)の発生記録」, *石川県病害虫研究会報*, **64**, 23-26(2015 年 12 月)
4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Ono Y"*Phakopsora breyniae* (Phakopsoraceae, Pucciniales), an autoecious macrocyclic species on *Breynia cernua* from Australia.", *Mycological Progress*, **14**(2015 年 11 月)
5. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Ono Y."*Sorataea acanthophora* comb. nov. (Uropyxidaceae, Pucciniales) on *Derris* (Fabaceae) from the Philippines", *Mycoscience*, **56**, 612-615 (2015 年 11 月 25 日)
6. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Ono Y."*Kuehneola* species (Phragmidiaceae, Pucciniales) on Vitaceae plants", *Mycological Progress*, **14**(2015 年 07 月)

## 研究業績(2) 学会発表など

## ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] Ayawong C, Unartngam J, Ono Y. "Two new rust fungi (Pucciniales) on *Hoya* (Apocynaceae) and *Gynostemma* (Cucurbitaceae) from Thailand." The 59th Annual Meeting of the Mycological Society of Japan() [2015 年 05 月 16 日]
2. [ポスター発表・国内会議(単独)] 小野義隆「ブドウ科植物に寄生する3種の *Kuehneola* 属サビキン」日本菌学会第 59 回大会(那覇)() [2015 年 05 月 16 日]

## 研究業績(3) 芸術・体育系の活動

熱帯モンスーンアジアにおける菌類多様性(2002 年)

ロシア極東地域でのカラマツ黒葉さび病の発生生体に関する調査研究(1995 年)

ロシア極東地域におけるマツ類さび病菌の分類と生態に関する共同研究(1994 年)

ロシア連邦極東地域におけるマツ類さび病菌の分類と生態に関する共同研究(1993 年)

熱帯作物の病害虫抵抗性と防除に関する研究(フィリピン)(1993 年)

パキスタンでの菌類調査(1990 年)

ブラジルでの菌類調査(1988 年)

ネパールでの菌類調査(1986 年)

## 社会的活動、地域貢献など

## ○ 兼業・兼職

1. [その他] 茨城県教育庁義務教育課・助言者(2011 年 09 月～)
2. [その他] 茨城県教育庁義務教育課・指導・助言者, 6(時間/月)(2011 年 07 月～)
3. [出前授業] 茨城県立水戸第二高等学校・講師, 1(時間/月)(2010 年 11 月～)
4. [出前授業] 茨城県立水戸第二高等学校・講師, 1(時間/月)(2009 年 12 月～)
5. [出前授業] 茨城県立土浦湖北高校・講師, 2(時間/月)(2008 年 10 月～)
6. [出前授業] 茨城県立鉾田第一高校・講師, 2(時間/月)(2008 年 07 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 健次
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1954年3月
学歴・職歴	国立音楽大学 音楽学部 音楽教育[1978年卒業] 国立音楽大学大学院 音楽研究科 音楽教育学[1980年修了] 佐賀大学教育学部助教授(1995年4月～1996年9月) 佐賀大学文化教育学教授(2003年より茨城大学併任)(1996年10月～2003年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年10月～)
学位	芸術学修士[国立音楽大学大学院] 博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本電子音楽産業協会 国際コンピュータ ミュージック学会(International Society of Computer Music) 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME) 東洋音楽学会 日本音楽教育学会
専門分野	音楽教育学、伝承文化研究
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)初等音楽科教育法研究, 初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究 II, 初等音楽科教育法研究, 音楽科教育法研究 I, 初等音楽科教育法研究, 保育内容の研究(表現) (大学院科目)音楽科教育研究法, 音楽科教育特論 I, 音楽教育授業設計

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]TAKASHI KTO, KENJI TANAKA "Traditionl Japanese Music at aGlance", AKADEMIA MUSIC LTD., (2016年03月16日)

**研究業績(2)学会発表など**

<招待講演,パネリスト> (国外)アジアの伝統音楽に関するシンポジウム(パネリスト)(2014年12月)  
北海道音楽教育連盟主催「第56回北海道音楽教育研究会十勝大会」(全体講評・講師)(2014年11月)

〈その他〉 大津市小学校音楽科部会主催「小学校音楽部会公開講座・子どもが目を輝かせ、自然と  
のってくる音楽科の授業づくり」(公開講座講師)(2014年08月)  
 〈企画・運営〉 日本音楽の指導法研究会(主催)(2014年07月)  
 〈招待講演〉 公益財団法人わらべ館(鳥取市)主催唱歌・童謡講演会(講演タイトル「うた(音楽)の  
力」講演者)(2014年07月)  
 神奈川県中郡(大磯町・二宮町)音楽教育部会研修会(研修会講師「音楽教育における言語活動に  
ついて」)(2014年06月)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

〈芸術系の活動・建築作品等〉 茨城県茨城町立青葉中学校校歌作曲(2014年04月)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 宇都宮大学・音楽史 B(諸民族の音楽)非常勤講師, 30(時間/月)(2015年05月  
～2015年09月)
2. [兼業] 放送大学・非常勤講師(2007年04月～)
3. [非常勤講師] 放送大学・大学院特別講師(2006年04月～)

#### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「第 53 回鹿児島県音楽教育研究大会大島大会高校部会(国内)」, (鹿児島県奄美大島)[招待  
講演](2015年10月)
2. 「山形市教育研究会音楽部会主催「音楽科での ICT 教育の活用」(国内)」, 山形市教育研究会  
音楽部会(山形市第五中学校)[その他](2015年09月)
3. 「宮崎県教育研究会音楽部会「平成27年度第49回夏季音楽指導者講習会」(国内)」, 宮崎県教  
育研究会音楽部会(宮崎市(宮崎市民文化ホール))[その他](2015年08月)
4. 「静岡県駿東地区教育研究会音楽部会夏期講座(国内)」, 静岡県駿東地区教育研究会音楽部  
会[その他](2015年08月)
5. 「浜松市教育研究会音楽部会夏期講座(国内)」, 浜松市教育研究会音楽部会(浜松市浜松あい  
ホール)[その他](2015年08月)
6. 「取手市音楽教育研究会音楽部会夏期講座(国内)」, 取手市音楽教育研究会音楽部会(取手市  
取手小学校)[その他](2015年08月)
7. 「2015年中日古琴芸術学術シンポジウム(国外)」, 浙江省文学芸術連合会(浙江省杭州市)[パ  
ネリスト](2015年05月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク バンコクロータスホテル[研究発表](2015年10月:1日間)

## 科学研究費補助金などの受領

### ○ 競争的資金の獲得

- 1) [科研費以外]「次世代型 rFuture schod」システムの実践的研究」, 35 万円 , 平成 25 年度茨城大学推進研究プロジェクト支援(茨城大学)(2015 年 08 月 03 日～2016 年 03 月 31 日)
2. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「日本伝統音楽学習のためのコンテンツ作成とデジタル教材化」, 416 万円 (2015 年 04 月 01 日～2018 年 03 月 31 日)
3. [科研費]基盤研究(C)一般(分担)「民謡学習のためのコアカリキュラム開発とそのデジタルコンテンツ制作」, 75 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

### ○ 共同研究・受託研究

1. [企業からの受託研究]「筑後川流域における「音文化」の基礎研究」, 100 万円(年度不詳～)
2. [「音楽科教育に有効性をもたらすコンピュータスペックの開発」, 25 万円(年度不詳～)
3. [企業からの受託研究]「音と癒しに関する研究動向の調査」, 100 万円(年度不詳～)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 神部 智
------------------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年5月
学歴・職歴	横浜国立大学 教育学部 音楽教育[1988年卒業] ヘルシンキ大学大学院 音楽研究科 音楽学(フィンランド)[2005年修了]
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学] 修士[横浜国立大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Semiotics Institute, 美学会, 日本音楽学会, 音楽表現学会
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)ピアノ(必修・伴奏を含む), ピアノ, 音楽史(2単位), 初等音楽科内容研究, 音楽学 I, ピアノ (大学院科目)音楽学研究, 音楽文化総合研究, 音楽学演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [著書・単著]「シベリウスの交響詩とその時代—神話と音楽をめぐる作曲家の冒険—」, 音楽之友社, (2015年12月31日)</li> <li>2. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]神部智「ニルセン 交響曲第5番 作品50」, フィルハーモニー, <b>88</b>, 2, 24-25(2016年02月01日)</li> <li>3. [(MISC)総説・解説(その他)単著]「シベリウスの交響詩とその時代—交響詩でたどるシベリウスの作曲家人生—」, 音楽の友, <b>73</b>, 11, 66-71(2015年11月01日)</li> <li>4. [(MISC)総説・解説(その他)単著]「シベリウス&lt;交響曲第3番&gt;」, ミニチュア・スコア(音楽之友社), (2015年08月10日)</li> <li>5. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]神部智「《フィンランディア》とフィンランド」, サラサーテ, <b>65</b>, 36-38(2015年08月01日)</li> </ol>
---

### 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職
---------

1. [出前授業] 水戸第三高等学校・講師, 2(時間/月)(2012年～)
2. [非常勤講師] 国立音楽大学・非常勤講師, 8(時間/月)(2012年04月～2015年09月)
3. [出前授業] 茨城県立水戸第二高等学校・講師(2007年07月～)
4. [非常勤講師] 宇都宮大学・非常勤講師(2006年10月～)
5. [出前授業] 常陸大田高校・講師(2003年07月～)
6. [その他] 日本シベリウス協会・理事(2000年12月～)



学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 谷川 佳幸
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	教授
生年月	1964 年 8 月
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部[1988 年 03 月卒業] 東京芸術大学 音楽学部[1992 年 03 月卒業] 東京芸術大学大学院 音楽研究科 声楽[1995 年 03 月修了]
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	第 2 回藤沢オペラコンクール奨励賞
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[台本と音楽], 地域志向系科目/人間・文化系科目[水戸芸術館で学ぶ、音楽、演劇、美術] (専門科目)初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱(選択必修), 独唱, 合唱(2 単位), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)音楽文化総合研究, 声楽研究, 声楽演習, 特別課題研究

**研究業績(3) 芸術・体育系の活動**

[芸術活動(共同)]ベートーヴェン交響曲第9番テノールソロ(2015 年 12 月)
[芸術活動(共同)]ネルソンミサ テノールソロ(2015 年 12 月)
[芸術活動(共同)]クリスマスコンサート(2015 年 12 月)
[芸術活動(共同)]戴冠ミサ曲テノールソロ(2015 年 10 月)
[芸術活動(共同)]第 41 回同声会茨城支部演奏会(2015 年 10 月)
[芸術活動(共同)]ファミリークラシックコンサート(2015 年 09 月)
[芸術活動(単独)]第 15 回絵のあるコンサート(テノールリサイタル)(2015 年 09 月)
[芸術活動(共同)]平井秀明 歌劇「小町百年の恋」(2015 年 08 月)
[芸術活動(単独)]谷川佳幸テノールコンサート(2015 年 07 月)
[芸術活動(共同)]シャピラ 歌劇「地獄変」(2015 年 06 月)
[芸術活動(共同)]茨城県民オペラ協会設立 40 周年記念集会コンサート(2015 年 06 月)

**社会的活動、地域貢献など**

[非常勤講師] 日本声楽家協会研究所〔研究科副主任〕(2012 年 04 月～2015 年 03 月)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 藤田 文子
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957 年 9 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科音楽教育学専攻[1981 年卒業] 筑波大学大学院 教育研究科 教育基礎学[1995 年単位取得満期退学]
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	教養教育の推奨授業の候補(2007 年 07 月, 2004 年), 全日本合唱連盟関東支部 合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981 年 09 月)
所属学会	日本音楽教育学会, 音楽教育史学会, 教育史学会, 教育実践学会, 教育哲学 会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	音楽科教育, 教育学
教育研究概要	教育学の知見を背景に持ち、歌唱、鑑賞など音楽教育、音楽科教育の諸分野に ついての研究を展開している。  (キーワード)フレーベルの音楽教育思想、幼稚園、小・中学校、高等学校の音楽 科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)独唱(選択必修), 初等音楽科教育法研究, 独唱, 音楽科教育法研究 III, 独唱, 初等音楽科教育法研究, 独唱 (大学院科目)音楽科教育演習, 音楽教育授業設計, 音楽科教育特論 II

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

内野健太、藤田文子「アカペラの音楽教育的側面に関する一考察～パレストリーナを中心に  
～」『茨城大学教育実践研究』(茨城大学教育学部教育実践センター)第 34 号,17-24.2015.  
藤田文子他「特集・シンポジウム 戦後 70 年と音楽教育史」『音楽教育史研究』(音楽教育史  
学会)第 18 号,pp.25-59,2015(シンポジストとしての藤田個人のシンポジウムの発表記録と提  
言を含む).

### 研究業績(2)学会発表など

藤田文子他、シンポジスト「特集・シンポジウム 戦後 70 年と音楽教育史」(音楽教育史学会第  
28 回  
大会 日本女子大学)2015,5,9 (シンポジストとしての藤田個人のシンポジウムの発表記録と  
提言を含む).

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

#### 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. 県教連・助言者(2015,10)
2. 教員免許更新講習講師(2015, 8)
3. 茨城大学教育学部附属中学校 公開授業研究会 共同研究者(2015, 11)
4. 茨城大学教育学部附属小学校 公開授業研究会 講師(2016, 1)

○ 学協会での役職

1. 教育実践学会, 理事(2001 年 06 月～)
2. 音楽教育史学会紀要編集委員(2014 年 05 月～)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 山口 哲人
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学大学院 音楽研究科[年] 東京芸術大学大学院 音楽学部[1996 年]
学位	修士(音楽)[東京芸術大学]
学位	
受賞歴	<p>第 14 回神奈川県芸術祭創作コンクール第 1 位入賞。  94 年度全日本合唱コンクール公募「朝日作曲賞」受賞。  上野の森プラス 20 周年「銀の森賞」受賞。  稲門グリークラブ 40 周年記念作曲コンクール最優秀賞受賞。  96 年度全日本吹奏楽連盟主催コンクール選抜曲公募佳作。  平成 8 年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞（最高位）受賞。  くまもと未来国民体育大会(第 54 回国体)ファンファーレ入選。  第 17 回日本歌曲コンクール作曲部門優秀賞。  第 19 回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞、並びに全音楽譜出版社賞受賞。  第 15 回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第 3 位入賞。  第 16 回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第 2 位入賞。  第 17 回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第 2 位入賞。  第 18 回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門中田喜直賞受賞。  第 14 回東京国際室内楽作曲コンクール第 2 位（1 位なし）入賞。  第 21 回東京国際室内楽作曲コンクール入選。  第 3 回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール第 1 位入賞。  東京国際芸術協会第 9 回 TIAA 全日本作曲家コンクール奨励賞受賞。  東京国際芸術協会第 10 回 TIAA 全日本作曲家コンクール審査員賞受賞。  東京国際芸術協会第 11 回 TIAA 全日本作曲家コンクール第 1 位入賞。  第 10 回弘前桜の園作曲コンクール第 3 位入賞。  第 13 回弘前桜の園作曲コンクール第 3 位入賞。  白蓮の和歌作曲コンクール入選。  第 2 回小田原賞作曲コンクール入選。  第 4 回東京国際歌曲作曲コンクール入選。  第 6 回日本管打・吹奏学会作曲賞佳作入選。</p>

	第 7 回日本管打・吹奏学会作曲賞佳作入選。
所属学会	21世紀音楽の会, ニュー・サウンド・スケイプ 96'～
専門分野	作曲・編曲・指揮
教育研究概要	(キーワード)作曲・編曲・指揮
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[新しい音楽を探す] (専門科目)作曲特別演習 I, 作曲法 I, 和声学 I, 現代音楽へのいざない, ソルフェージュ I, 初等音楽科内容研究, 作曲特別演習 II, 指揮法, 音楽通論 II, 対位法 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)作曲・指揮法研究, 音楽文化総合研究, 作曲・指揮法演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

- 1.[音楽資料・単著]山口 哲人 混声四部合唱曲「あい」 組曲「死ぬまでに愛することのできる3つの歌」より, パナムジカ出版, (2017年02月22日)
- 2.[音楽資料・単著]山口 哲人 混声四部合唱曲「生きる」 組曲「死ぬまでに愛することのできる3つの歌」より, パナムジカ出版, (2017年02月22日)
- 3.[音楽資料・単著]山口 哲人「典礼風ファンファーレ」～ウィンド・オーケストラのための～ (H・トマジ作曲 山口哲人編曲), ティーダ出版, (2017年02月17日)
- 4.[音声・共著]Master Works For Wind Orchestra 2017 幻想曲「通りゃんせ」ティード出版, (2017年02月17日)
- 5.[音楽資料・単著]山口 哲人「7つのイメージ フルート三重奏のための」, ティード出版, (2016年)
- 6.[音楽資料・単著]山口 哲人「ヘンリー8世の音楽」, ティード出版, (2016年)
- 7.[音声・共著]海上自衛隊東京音楽隊「響け! ブラバン・ヒーローズ」, UNIVERSAL MUSIC, (2016年03月30日)
- 8.[音楽資料・単著]山口 哲人「3X3+?(さんかけさんたすはてな)打楽器三重奏のための」, ティード出版, (2015年)
- 9.[音楽資料・単著]山口 哲人「八瓶山の2つの伝説 管打6重奏」, ティード出版, (2015年)
- 10.[音楽資料・単著](F・グロフェ作曲 山口哲人編曲)「ミシシッピ組曲 ～ニューヨーク・フィル版～」, ティード出版, (2015年)
- 11.[音声・共著]東邦音楽大学ウインドオーケストラ・スペシャルユニット「アンコール! 東邦音楽大学コンクール自由曲集」, ティード出版・ワコーレコード, (2015年)
- 12.[音楽資料・単著](F・グロフェ作曲 山口哲人編曲)「組曲グランド・キャニオン」, ティード

出版, (2014 年)

13. [音声・共著] 東邦音楽大学ウインドオーケストラ・スペシャルユニット「アンコール! 東邦音楽大学コンクール自由曲集」, ティーダ出版・ワコーレコード, (2014 年 01 月 28 日)

14. [音楽資料・単著] 山口 哲人「組曲レイ・ブラッドベリ讃歌」, ティーダ出版, (2013 年)

15. [音楽資料・単著] 山口 哲人「小交響詩 エドワード 3 世 小編成吹奏楽のための」, ティーダ出版, (2013 年)

16. [音楽資料・単著] 山口 哲人「序曲 アーサー王宮廷のヤンキー 金管・打楽器のための八重奏」, ティーダ出版, (2013 年)

17. [音楽資料・単著] 山口 哲人「組曲 薔薇戦争より I II IV V」, 株式会社 CAFUA レコード, (2013 年)

18. [音声・共著]「CAFUA セレクション 2013」, 株式会社 CAFUA レコード, (2013 年 03 月 06 日)

19. [音楽資料・単著] 山口 哲人「2つの交響的スケッチ」, ティーダ出版, (2012 年)

20. [音楽資料・共著] 山口 哲人「白蓮を歌う合唱フェスティバル報告書白蓮の和歌メロディー創作コンクール 入選曲集」, (財)飯塚市教育文化振興事業団, (2012 年 10 月 01 日)

21. [音声・共著]「2011 年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲参考演奏 DVD」, 社団法人全日本吹奏楽連盟, (2011 年 02 月 01 日)

22. [音声・共著]「2011 年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲参考演奏 CD」, 社団法人全日本吹奏楽連盟, (2011 年 02 月 01 日)

23. [音楽資料・共著]「2011 年度全日本吹奏楽コンクール 課題曲集」, 社団法人全日本吹奏楽連盟, (2011 年 02 月 01 日)

24. [音楽資料・共著]「平成 6 年度全日本合唱コンクール課題曲 合唱名曲シリーズ NO.23」, 社団法人全日本合唱連盟, (1994 年 02 月 25 日)

25. [音楽資料・共著]「ハーモニー 春号 NO.84」, 社団法人全日本合唱連盟, (1993 年 04 月 10 日)

26. [音楽資料・共著]「神奈川県芸術祭 第 14 回合唱曲作曲コンクール 入選曲集」, 神奈川県(県民文化室), (1990 年 12 月 01 日)

## 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [・]「器楽曲 発表「ファンタジーの練習帳」 器楽アンサンブルのための 茨城大学美術科教員展+M/2015(茨城県 ひたちなか市)[2016 年 12 月 18 日]

2. [・]管弦楽曲 編曲発表 『ヴィオラ協奏曲』(C・フォーサイス作曲) 防衛医大弦楽アンサンブル[2016 年 12 月 04 日]

3. [・]管弦楽曲 編曲発表・指揮 『You Raise Me Up』 防衛医大弦楽アンサンブル[2016 年 12 月 04 日]

4. [・]管弦楽曲 編曲発表・指揮『ヴァイオリン協奏曲』(作曲: J・ブラームス) 防衛医大弦楽アンサンブル[2016年12月04日]
5. [・]管弦楽曲 編曲発表・指揮『ヴァイオリン協奏曲 第1番』(作曲: マックス・ブルッフ) 防衛医大弦楽アンサンブル[2016年12月04日]
6. [・]器楽曲 発表 愛猫とのコラボレーション実験開始!“わが家の猫のフーガ”~D.スカルラッティ“猫のフーガ”と共にご提供~ニュー・サウンド・スケイプ 96 第14回演奏会[2016年10月28日]
7. [・]器楽曲 発表 「ジャズの吟唱詩人」ツィンバロン・オーボエ・ファゴットのための 21世紀音楽の回 第13回演奏会[2016年05月18日]
8. [その他・国内会議(共同)] 佐藤正人指揮・東京都立杉並高校吹奏楽部「吹奏楽曲 発表 吹奏楽のための『メディテーションとダンス』」第7回日本管打・吹奏楽学会作曲賞 本選会[2016年02月07日]
9. [・]器楽曲 発表 「7つのイメージ」フルート三重奏のための」茨城大学美術科教員展+M/2015(茨城県 ひたちなか市)[2015年12月20日]
10. [・]器楽曲 発表 3X3+? (さんかけさんたすはてな) 打楽器三重奏のための ニュー・サウンド・スケイプ 96 第13回演奏会[2015年03月05日]
11. [その他・国内会議(共同)] 佐藤正人指揮・埼玉県立松伏高校吹奏楽部 吹奏楽曲 発表 吹奏楽のための『ヘンリー8世』の音楽 より 第6回日本管打・吹奏楽学会作曲賞 本選会[2015年02月11日]
12. [・]器楽曲 発表 八瓶山の2つの伝説 茨城県 城里町立七会中学校吹奏楽団第49回 茨城県アンサンブルコンテスト中央地区大会 [2014年11月15日]
13. [・]器楽曲 発表 「百鼠」ピアノ独奏のための 茨城演奏家連盟 第16回定期演奏会[2014年02月09日]
14. [・]声楽曲 発表 独唱とピアノのための『8つの夜の断章』詩: 立原道造 ニュー・サウンド・スケイプ 96 第12回演奏会[2013年08月08日]
15. [その他・国内会議(共同)] 佐藤正人指揮・埼玉県立松伏高校吹奏楽部 吹奏楽曲 発表 吹奏楽曲 発表 吹奏楽のための前奏曲『烈風、荒野を奔る』第4回日本管打・吹奏楽学会作曲賞 本選会[2013年02月11日]
16. [・]ピアノ独奏曲 発表 ヘクサメロン(Hexameron)ピアノのための6章 海老塚光生 ピアノリサイタル[2013年01月14日]
17. [・]吹奏楽曲 発表 (舞台初演) 吹奏楽のための組曲『薔薇戦争』第43回船橋市交響吹奏楽団定期演奏会[2012年06月03日]
18. [・]吹奏楽曲 発表 (舞台初演) 吹奏楽のための『宝池のほとりで』平泉国際交流展・岩手大学アートフォーラム委嘱作品 第43回船橋市交響吹奏楽団定期演奏会[2012年06月03日]
19. [・]吹奏楽曲 編曲発表 『二つの交響的スケッチ』(作曲: ホアキン・セッラ) 第4



- 3回船橋市交響吹奏楽団定期演奏会[2012年06月03日]
20. [・]器楽曲 発表 ツィンバロン独奏のための『遙かなる地球の歌』 ニュー・サウンド・スケイプ 96 第 11 回演奏会[2012年02月28日]
21. [・]声楽曲 発表 「王朝和歌・秋歌五首」詩：塚本邦雄 21世紀音楽の回 第9回演奏会[2011年09月27日]
22. [・]指揮 三菱東京UFJ銀行 管弦楽団・合唱団合同「第九」演奏会 山口 哲人(指揮) 佐竹由美(Sop.) 日野妙果(Alt.) 布施雅也(Ten.) 青山貴(Bar.) 三菱東京UFJ銀行 管弦楽団・合唱団[2011年02月05日]
23. [・]声楽曲 発表 独唱と弦楽三重奏のための『王朝和歌・夏歌五首』詩：塚本邦雄 ニュー・サウンド・スケイプ 96 第 10 回演奏会[2010年08月03日]
24. [・]指揮 三菱東京UFJ管弦楽団 第6回定期演奏会[2010年04月24日]
25. [・]世田谷少年少女合唱団ミュージカル公演 R.ロジャース：サウンド・オブ・ミュージック[2009年03月]
26. [・]器楽曲 発表 ヴァイオリンとピアノのための『桜の森の満開の...』ニュー・サウンド・スケイプ 96 第9回演奏会[2009年02月19日]
27. [・]器楽曲 発表 ハープ独奏のための『無限花序之曲』ニュー・サウンド・スケイプ 96 第9回演奏会[2009年02月19日]
28. [・]指揮 第5回三菱東京UFJ銀行管弦楽団定期演奏会[2008年03月]
29. [・]指揮 世田谷少年少女合唱団ミュージカル公演 青島広志：11ぴきのネコ[2008年03月]
30. [・]指揮 第3回三菱東京UFJ銀行管弦楽団定期演奏会[2008年03月]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [芸術活動(共同)]第31回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2016年09月～2016年09月)
- [芸術活動(共同)]第30回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2016年03月～2016年03月)
- [芸術活動(共同)]第29回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2015年09月～2015年9月)
- [芸術活動(共同)]第28回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会(2015年04月～2015年12月)
- [芸術活動(共同)]第27回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2014年09月～2014年9月)
- [芸術活動(共同)]第26回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2014年03月～2014年03月)

[芸術活動(共同)]第 25 回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2013 年 08 月～  
2013 年 08 月)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 宏明
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部 音楽学科ピアノ演奏家コース(日本)[1994年03月卒業] 東京藝術大学大学院 音楽研究科修士課程 器楽(ピアノ)専攻(日本)[1998年03月修了] 藤女子大学(2000年4月～2016年3月) 茨城大学(2016年4月～)
学位	修士(音楽)[東京藝術大学]
受賞歴	なし
所属学会	全国大学音楽教育学会 日本音楽表現学会 (社)全日本ピアノ指導者協会
専門分野	芸術一般(音楽分野・ピアノ)
教育研究概要	(キーワード)音楽 器楽 ピアノ ピアノ演奏
担当科目	

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [教科書・共著]田中宏明・木村貴紀『『小学校音楽科歌唱共通教材《全24曲》—簡易伴奏つき—』, 圭文社, (2016年03月10日)
2. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)単著【査読あり】]田中宏明「保育者及び教員養成系大学の学生に対するピアノを用いた指導法—小学校音楽科歌唱教材の簡易伴奏譜活用のあり方—」, 高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習—, 23, 37-42(2016年03月)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]田中宏明「保育内容「表現」における音楽教育のかかわり—音楽から派生する保育活動の可能性—」, 藤女子大学人間生活学部紀要, 53, 89-94(2016年03月31日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 田中宏明「ピアノによる簡易伴奏譜を活用した指導法のあり方—小学校音楽科歌唱教材を中心に—」全国大学音楽教育学会全国大会 (山口県国際総合センター海峡メッセ下関)[2015年08月28日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]「田中宏明ピアノ・リサイタル～バッハ鍵盤組曲を弾く～」六花亭札幌本店・ふきのとうホール。(年度不詳～2016年12月)

#### 社会的活動、地域貢献など

##### ○ 地域協力活動

1. 毎日新聞社[その他公的社会活動]「全日本学生音楽コンクール審査員」『全日本学生音楽コンクール』(2015年04月～)
2. 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会[その他公的社会活動]「PTNA ピアノコンペティション審査員」(2005年07月～)

#### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

#### 科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 脇岡 宗一
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	東京芸術大学 音楽学部 器楽科[1947年03月卒業]
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	<p>広島市に生まれる。1972年東京芸術大学音楽学部卒業。その後、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団楽団を経て、東京都交響楽団首席オーボエ奏者をつとめる。その間、1969年日本音楽コンクール入選、安宅賞受賞、卒業特別演奏会、NHK 新人演奏会等に出演。1974年民音室内コンクール入選。1982年、文化庁海外派遣研修生として西ドイツ/ハンブルクにてW・リーバーマン氏に師事。また、「東京ゾリステン」武満徹主催の「ミュージックツデー」等を始めとする数々の演奏会に出演。さらに、「FM クラシックアワー」「午後のリサイタル」「クラシックオンステージ」等多くのテレビ・ラジオ音楽番組に出演。日本の第一線のプレーヤーを集めた「アウロス チェンバー アンサンブル」を主宰して日本各地での演奏会、放送などを行う。また、ウィーン・トリオ、シカゴプロムジカ、M. クレメント(ob)等海外の演奏家との競演も数多く、1994年にはロリン・マゼール指揮のバイエルン放送交響楽団、ピンスカ・ズッカーマン指揮のイングリッシュ チェンバーオーケストラに出演する。日本音楽コンクール、全日本吹奏楽コンクール、日本クラシックコンクール全国大会等多くのコンクールの審査員もつとめている。2005年3月に東京都交響楽団を退団し、4月より高知大学教育学部教授に就任し、「ジョイフルコンサートシリーズ ユーチ」「スーパーハイスクールプラス」等を開催し、また「高知ジュニアオーケストラ」を立ち上げる。2014年3月に高知大学を退職し、4月より茨城大学教育学部特任教授に就任する。高知大学名誉教授、非常勤講師、また平成音楽大学客員教授も兼任しフリーのオーボエ奏者として活動をおこなっている。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味]          (専門科目) 合奏、管打楽器(重複用)、初等音楽科内容研究、ソルフェージュ II、管打楽器(重複用)、卒業研究(教育:4単位)          (大学院科目) 音楽文化総合研究、特別課題研究</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究業績(2) 学会発表など

--

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

--

社会的活動、地域貢献など

--

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

--

科学研究費補助金などの受領

--

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 向野 康江
------------------	----------

## 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1959 年 10 月
学歴・職歴	<p>福岡県立筑紫高等学校大学院(日本)[1978 年 03 月卒業]</p> <p>筑波大学大学院 芸術学研究科 芸術学専攻(つくば市)[1994 年 03 月修了]</p> <p>北九州市立大学大学院 社会システム研究科 地域社会システム専攻[2016 年 03 月修了]</p> <p>九州女子高等学校(1988 年 4 月～1989 年 3 月)</p> <p>学校法人岩尾昭和学園昭和女子高等学校(1988 年 4 月～1989 年 3 月)</p> <p>茨城大学(1995 年 4 月～1996 年 9 月)</p> <p>茨城大学(2015 年 4 月～)</p>
学位	博士(芸術学)[筑波大学] 博士(学術)〈満洲経済史〉[北九州市立大学]
受賞歴	<p>平成25年度ソプロチミスト日本財団活動資金援助クラブ賞(公益財団法人ソプロチミスト日本財団)(2013 年 04 月 05 日), 二零零一年全国中小学優秀美術課例壺等奨(中国)(2001 年), 中国華東地区首届優秀美術課例壺等奨(中国山東省教育学会美術教学研究專業委員会・華東師範大学芸術教育研究中心)(2001 年)</p>
所属学会	アジア教育史学会 中国現代史研究会 現近代東北アジア地域史研究会 淡窓研究会 大学美術教育学会 教育史学会
専門分野	近代日中関係史(満洲経済史) 芸術学 教科教育学
教育研究概要	<p>向野堅一(1868-1931)伝記作成および向野コレクション(向野文庫を含む)に関する調査研究。勤務先である大学教育においては美術教育について教えている。研究については向野堅一(1868-1931)研究に主眼を置いている。</p> <p>(キーワード)向野堅一(1868-1931)研究</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と歴史(集中 1)[満洲経済史]</p> <p>(専門科目)図画工作科教育法研究, 美術科教育特別演習BI, 図画工作科内容研究, 美術科教育特別演習BII, 卒業研究(教育:4 単位), 日本美術実地研究, 古美術実地研究</p> <p>(大学院科目)美術教育研究 II, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計</p>

## 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

## ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]向野康江「日清商品陳列所の実修機能一向野堅一宛書簡に見る卒業生の苦闘一」、『アジア教育史研究』, 23, 27-55(2016年03月)
2. [学位論文(博士)単著【査読あり】]向野康江「向野堅一(1868～1931)の経済活動一日清貿易模索から奉天実業界形成への道程/向野書簡を中心にして一」, 北九州市立大学平成27年度博士(学術)学位請求論文, (2016年03月26日)

**研究業績(2)学会発表など**

## ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「向野堅一(1868～1931)の経済活動一日清貿易模索から奉天実業界形成への道程/向野書簡を中心にして一」アジア教育史学会例会(中部大学)[2016年02月27日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]向野康江「日清商品陳列所の実修機能一向野堅一宛書簡に見る卒業生の苦闘一」アジア教育史学会(立正大学)[2015年08月19日]

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 向野堅一顕彰会・理事(非常勤), 48(時間/月)(2013年05月～2015年05月)

## ○ 学協会での役職

1. 淡窓研究会, 事務局(2015年06月～)

## ○ 地域協力活動

1. 向野堅一記念館(2009年09月～)
2. 直方市(2007年11月～)

**科学研究費補助金などの受領**

## ○ 共同研究・受託研究

1. [国際共同研究]「玉作品を対象にした鑑賞教育教材研究の開始」, 未詳(年度不詳～)
2. [国内共同研究]「玉作品を対象にした鑑賞教育教材による授業/千波小学校での実践報告」, 未詳(年度不詳～)
3. [国際共同研究]「中国人の玉認識アンケート調査について」, 未詳(年度不詳～)
4. [国内共同研究]「平成21年度 公開授業研究会「自分づくり」を支える教育活動の創造(2年次) -かかわり合いの質を高める- 学習案集」, 未詳(2010年01月～)
5. [国内共同研究]「自分づくり」を支える教育活動の創造(第1年次) -他とのかかわり合いを通して-」, 未詳(2009年～)
6. []「茨城大学教育学部附属中学校 かかわりが育む確かな学び(2年次)かかわりを深める手だての工夫」, 未詳(2003年06月～)



学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 島 剛
------------------	--------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1963 年 7 月
学歴・職歴	東京芸術大学 美術学部 彫刻[1987 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 彫刻[1989 年 03 月修了]
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	第 9 回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004 年), 第 2 回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000 年), 第 6 回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999 年), 第 7 回日本現代陶彫展'98、大賞(1998 年), 第 2 回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木'95、大賞(1995 年), 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990 年), 第 19 回現代日本美術展、大賞(1989 年), オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988 年), 第 18 回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987 年)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	彫刻 (キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目) 彫刻基礎/立体表現演習 I, 彫刻表現演習 I, 彫刻 I/立体表現演習 II, デッサン I/造形実技 I, 彫刻特別演習, デッサンの基礎 II/表現の基礎 II, デッサンの基礎 III/表現の基礎 III, 保育内容の研究(表現), 彫刻表現演習 II, 彫刻 II/立体表現演習 III, デッサンの基礎 IV/表現の基礎 IV, 塑造特別演習, 卒業研究(教育: 4 単位), 日本美術実地研究, 古美術実地研究 (大学院科目) 美術文化総合研究, 彫刻研究, 彫刻演習, 美術教育授業設計

### 研究業績(3) 芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)] 宙(ソラ)がひらかれるとき/6 つの個展 2015/茨城県近代美術館(2015 年 09 月~2015 年 10 月)
[芸術活動(単独)] 元型の海一放/島剛展/ギャラリー志門/銀座(2015 年 04 月)
[芸術活動] ノアの島一青い空/現代陶芸の粋一東日本の作家を中心に一/茨城県陶芸美術館(2006 年)
[芸術活動] たまきはる NO, 2/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2005 年)

- [芸術活動] Tamakiharu05-1/五島記念文化財団設立 15 周年記念グループ展/Bunkamura Galley/渋谷(2005 年)
- [芸術活動] たまきはる—光の雨降る/第 9 回日本現代陶彫展 2004/セラテクノ土岐/岐阜 ※陶彫展優秀賞(2004 年)
- [芸術活動] RangeIV/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2003 年)
- [芸術活動] 聖老人/第 3 回現代茨城作家美術展/茨城県近代美術館(2003 年)
- [芸術活動] たまきはる/島剛展、村松画廊(個展)/銀座(2003 年)
- [芸術活動] ノアの島—南の光/JAPANESE KERAMIEK/Culuurcentrum Scharpoord/クノックヘイスト・ベルギー(2002 年)
- [芸術活動] 切株更新 2002/第 6 回国際陶磁器展美濃/セラミックパーク美濃/多治見・岐阜(2002 年)
- [芸術活動] たまきはる—ひとつの空/第 7 回風の芸術展トリエンナーレまくらざき/枕崎市文化資料センター南溟館/鹿児島(2002 年)
- [芸術活動] ノアの島/島剛彫刻展—ノアの島—/ギャラリー ESPACE(個展)/茨城(2002 年)
- [芸術活動] 切株更新 No.9/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2001 年)
- [芸術活動] Sky the Blue/第 2 回印旛村野外芸術展 in いには野/印旛村中央公民館/千葉 ※佳作賞(2001 年)
- [芸術活動] 切株更新/現代陶芸の精鋭—21 世紀を開くやきもの手法とかたち—展/茨城県陶芸美術館(2001 年)
- [芸術活動] 切株更新 2000/夢みどりいしかわ 2001 現代野外アートコンペティション/金沢城公園/石川(2001 年)
- [芸術活動] 万象—誕生/五島記念文化財団設立 10 周年記念展/Bunkamura Galley/渋谷(2000 年)
- [芸術活動] 万象-大地の王冠/21 世紀アート大賞 2000/熊本県立美術館分館(2000 年)
- [芸術活動] 双生の壺/「茨城陶芸の現在—陶の魅力と可能性を求めて」展/茨城県陶芸美術館(2000 年)
- [芸術活動] 伝説-夜明け前/第 28 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館(1999 年)
- [芸術活動] 伝説-風の谷/第 6 回天理ビエンナーレ/天理市(1999 年)
- [芸術活動] The Arch of East/第 6 回風の芸術展ビエンナーレまくらざき/枕崎市文化資料センター南溟館/鹿児島 ※佳作賞(1999 年)
- [芸術活動] 倒木更新/第 7 回日本現代陶彫展'98/セラテクノ土岐/岐阜 ※大賞(1998 年)
- [芸術活動] 倒木更新(Dolmen)/現代美術の磁場 1998/茨城県つくば美術館・中央公園(1998 年)
- [芸術活動] Firework-62/水戸市展/水戸芸術館現代美術センター/水戸市 ※アートディレクター賞(1996 年)
- [芸術活動] 日月山水春夏秋冬/いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」展/水戸芸術館現代美術センター/水戸市・茨城(1996 年)
- [芸術活動] 雲中のトーテム/21 世紀アート大賞'96/熊本県立美術館分館(1996 年)
- [芸術活動] 木霊の壺/第 2 回朝来 2001 野外彫刻展 in 多々良木'95/あさご芸術の森/兵庫 ※大賞

- (1995 年)
- [芸術活動]我は“泉”に立つ No.11/あかりとアート—島剛作品展—、プロックスギャラリー(個展)/茨城(1994 年)
- [芸術活動]Stretched Body in the pool/21 世紀アート大賞'94/熊本県立美術館分館(1994 年)
- [芸術活動]Firework-65/美和村野外現代彫刻展/美和村工芸ふれあいセンター/茨城(1994 年)
- [芸術活動]二枚岩/第 1 回五島記念文化賞海外研修記念 島剛展—我は“泉”に立—、佐賀町エキジビット・スペース(個展)/江東区・東京(1994 年)
- [芸術活動]我は“泉”に立つ No.3/島剛展—我は“泉”に立つ—、アートフォーラム谷中/台東区(1992 年)
- [芸術活動]Chimney(煙突)/第 2 回足立区野外彫刻展/足立区立元淵江公園/東京(1991 年)
- [芸術活動]Firework-70/CONTENPORARY WORKS 1990/日本橋東急(1990 年)
- [芸術活動]モンスター—炎の記憶 1—/松戸駅市民ギャラリー(個展)/千葉(1990 年)
- [芸術活動]Firewok-64/「現代彫刻の歩みⅢ 1970 年以降の表現—物質と空間の表現」展/神奈川県民ホール・ギャラリー/横浜(1990 年)
- [芸術活動]モンスターScene No.1~No.17/第 10 回ハラアニュアル/ハラ美術館、品川(1990 年)
- [芸術活動]モンスター38/第 1 回TAMON賞全国公募展/柏高島屋/千葉(1990 年)
- [芸術活動]モンスター7—森林の怒り—/島剛展—森林の怒り—、ギャラリー現(個展)/銀座(1990 年)
- [芸術活動]モンスター3—森林の怒り—/第 17 回日本国際美術展/東京都美術館、京都市美術館他(1990 年)
- [芸術活動]Firework-61/INAX ギャラリー2(個展)/京橋(1990 年)
- [芸術活動]Firework-68/GALLEY21(個展)/北九州市(1989 年)
- [芸術活動]Firework-66/第 3 回東京野外現代彫刻展/世田谷区砧公園、東京(1989 年)
- [芸術活動]Firework-63/第 18 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館他 ※大賞(1989 年)
- [芸術活動]Firework'87.6—四角から〇へ—/オブジェ東京展'88/渋谷パルコ/東京 ※佳作賞(1988 年)
- [芸術活動]Firework-38/Galley NAF(個展)/名古屋(1988 年)
- [芸術活動]Firework'87.6—四角から〇へ—/第 17 回日本国際美術展/東京都美術館、京都市美術館他(1988 年)
- [芸術活動]Firework'88.4—樹木へ—(1988 年)
- [芸術活動]Firework-15/フジヤマゲイシャ展/東京・大阪(1987 年)
- [芸術活動]Firework-16/中村画廊(個展)/京橋(1987 年)
- [芸術活動]Firework-8/中村画廊(個展)/京橋(1987 年)
- [芸術活動]Firework'87.1—四角から〇へ—/第 18 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館他 ※いわき市立美術館賞(1987 年)

[芸術活動] Firework—樹木へ—/「私のミニミニ美術館—空間を造形しよう」展/練馬区美術館(1987年)

### 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師, 3(時間/月)(2009年08月～)
2. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年07月～)
3. [兼業] 大阪教育大学・講師(2007年01月～)
4. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2006年07月～)
5. [出前授業] 光洋高校・講師(2006年05月～)
6. [兼業] 桜の牧高校・講師(2005年11月～)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 片口 直樹
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 1 月
学歴・職歴	<p>金沢美術工芸大学 美術工芸研究科[2002 年 03 月卒業]</p> <p>金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科 絵画専攻[2002 年]</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003 年 4 月～2006 年 3 月)</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009 年 4 月～)</p>
学位	修士[金沢美術工芸大学]
受賞歴	第 22 回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005 年), 第 20 回国際瀧富士美術賞(1999 年)
所属学会	大学美術教育学会, 美術科教育学会
専門分野	芸術一般 絵画
教育研究概要	<p>絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。</p> <p>また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。</p> <p>以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。</p> <p>(キーワード) 絵画・油画・インスタレーション・造形ワークショップ</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現]</p> <p>(専門科目) 絵画 I/平面表現演習 II, 絵画基礎/平面表現演習 I, 絵画表現演習 I, デッサンの基礎 I/表現の基礎 I, 美術館ワークショップ実習/美術教育授業研究 II, 絵画 II/平面表現演習 III, 絵画表現演習 II, 卒業研究(教育:4 単位), 日本美術実地研究, 古美術実地研究</p>

(大学院科目)研究と教育—知の往還をめぐって—, 美術文化総合研究, 絵画研究, 絵画演習, 美術教育授業設計
---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤孝・上栗伸一・片口直樹・大辻永・橋浦洋志「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践—1-地学と美術編—」, 茨城大学教育実践研究, 34, 211-224(2015年)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]片口直樹・蛭田清子「美術科と特別支援学校による連携の試み—絵画を軸とした芸術体験「レインボーミラクル for チャレンジド」の実践を通して—」, 茨城大学教育実践研究, 34, 25-39(2015年)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・] 片口直樹・金子一夫「沈黙交易・贈与交換の概念による美術教育実践の解釈と構想—特別支援学校と大学生の交流事例の分析を踏まえて—」第38回美術科教育学会大阪大会(大阪成蹊大学・短期大学)[2016年03月19日]
2. [ポスター発表・] 片口直樹「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの提案と実践—美術と地学編—」日本理科教育学会第54回関東支部会(茨城大学教育学部)[2015年12月05日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん〜お水ってすばらしい〜」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2015年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2015年)
- [芸術活動(単独)]公開制作「Station High Light」/東海ステーションギャラリー/東海(2015年08月~2015年09月)
- [芸術活動(単独)]「光彩」/INFORM gallery/金沢(2015年07月~2015年08月)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん〜お魚ってすばらしい〜」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2014年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね in キタク」/茨城県立北茨城特別支援学校/北茨城(2014年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「グループで絵を描く」/茨城大学教育学部附属幼稚園/水戸(2014年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2014年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね in 大生小学校」/常総市立大生小学校/常総(2014年)
- [芸術活動(単独)]「光彩」/INFORM gallery/金沢(2013年)

- [芸術活動(単独)]「信濃橋画廊コレクション」／兵庫県立美術館／神戸(2013年)
- [芸術活動(単独)]「茨城大学美術科教員展」／ギャラリーESPACE／ひたちなか(2013年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「空想どうぶつえん～創造ってすばらしい～」／かみね動物園／日立(2013年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「目指せ!!石炭アーティスト～石炭で自分の絵具を作り表現しよう～」／リーベロ高萩／高萩(2013年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学教員三人展」／Gallery ESPACE／ひたちなか(2013年)
- [芸術活動(単独)]「Station」／日立駅情報交流プラザ／日立(2013年)
- [芸術活動(単独)]「黒ノ美学」／雅景錐／京都(2012年)
- [芸術活動(単独)]アートフェア「ART OSAKA 2012」／ホテルグランヴィア大阪／大阪(2012年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学教員作品展」／Gallery ESPACE／ひたちなか(2011年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「ひろげよう、リリーのわ!!」／学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園／水戸(2011年)
- [芸術活動(単独)]「Soil2」／INFORM gallery／金沢(2011年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「大きなリリーの木の下で」／学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園／水戸(2010年)
- [芸術活動(単独)]公開制作「片口直樹のアートワーク」／茨城県近代美術館／水戸(2010年)
- [芸術活動(単独)]「Soil」／INFORM gallery／金沢(2010年)
- [芸術活動(単独)]「外には優しい雨の音」／信濃橋画廊／大阪(2010年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「親子でつくる不思議な世界-マグリットの世界を感じて」／茨城県近代美術館／水戸(2010年)
- [芸術活動(単独)]「Sync」／INFORM gallery／金沢(2009年)
- [芸術活動(単独)]「言葉は遠くの方にある」／信濃橋画廊／大阪(2009年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね」／大阪市立鷺洲小学校／大阪(2009年)
- [芸術活動]「gallerism2008」／大阪府立現代美術センター／大阪(2008年)
- [芸術活動(共同)]「森ニユートン幸峰・片口直樹・吉田千春」／INFORM gallery／金沢(2008年)
- [芸術活動(単独)]「Sweet & Bitter」／信濃橋画廊／大阪(2008年)
- [芸術活動(共同)]「thing matter time 2008」／信濃橋画廊／大阪(2008年)
- [芸術活動(共同)]「百花繚乱展」／兵庫県立美術館／神戸(2007年)
- [芸術活動(単独)]「微のあいだ」／INFORM gallery／金沢(2007年)
- [芸術活動(単独)]「つもりつもれば」／信濃橋画廊／大阪(2007年)
- [芸術活動(単独)]「Distance」／信濃橋画廊／大阪(2006年)
- [芸術活動(単独)]「Diary」／INFORM gallery／金沢(2006年)
- [芸術活動(単独)]「Happy End」／信濃橋画廊／大阪(2006年)
- [芸術活動(単独)]「第22回天展天理ビエンナーレ2005」／天理教本部・特設会場／天理(2005年)
- [芸術活動(共同)]「Premonition-I- 片口直樹/中西信洋」／大阪成蹊大学芸術学部 spaceB／長岡

天神(2005年)

[芸術活動(共同)]「LA VOZ 2005」/京都市立美術館別館/京都(2005年)

[芸術活動(単独)]「suzuka」/信濃橋画廊/大阪(2005年)

[芸術活動(単独)]「River」/INFORM gallery/金沢(2005年)

[芸術活動(共同)]「remo\_showcase」/remo/大阪(2005年)

[芸術活動(共同)]「remo video loungage[wallstream]」/remo/大阪(2005年)

[芸術活動(単独)]「ぼくのもの」/信濃橋画廊/大阪(2005年)

[芸術活動]「第13回吉原治良賞美術コンクール展」/大阪府立現代美術センター/大阪(2005年)

[芸術活動(単独)]「ここにしあわせがある」/やわたメディカルセンター/石川(2004年)

[芸術活動(単独)]「そこにしあわせがある」/信濃橋画廊/大阪(2004年)

[芸術活動(共同)]「thing matter time」/信濃橋画廊/大阪(2004年)

[芸術活動(単独)]「awake and aware」/INFORM gallery/金沢(2002年)

[芸術活動(単独)]「片口直樹展」/やわたメディカルセンター/小松(2002年)

### 社会的活動、地域貢献など

連携プロジェクト「レインボーミラクル for チャレンジド」/茨城県立北茨城特別支援学校/(2014年)

### 科学研究費補助金などの受領

基盤研究 C 課題番号 26381251 「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(研究代表者:伊藤孝)



学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 寺本 輝正
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	東京芸術大学 美術学部 工芸科[1977 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 漆芸[1979 年修了]
学位	芸術学修士
受賞歴	なし
所属学会	茨城工芸会 世界漆文化会議 日本文化財漆協会 大学美術教育学会
専門分野	美術教育
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習] (専門科目) 工芸 I/生活用品デザイン演習 I, ベーシックデザイン, 工芸 II/生活用品デザイン演習 II, 工芸基礎/デザイン素材研究, 日本美術実地研究, 古美術実地研究 (大学院科目) 木材工芸研究, 美術文化総合研究, 木材工芸演習, 美術教育授業設計

### 研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

### 研究業績(2) 学会発表など

### 研究業績(3) 芸術・体育系の活動

- [その他] 樹相「へ・う・ん」第 33 回水戸市芸術祭美術展覧会(水戸)(2000 年)
- [その他] タモ杵拭漆削手筥「白毫」個展(水戸)(1999 年)
- [その他] 樹相「あ・い・あ・い」第 32 回水戸市芸術祭美術展覧会(水戸)(1999 年)
- [その他] 樺杵拭漆削手筥「紗」第 35 回茨城工芸美術展(水戸)(1999 年)
- [その他] 樺杵拭漆削手筥「曙光」茨城の工芸作家展(つくば)(1998 年)
- [その他] 花梨杵拭漆削手筥「玉藻」第 32 回茨城県芸術祭美術展覧会(1997 年)
- [その他] 枳杵拭漆削手筥「水府」第 30 回水戸市芸術祭美術展覧会(水戸)(1997 年)
- [その他] 樺杵拭漆削手筥「春暁」第 34 回茨城工芸美術展(水戸)(1997 年)
- [その他] 拭漆金彩盛器「潮香」世界の漆・うるし展(東京)(1996 年)
- [その他] タモ杵拭漆削手筥「滝川」茨城県芸術祭美術展覧会(水戸)(1996 年)

[その他] 枥杓拭漆手筥「紫苑」第 70 回国画会展覧会(1996 年)  
[その他] 枥杓拭漆手筥 茨城県近代美術館「木の造形・木の魅力」(水戸)(1996 年)  
[その他] 寄木プレート「結城 (JG0006)」暮しを彩る器展 '96(東京)(1996 年)  
[その他] 杉拭漆金彩長手盆 日本文化財漆協会会員漆芸展(東京)(1995 年)  
[その他] 寄木プレート「結城 (JG0005)」漆芸三国展(大韓民国大邱市)(1995 年)  
[その他] 櫛杓拭漆盛器 第 33 回茨城工芸美術展(水戸)(1995 年)  
[その他] 櫛拭漆文机「悠」第 69 回国画会展覧会(東京)(1995 年)  
[その他] 杉拭漆長手盆「漆展」(東京)(1994 年)  
[その他] 櫛拭漆手筥 茨城県美術祭美術展覧会(水戸)(1994 年)  
[その他] 楓拭漆手筥 第 68 回国画会展覧会(東京)(1994 年)  
[その他] 枥拭漆文机「薫風」漆芸三国展(東京)(1994 年)

#### 社会的活動、地域貢献など

#### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

#### 科学研究費補助金などの受領

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 金子 一夫
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1950 年 12 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程美術専攻[1973 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1975 年修了] 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976 年 4 月～1978 年 3 月) 茨城大学教育学部講師(1978 年 4 月～1985 年 6 月) 茨城大学教育学部助教授(1985 年 7 月～1987 年 7 月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987 年 8 月～1996 年 9 月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996 年 10 月～) 茨城大学教育学部附属中学校校長併任(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城大学教育学部特任教授(2016 年 4 月～)
学位	博士(美術)[東京芸術大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会, 美術科教育学会, 大学美術教育学会, 美術史学会, 美学会, 日本美術教育連合, 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	1.日本美術教育史研究 戦前の中等学校の図画教員の勤務実態の全体像を明らかにする基礎的調査を完了し、報告書「大正・昭和戦前期の中等学校図画教員と出身美術学校の総覧的研究」(全三冊)にまとめることができた。その後は、未判明箇所の調査と、各府県や校種毎の図画教員出身美術学校等の分布割合等を集計して可視化する作業をしている。 2.美術教育学の再定義 現今の美術教育学が美術の学習・表現・教育の領域区分をしない、抽象的個的表現者としての子どもだけしか理論上にない、教育内容、教材、表現・鑑賞、教師の要素がない等の問題点を、贈与交換論的に再定義によって登場させる試みをしている。 (キーワード)美術教育学 術科教育 美術教育史
担当科目	(専門科目)美術科教育特別演習AI, 図画工作科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科教育法研究, 美術科教科論, 図画工作科教育法研究, 美術科教育

	特別演習AII (大学院科目)美術教育研究 I, 美術文化総合研究, 美術教育演習 I, 美術教育授業設計
--	--

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. 美術教育方法論における超越的外部の必然性―「無規定的過程」概念、その他―, 美術教育学, 37, 207-218, 2016 年 3 月
2. 植田竹次郎『臨画帖』と岡倉覚三―その実質的編集者と内容の構成をめぐって―. 五浦論叢, 23, 25-50, 2016 年 11 月.
3. [片口直樹との共著]沈黙交易・贈与交換論による、美術教育実践の解釈と構想, 五浦論叢, 23, 89-103, 2016 年 11 月.

### 研究業績(2)学会発表など

1. [口頭発表]戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究―北海道―, 大学美術教育学会北海道大会, 2016 年 10 月, 北海道教育大学札幌校.

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 学協会での役職

1. 明治美術学会, 理事(2006 年 10 月～)
2. 美術科教育学会, 理事(1982 年 03 月～)
3. 明治美術学会, 論文査読委員(2006 年 12 月～)
4. 日本美術教育学会, 理事(2008 年 04 月～)

### 海科学研究費補助金などの受領

#### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般「大正・昭和戦前期の中等学校図画教員と出身美術学校の総覧的研究」, 403 万円 (2013 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 日下 裕弘
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 2 月
学歴・職歴	新潟大学 教育学部 中学校教員養成課程、保健体育科[1975 年] 筑波大学大学院 体育科学研究科 体育科学[1984 年] 仙台大学体育学部助教授(1985～1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991～1996) 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996 年 4 月～)
学位	教育学博士 教育学修士 体育学修士
受賞歴	なし
所属学会	人体科学会, 日本社会学会, International Committee for Sociology of Sport, 日本スポーツ社会学会, 日本体育学会, 日本民族学会, 日本スポーツ史学会, 日本温泉協会
専門分野	体育学 人体科学・哲学 文化人類学 社会学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」(不昧堂出版)1996 <著書> 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分真堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」(日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002 分担執筆「フロー理論の展開:自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」(世界思想社)2003 分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY:Tradition and Change in a Globalizing World”(Routledge)2006 <翻訳書> 分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会)1977 分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社)1988 分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版)1991 <主要論文> 「明治期における武士的・武士道的野球信条に

	<p>関する文化社会学的研究」(体育・スポーツ社会学研究)1985          “The Development of Baseball Organizations in Japan”(International Review for the Sociology of Sport)1987「一般成人のスポーツ観に関する研究」(体育・スポーツ社会学研究)1988「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究)1991「体育教育における生涯体育論の再検討:E. H. エリクソンのアイデンティティ論のパーспекティブから」(教育学論説資料)1991「日本の自然遊:湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究)1995「湯治の身体論的意義」(人体科学)1998「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究:ハイキング・登山実践者の事例から」(スポーツ社会学研究)1999「高齢者の温泉浴に関する研究:湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究)1999「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学)2000「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料)2000「自然遊びにおける子どもの笑顔とその&lt;身体&gt;」(体育学研究)2003「スポーツ身体論序説:ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研究)2004「遊戯世界における子どもの身体:光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会)2004「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会)2004 &lt;文部科学省科学研究</p>
	<p>(キーワード)子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、温泉 体育学、教育学、社会学、哲学、身体論、民俗学</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[保健体育入門], 身体活動[屋内ボールゲームII(C)]</p> <p>(専門科目)体育経営管理学, 卓球・テニス指導法/卓球・テニス/卓球・テニス/卓球・テニス指導法/卓球・テニス, 生涯スポーツの実現, 体育スポーツ社会学, 体育科教育法研究[後期], ボールゲーム方法論II/ボールゲーム方法論II(健康), 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)体育社会学特論, 体育科学総合研究, 特別課題研究</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [著書・] 日下裕弘「(改訂版)生涯スポーツの理論と実際」, 大修館書店, (2015年09月01日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】] 古橋裕二郎・日下裕弘「ゲレンデスキーの技能とフロー感覚」, 茨城大学教育学部紀要、教育科学、, 64, 83-101(2015年)
3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著] 著明日香・日下裕弘「遊ぶ子どものこころと環境づくりに関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊号, 63-81(2015年)
4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]「ゲレンデスキーの技能とフロー感覚」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合), 増刊号(2015年)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [その他]長期野外体験活動「山中友子隊体験村」追跡調査報告書(2005 年)
- [その他]茨城県における子どもの体験活動調査報告書(2004 年)
- [その他]文部省科学研究費補助金研究(研究代表者):高齢者の生きがいと「自然遊」に関する研究(1996 年)
- [その他]スポーツと社会理論、不昧堂出版、pp33-63,pp64-74,pp178-219(分担翻訳)(1992 年)
- [その他]文部省科学研究費補助金研究(共同研究) わが国におけるスポーツの個人主義化現象に関する予備的研究(1992 年)
- [その他]スポーツと文化・社会、ベースボールマガジン社(pp.37-68)を分担翻訳。(1989 年)
- [その他](共同研究)、研究代表者丸山富雄(仙台大学体育学部)、丸山富雄編・発行、昭和 62・63 年度文部省科学研究費(一般研究 C)研究成果報告書、「わが国における階層構造とスポーツ参与の研究」(1989 年)
- [その他]文部省科学研究費補助金研究(研究代表者) スポーツの価値に関する実証的研究(1987 年)
- [その他]文部省科学研究費補助金研究(共同研究) スポーツと社会階層に関する実証的研究(1985 年)
- [その他]日本体育学会 体育社会学専門分科会編・発行、国際スポーツ社会学委員会機関紙『国際スポーツ社会学評論』(抄録)、Vol.1-Vol.6(pp50-54)を分担翻訳。(1977 年)

### 社会的活動、地域貢献など

- 地域協力活動
1. [学外審議会・委員会等]「県南生涯学習センター 運営委員会 副委員長」(1998 年 04 月～)
  2. [学外審議会・委員会等]「水戸市スポーツ推進審議会 委員長」(1994 年 04 月～)
  3. 茨城県生涯学習センターなど(年度不詳～)

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年9月
学歴・職歴	筑波大学 体育専門学群[1981年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学[1984年修了] 大学教育センター・副センター長(教育点検支援部)(2008年4月～2013年3月) 茨城大学教育学部附属小学校校長(2015年4月～2018年3月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	平成13年度大学教育研究開発センター前学期推奨授業受賞(2002年05月)
所属学会	日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本バレーボール学会 日本教育工学会 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	バレーボールの指導法に関する研究 研究は、1)バレーボールの技術指導に関する研究、2)バレーボールのゲーム分析に関する研究、3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。1)は、画像分析を用いてオーバーハンドパスやスパイク動作の分析し、バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は、様々なレベルに合わせて作成しており、中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。2)は、DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い、競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し、ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し、その要因をもとにして BASIC 言語を用いてゲーム分析ソフトを開発している。3)は、中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め、その経験をもとに、中学校のバレーボールにワンバウンドでの3人制ルールを導入した授業研究や3人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年、小学校にソフトバレーボールが導入され、バレーボール教材の再検討が求められており、中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。
	(キーワード)バレーボール指導法 体育科教育 コーチング ゲーム分析
担当科目	(教養科目)身体活動[ネットスポーツ I(C)], 身体活動[バドミントン I(C)] (専門科目)コーチング論 II, バレーボール指導法/バレーボール(中教科:保体)/



	<p>バレーボール(人間環境)/バレーボール指導法/バレーボール(人間環境), ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 体育科教育法研究[後期], 運動学概論, スポーツ実習 II, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)コーチング論特講, コーチング論演習, 体育科学総合研究, 特別課題研究</p>
--	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「オーバーハンドスローの動作習得における両側性転移の可能性に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, , 64, 341 -351, 2014.

「中学校体育におけるバレーボールのドリル教材に関する研究 : 男子のアンダーハンドパスに着目して」, 茨城大学教育学部紀要(教育総合)増刊号, , 495 -503, 2014.

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・]「3次元 DLT 法におけるスナップ動作に関する研究(1)ーコントロールを重視したスパイクスイングとフルスイングの差に着目してー」日本バレーボール学会第 21 回大会 () [2016 年 03 月 20 日]

2. [ポスター発表・国内会議]「バレーボールにおける得失点の流れをリアルタイム処理するゲーム分析の試みーICT を活用し多」ゲーム分析プログラムの開発ー」日本バレーボール学会第 21 回大会 (明治学院大学白金キャンパス) [2016 年 03 月 20 日]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県議会文教警察委員会参考人(グローバル化に対応した茨城の将来を担う人づくり)」茨城県議会事務局

2. 「第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部」[普及強化委員]

#### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部・強化普及委員(2012 年 04 月～)

2. [非常勤講師]「保健体育」・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校・講師(2011 年 04 月～)

#### ○ 学協会での役職

1. 全国国立大学附属連盟, 理事(2015 年 06 月～2016 年 06 月)

2. 日本バレーボール学会, 理事(2009 年 04 月～2015 年 03 月)

#### ○ 学外教育

1. [その他]「スポーツ科学セミナー(大阪体育大学スポーツ科学研究科博士前期課程)」, 2 時間, ,

2. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「茨城大学教員免許状更新講習」, , ,

#### ○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]「茨城県バレーボール協会理事」(2012 年 04 月～)
2. NPO 法人 スマイルクラブ(2000 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 吉野 聡
------------------	---------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 6 月
学歴・職歴	大阪教育大学 保健体育[1991 年] 筑波大学大学院 体育研究科 体育方法学[1993 年]
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2006 年 03 月 10 日)
所属学会	日本体育学会, 日本体育授業研究会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	<p>体育カリキュラム研究(技能特性に関する研究) 体育で教える領域毎の技能の特性(習得過程や習得に求められる能力の違い・特徴など)を研究しています。教材づくりや助言内容・方法などの指導法に資する知見を明らかにしたいと考えています。 &lt; 体育教師教育 &gt; 体育・保健体育科を指導する大学生、初任・中堅教員の指導力向上に役立つ研修のあり方について研究を行っています。</p> <p>(キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法</p>
担当科目	<p>(教養科目) 身体活動[ソフトボール I(C)], 身体活動[ソフトボール II(C)], 身体活動[サッカー II(C)]</p> <p>(専門科目) 体育科内容研究, 保育内容の研究(健康), ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I(健康), 体育科教育法研究[後期], サッカー指導法/サッカー/サッカー指導法/サッカー, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 保健体育授業設計, 体育科教育学特論, 体育科学総合研究, 体育科教育学演習, 特別課題研究</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

菊地耕・吉野聡・柴田一浩・佐藤豊・宇井俊介・斎藤拓真(2014) 一撃の攻防を強調する剣道の授業づくりとその有効性. 体育学研究, 59:789-803.

吉野聡・加藤敏弘・篠田明音・斎藤拓真・宇井俊介・飯塚明彦・佐藤竜也(2015) 学習者の自己評価による球技の類型と各型に位置づく類似の行為. 体育学研究, 60:511-525.

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 学協会での役職

1. 日本体育科教育学会, 国際交流委員長(2011年04月～)
2. 日本スポーツ教育学会, 国際交流委員長(2009年04月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

カナダ バンクーバー シェラトン・ウォール・センター[学会参加](2015年6月:3日間)

スペイン マドリッド ヨーロッパ大学[学会参加](2015年7月:6日間)

台湾 台北市 台湾教育省 外[情報収集](2016年3月:3日間)

### 科学研究費補助金などの受領

#### [科学研究費]

基盤研究(C)学校体育における球技カリキュラムの構築に向けた基礎的・実践的研究. 2014年度～2016年度. 研究代表:吉野聡.

基盤研究(B)教師養成、現職教員の協働によるアクション・ラーニング研修プログラムの開発. 2015年度～2019年度. 研究代表:佐藤豊.

基盤研究(B)体育授業に対する効果的なコンサルテーションの在り方とその条件に関する総合的研究. 2015年度～2017年度. 研究代表:細越淳二.

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 中嶋 哲也
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
学歴・職歴	埼玉大学 教育学部 生涯学習課程健康スポーツコース[2005年03月卒業] 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻[2011年03月修了] 横浜 YMCA スポーツ専門学校 非常勤講師(2006年4月～2011年3月) 埼玉大学 非常勤講師(2008年4月～2013年3月) 早稲田大学スポーツ科学学術院 助手(2011年4月～2013年3月) 鹿児島大学教育学部 講師(2013年4月～2015年4月) 鹿児島県立短期大学 非常勤講師(2014年4月～2015年3月)
学位	博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 スポーツ史学会 早稲田文化人類学会 日本武道学会 日本スポーツ人類学会
専門分野	スポーツ人類学 武道論 文化人類学 社会史
教育研究概要	(キーワード)柔道の歴史、古武道の近現代史、古流武術の民族誌
担当科目	(教養科目)身体活動[卓球 I(C)], 身体活動[テニス II(C)], 身体活動[バドミントン II(C)] (専門科目)体育科教育法研究, 柔道, 体育史特論, 武道方法論, 柔道指導法/柔道, 体育史

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など****研究業績(2)学会発表など****研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など****海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**



学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 大津 展子
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	講師
生年月	1978年10月8日
学歴・職歴	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 学校教育学専攻[2009年03月中退] 筑波大学附属坂戸高等学校(2006年4月～2011年3月) 尚美学園大学 総合政策学部 ライフマネジメント学科(2011年4月～2014年3月) 茨城大学 教育学部(2014年4月～)
学位	修士(体育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ教育学会 体育授業研究会 筑波大学教育学会 日本体育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	研究テーマ:体育科における社会的意識と行動の変容
	(キーワード)体育科教育学 体育授業 教材研究
担当科目	(教養科目)身体活動[ソフトボール II(C)], 身体活動[ソフトボール I(C)], 身体活動[屋外ボールゲーム II(C)]
	(専門科目)体育科内容研究, 保健体育科教育法研究 II, 体育科教育法研究[後期], ソフトボール・バドミントン指導法/ソフトボール・バドミントン/ソフトボール・バドミントン/ソフトボール・バドミントン, 卒業研究(教育:4単位)
	(大学院科目)保健体育授業特論, 体育科学総合研究, 保健体育授業論演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等
1. [単行本(一般書)・共著]高野牧子・高橋うらら・大津展子他「うきうきわくわく身体表現あそび—豊かに広げよう! 子供の表現世界—」, 同文書院, (2015年04月10日)
2. [その他・]石田啓太・大津展子「タッチフットの世界」, (公)日本女子体育連盟, (2015年04月01日)

**研究業績(2)学会発表など**

口頭発表
2003年9月 (単) スポーツ教育モデルの有効性の検証—小学校3年生のフラッグフットボールの授業を通して—, 日本体育学会, 第54回大会, 熊本大学.
2003年10月 (単) スポーツ教育モデルの有効性の検証—小学校5年生のファウストボール・

小学校 6 年生のユニホッケーの授業を通してフェアプレイと役割行動からみる児童の倫理観と社会性の発達ー, スポーツ教育学会, 第 23 回大会, 京都女子大学.

2005 年 9 月 (単) 体育科における社会的態度育成の可能性に関する実証的研究ースポーツ教育モデルの実践を通してー, 日本体育学会, 第 56 回大会, 筑波大学.

2007 年 9 月 (共) 大津展子・三木ひろみ他 教育実習生における実習日誌記録の変容に関する検討ーマネジメント・インストラクション・フィードバック・評価の観点からー, 第 27 回大会, 信州大学教育学部.

2008 年 10 月 (共) 大津展子・三木ひろみ他 教育実習の効果についての事例研究ー事前指導との比較と実習後のテストからー, スポーツ教育学会, 第 28 回大会, 奈良教育大学.

2011 年 10 月 (共) 大津展子・本弓康之他 地球環境の総合的な学習を可能にする高大連携授業の実証研究ー高等学校全学年を対象とした黒姫での宿泊実習を通してー, 日本野外教育学会, 第 14 回大会, 筑波大学.

2011 年 11 月 (単) 新学習指導要領「ダンス」の具体化に関する実践研究ー高等学校「創作ダンス」を対象にしてー, スポーツ教育学会, 第 31 回大会, 兵庫教育大学神戸サテライト.

ポスター発表

2012.12.9 Practical Study on the reification of "dance" New National Curriculum -Intended for "Creative Dance in High School"-, 2012 East Asia Sport Pedagogy Conference (EASPC).

2013.10.19 Examination of methods and techniques for instructing in rhythm dance class to improve skill "To dance by the whole body getting into the rhythm" - Unit of rhythm dance class in physical education class in junior high school -, Japanese society of Sport Education conference 2013.

2014.8.22 Research on communication ability improvement in physical education stay study of high school, 2014 East Asian Alliance of Sport Pedagogy Conference.

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

1998 年 8 月 文部科学大臣杯 第 33 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(三重県伊勢市)出場

1999 年 8 月 文部科学大臣杯 第 34 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(宮城県女川市)出場

2000 年 8 月 文部科学大臣杯 第 35 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(香川県丸亀市)出場

2001 年 8 月 文部科学大臣杯 第 36 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(茨城県古河市)出場

2015 年 4 月 茨城大学 硬式野球部部長, 茨城大学女子ソフトボール部部長

### 社会的活動、地域貢献など



○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 白?大学・(2015 年 04 月～)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「(公社)日本女子体育連盟「女子体育」編集委員会副委員長」(2013 年 04 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

スペイン マドリッド ヨーロッパ大学[学会参加](2015 年 7 月:5 日間)

台湾 台北市 台湾教育省 外[情報収集](2016 年 3 月:4 日間)

**科学研究費補助金などの受領**

「体育授業における社会的な意識と行動の変容に関する検討」[科研費]若手研究(B)(代表)(2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 工藤 雄司
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1959 年 6 月
学歴・職歴	<p>広島大学 学校教育学部 中学校教員養成課程 技術専攻[1984 年 03 月卒業]          東京学芸大学大学院 教育学研究科 技術教育専攻(電気講座)[1987 年 03 月修了]</p> <p>学校法人科学技術学園高等学校・教諭(1987 年 4 月～1991 年 3 月)          筑波大学附属坂戸高等学校・文部教官教諭(1991 年 4 月～2012 年 3 月)          埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000 年 4 月～2004 年 9 月)          筑波大学・非常勤講師(人間学群)「教育内容・方法論Ⅱ」(2004 年 4 月～)          埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005 年 4 月～2005 年 9 月)          愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育 CⅡ」(2007 年 12 月～2008 年 3 月)          茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報教育研究法」(2009 年 4 月～2012 年 3 月)          埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009 年 10 月～)          茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010 年 4 月～2012 年 3 月)          茨城大学・教授(教育学部 技術教育教室)(2012 年 4 月～)</p>
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本教育情報学会論文賞(日本教育情報学会)(2013 年 11 月 09 日)
所属学会	日本産業技術教育学会, 日本工業技術教育学会, 日本教科教育学会, 日本教育情報学会, 筑波大学教育学会, 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育
教育研究概要	<p>中学校技術・家庭科(技術分野), 高等学校情報科, 工業科, 情報教育に関する研究と教材開発に関する研究</p> <p>(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報リテラシー]          (専門科目)技術科教育演習A, 情報システム, 職業指導原論Ⅱ, 情報と職業, 基</p>

	<p>礎情報処理(高教科:工業)/情報通信ネットワーク演習/基礎情報処理(情報文化), 工業科教育法, 情報教育研究法(技術), 情報教育研究法(家庭), 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)技術と生活総合研究, 技術科教育特論 I, 技術科授業設計, 特別課題研究</p>
--	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]本村猛能, 森山潤, 山本利一, 角和博, 工藤雄司「日本・韓国・中国の中学・高等学校情報教育における学習者のカリキュラムに対するイメージの比較研究」, 日本教育情報学会誌, 31, 1, 55-66(2015 年 07 月 31 日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 平田晴路「エネルギー変換効率を考える制御教材の開発」日本教育情報学会第 31 回年会(茨城)(茨城大学教育学部)[2015 年 08 月 30 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 本村猛能「中学・高等学校の情報に関する内容の体系化の検討と実践」日本産業技術教育学会第 58 回全国大会(愛媛)(愛媛大学教育学部)[2015 年 08 月 22 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 平田晴路「エネルギー変換効率を高める制御技術教材の開発」日本産業技術教育学会第 58 回全国大会(愛媛)(愛媛大学教育学部)[2015 年 08 月 22 日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 埼玉大学教育学部・非常勤講師(2012 年 04 月～)
2. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・非常勤講師(2012 年 04 月～)
3. [非常勤講師] 筑波技術大学・非常勤講師(2012 年 04 月～)

#### ○ 学協会での役職

1. 第31回日本教育情報学会年会実行委員会, 実行委員長(2014 年 10 月～2015 年 08 月)
2. 日本工業技術教育学会, 事務局(1998 年 07 月～)
3. 日本工業技術教育学会, 編集委員(1998 年 07 月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

インドネシア スラバヤ マラン大学[情報収集](2015 年 9 月:2 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]萌芽研究(代表)「触覚・力覚インタフェースによる制御学習支援システムの研究」, 286 万円 (2013 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(技術教育)

氏名 榊 守

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	釧路工業高等専門学校[1983 年卒業] 豊橋技術科学大学 工学部 電気・電子工学課程[1985 年卒業] 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気・電子工学[1987 年修了] 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 4 月～1989 年 3 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 4 月～1996 年 3 月)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	平成 7 年度 優秀論文発表賞(電気学会)(1995 年)
所属学会	日本産業技術教育学会 表面技術協会 日本視覚障害理科教育研究会 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。 研究分野:アークやグロー放電の基礎研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論], 物理学【物理学実験基礎】[物理学実験基礎] (専門科目)電気工学, 電気の基礎技術, 電気工学演習, 基礎電気, 電気の応用技術, 家庭電気・機械, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)技術と生活総合研究, 電気工学特論 I, 特別課題研究

**社会的活動、地域貢献など**

○ 地域協力活動

1. 茨城県立盲学校(2009 年 11 月～)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 大西 有
------------------	---------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 2 月
学歴・職歴	北海道教育大学旭川校卒業 北海道公立中学校、北海道教育大学附属旭川中学校教諭、北海道教育委員会指導主事
学位	学士
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会
専門分野	技術科教育 生物育成(栽培)
教育研究概要	内容C 生物育成に関する技術の指導方法について
	(キーワード) 生物育成 教科教育
担当科目	(専門科目)栽培の基礎技術、栽培の応用技術、 技術科教育法 I、II 技術科教科論、技術科内容研究 生活科内容研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- ・(共) 安東茂樹他 23 名のうち 5 番目『中学校学習指導要領解説技術・家庭編(文部科学)』教育図書出版 4 頁. 2008. 9
- ・(共) 安東茂樹他 16 名のうち 5 番目『評価規準の作成, 評価方法の工夫改善のための参考資料』国立教育政策研究所教育課程研究センター8 頁. 2011. 11
- ・(共) 酒向憲司他 32 名のうち 1 番目「平成 22・23 年度プロジェクト研究 家庭における学習習慣の形成に関する研究～実施報告書～」北海道立教育研究所プロジェクト研究 1～72 頁. 2012. 3
- ・(共) 酒向憲司他 36 名のうち 2 番目「平成 23・24 年度プロジェクト研究 北海道の児童生徒の学力向上プロジェクト研究-カリキュラム・マネジメントによる学校改善プランの充実-」北海道立教育研究所プロジェクト研究 18 頁. 2013. 3
- ・(共) 小学校総合的な学習の時間におけるものづくり教育の可能性-旭川市内の小中学校調査から- 芝木邦也, 大西有, 宮本 芽生 北海道教育大学研究紀要 教育科学編, 65(1) 131-140 頁  
2014. 3
- ・(共) 中学校における材料加工教育の現状 野崎英明, 工藤雄司, 大西有 日本塑性加工学会誌(塑

性と加工) No. 663 p1-6 2016.4

・(共) 中学校技術・家庭 技術分野(平成 28 年度用) 生物育成に関する技術 開隆堂出版(5 頁) 執筆者 2016.9

・(教師用指導書) 中学校技術・家庭科学学習指導書(指導計画・評価編) 開隆堂出版 51-221 頁 校正・編集及び執筆者 2016.9

### **社会的活動、地域貢献など**

- ・平成 17 年度全国のかつ総合的な学力調査の実施に係る研究指定校事業(中学校技術・家庭科) - 技術分野 -
- ・中学校学習指導要領解説技術・家庭編作成協力者
- ・評価規準, 評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者
- ・中学校学習指導要領実施状況調査結果分析委員

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 白坂 高司
------------------	----------

**教員履歴など**

現職	准教授
生年月	1981年4月
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科[2007年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科[2011年03月修了]
学位	修士(教育学)[広島大学] 博士(学術)[広島大学]
受賞歴	茨城大学 学長表彰(推奨授業)(2014年09月)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本教科教育学会 日本科学教育学会 日本教育工学会 電気学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報リテラシー] (専門科目) 技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術, 木材加工演習, 基礎木材加工, 技術科指導論, 木材加工の応用技術, 木材加工学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 技術と生活総合研究, 木材加工学特論, 木材加工学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

## ○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]雲宮有一朗・白坂高司「日米技術教育の比較による授業モデル考案に向けたISM構造チャートの作成—学習指導要領と技術リテラシーのためのスタンダード(全米標準)をもとに—」, 茨城大学教育実践研究, 第34巻, 41-50(2015年09月)
2. 研究論文(国際会議プロシーディングス)Usuzaka, T., Tsutsumi, K. & Yamamoto, T. "Development of an Individual Learning Support System Based on Control Technology", Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference 2016 (pp. 1523-1528). [Mar 21, 2016]

**研究業績(2)学会発表など**

## ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Usuzaka, T., Tsutsumi, K. & Yamamoto, T. "Development of an



Individual Learning Support System Based on Control Technology” Society for Information Technology & Teacher Education International Conference () [2016 年 03 月 23 日]

2. [口頭発表(一般)・(共同)] 「タッチタイピングにおける技能習熟モデルの研究」日本産業技術教育学会第 58 回全国大会(愛媛大学) () [2015 年 08 月 22 日]

### 社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 電気学会, 制御工学・制御技術教育に関する調査専門委員会(2015 年 10 月～)
2. 電気学会, 制御工学・制御技術教育の方法および評価に関する協同研究委員会(2013 年 10 月～2015 年 09 月)
3. 日本産業技術教育学会, 評議員(2012 年～2015 年)

○ 地域協力活動

### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ワシントン Hyatto regency savannah[情報収集](2016 年 3 月:4 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「ものづくり学習における神経教育学的アプローチを取り入れたカリキュラム開発」, 234 万円 (2015 年 04 月～2018 年 03 月)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 堤 一郎
------------------	---------

**教員履歴など**

現 職	特任教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本交通協会 日本機械学会 日本技術史教育学会 産業考古学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)技術教育、機械工学、教材・教具開発、技術史教育、産業技術史、産業遺産
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論] (専門科目)機械工学演習, 技術科指導法(機械実習)/機械の基礎技術, 製図 I, ものづくり体験, 基礎機械工学, 機械の応用技術, 機械工学 (大学院科目)機械工学特論, 技術と生活総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(一般書)・共著]堤 一郎「JR西日本の登録鉄道文化財」, 西日本旅客鉄道(株)広報部, 6(2015年10月14日)</p> <p>2. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]堤 一郎「まえがき「鉄道 190 周年」—社会・文化・経済と鉄道—」, 日本機械学会誌, 118, 1162, 551-551(2015年09月05日)</p>
--

**研究業績(2)学会発表など**

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 堤 一郎・池森 寛・緒方正則・石田正治・吉田敬介「茨城県に残っていた旧北九州鉄道ディーゼル動車の小史」日本機械学会九州支部第 69 期総会・講演会(熊本大学)[2016年03月15日]</p> <p>2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 堤 一郎・池森 寛・緒方正則・石田正治・吉田敬介「幌内鉄道とストックトン・アンド・ダーリントン鉄道」日本機械学会 2015 年度年次大会(北海道大学)[2015年09月14日]</p>
--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 行政機関等での委員就任

1. 「文化庁文化審議会専門委員会」文部科学省文化庁文化財部[委員]

## ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 武蔵野美術大学・(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

## ○ 学協会での役職

1. 日本機械学会, 学会創立 120 周年記念事業委員会機械遺産小委員会委員長(2015 年 10 月～2017 年 11 月)

2. 文化庁文化審議会, 文化財分科会専門委員(2015 年 03 月～2016 年 03 月)

## ○ 学外教育

1. [公開講座]「日本の近代化と山陽鉄道(三原市教育委員会)」, , ,

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 「平成 26 年度生涯学習センター南大沢分館市民自由講座(国内)」, 東京都八王子市教育委員会(東京都八王子市)[招待講演](2015 年 03 月)

## ○ 地域協力活動

1. 中央大学[その他公的社会活動]「中央大学兼任講師(工業技術史)」(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

2. サレジオ工業高等専門学校[その他公的社会活動]「サレジオ工業高等専門学校非常勤講師(技術史)」(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

3. 武蔵野美術大学[その他公的社会活動]「武蔵野美術大学非常勤講師(現代科学論)」(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

4. 国立文化財機構東京文化財研究所[学外審議会・委員会等]「東京文化財研究所客員研究員(保存科学センター)」(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

5. 文部科学省文化庁[学外審議会・委員会等]「文化庁文化財審議会専門委員(文化財分科会)」(2015 年 03 月～2016 年 03 月)

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(家政教育)

氏名 木村 美智子

## 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 3 月
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学 家政学部 被服学科[1981 年 03 月卒業]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 家政学研究科 被服学[1983 年 03 月修了]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学[1989 年 03 月修了]</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983 年 4 月～1984 年 3 月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(1987 年 8 月～1988 年 3 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988 年 4 月～1989 年 3 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・講師(1989 年 4 月～1993 年 3 月)</p> <p>太田看護専門学校・非常勤講師(1990 年 4 月～)</p> <p>桜の聖母短期大学・助教授(1993 年 04 月～1999 年 03 月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995 年 10 月～1999 年 3 月)</p> <p>東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999 年 4 月～2004 年 3 月)</p> <p>東北文化学園大学・助教授(2004 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2009 年 4 月～2012 年 3 月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010 年 10 月～)</p> <p>茨城大学教育学部附属中学校校長併任(2014 年 4 月～)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	<p>お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金授与(1989 年 11 月)</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金授与(1995 年 11 月)</p> <p>日本環境共生学会論文賞授与(2006 年 9 月)</p>
所属学会	日本繊維製品消費科学会 日本家庭科教育学会 日本環境共生学会 日本環境教育学会 日本油化学会 繊維学会 日本家政学会
専門分野	環境影響評価・環境政策 科学教育 生活科学一般
教育研究概要	<p>環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を進めています。</p> <p>(キーワード)洗浄科学, 生活環境学, 環境教育</p>

担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)初等家庭科内容研究, アパレル科学, 被服構成学基礎, 衣生活論, 初等家庭科内容研究, 被服科学, 被服学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)被服学特論, 生活科学総合研究
------	--

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [その他・共著]生野晴美, 榎本ヒカル, 木村美智子, 高木直, 田中宏子, 千葉桂子, 正岡さち, ほか9名「家庭分野 技術・家庭 学習指導書 内容編C 衣生活・住生活と自立」, 開隆堂, (2016年02月)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】]木村美智子「被服整理学分野の研究成果と家庭科教育」, 日本家政学会誌, **67**, 2, 120-125(2016年02月01日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]木村美智子「大学生の洗濯行動の実態と課題」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 51-57(2015年11月10日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [・] 木村美智子「大学生の洗濯行動を通して考える家庭洗濯の課題」第47回洗淨に関するシンポジウム(大阪科学技術センター)[2015年10月20日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 木村美智子「大学生の洗濯行動の実態と課題」日本繊維製品消費科学会 2015 年年次大会(信州大学繊維学部)[2015年06月28日]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「宮城県環境影響評価技術審査会」[審査会委員]
2. 「栃木県環境影響評価技術審査会」栃木県[審査会委員]
3. 「宮城県環境審議会水質専門委員会」宮城県[水質専門員]
4. 「日本学術振興会染色堅ろう度 134 委員会」日本学術振興会
5. 「埼玉県クリーニング師試験委員会」埼玉県[試験委員]
6. 「平成 27 年度茨城県立高等学校等入学者選抜方法協議会」[委員]

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] お茶の水女子大学・(2010年10月～)
2. [非常勤講師] 太田西ノ内病院附属看護学校・(1990年04月～)

#### ○ 学協会での役職

1. 日本環境共生学会, 理事(2007年05月～),
2. 日本油化学会, 洗剤・洗淨部会幹事(2007年04月～)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(A)一般(分担)「新型洗剤を軸にした持続可能な生活のための洗浄システムの開発と洗浄力評価」, 180 万円 (2014 年 07 月～2017 年 03 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 数井 みゆき
------------------	-----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年4月
学歴・職歴	ノースミシガン大学 文理学部 心理(アメリカ)[1985年卒業] ユタ大学院 心理学科 Developmental Psychology(アメリカ)[1988年修了] メリーランド大学院 Dept. of Psychology, Graduate Program 応用発達心理学(アメリカ)[1991年修了] 日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994年4月～1996年3月) 茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996年4月～2005年) 茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006年4月～)
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メリーランド大学(アメリカ合衆国)] 心理学修士 (M.S. in Psychology)[ユタ大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998年)
所属学会	日本発達心理学会, 児童発達研究学会(society of Research in child Development), 日本教育心理学会, アメリカ心理学会(American Psychological Association), 日本心理臨床学会, 日本保育学会, 日本心理学会
専門分野	教育心理学
教育研究概要	本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。 専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。 (キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、男性の養育、アタッチメントと喪失
担当科目	(専門科目)親子関係学, 保育学, 中等家庭科内容研究, 学校における子ども虐待の予防と防止(又職)/学校における子ども虐待の予防と防止(人環), 保育学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)児童学特論, 児童学演習, 家庭科授業設計, 特別課題研究

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Megumi Kitagawa, Sayaka Iwamoto, Miyuki Kazui, Shimpei Kudo, Hiromi Matsuura, & Tomo Umemura. "What element of the Circle of Security program is

effective for caregivers with different attachment state of mind?" 7th International Attachment Conference (New York, NY) [2015 年 08 月 07 日]

### **海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**

アメリカ ニューヨーク New School University New York City [学会発表] (2015 年 8 月 : 7 日間)

### **科学研究費補助金などの受領**

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]「父方祖父－父親－子の3世代におけるアタッチメント」, 870 万円 (2012 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)



学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 野中 美津枝
------------------	-----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1961年3月
学歴・職歴	千葉大学大学院 教育学研究科 家政教育専攻[2001年03月修了] 山口県立德佐高等学校・家庭科教諭(1984年4月～1987年3月) 山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987年4月～1987年8月) 三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992年4月～1993年3月) 千葉商科大学付属高等学校・家庭科教諭(1994年4月～2008年3月) 九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008年4月～2009年3月) 愛媛大学教育学部・講師(2009年4月～2010年11月) 愛媛大学教育学部・准教授(2010年12月～2013年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2013年～)
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会 日本消費者教育学会 日本家政学会 日本家庭科教育学会
専門分野	教科教育学 生活科学一般
教育研究概要	(キーワード)家庭科、消費者教育、食教育、参加型アクション志向学習
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)生活科内容研究, 家庭科教育実践研究, 家庭科教諭論, 中等家庭科内容研究, 家庭科教育学演 II, 初等家庭科教育法研究, 中等家庭科教育法研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)家庭科授業設計

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単行本(学術書)・分担執筆]監修:日本消費者教育学会関東支部「新しい消費者教育—これからの消費生活を考える—」, 慶應義塾大学出版会, 66-69(2016年02月29日)
- [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]野中美津枝, 田中菜帆, 中山香里「小学校家庭科「ミシン縫い」におけるデジタル教材の効果」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 59-68(2015年11月30日)

日)

3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]「高校家庭科男女必修後 20 年の履修環境の検証 一関東地区 4 都県の教育課程調査を通して」, 日本家庭科教育学会誌, **58**, 2, 79-89(2015 年 08 月 01 日)

4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]「高校生の体型認識と生活習慣」, 日本家政学会誌, **66**, 7, 342-350(2015 年 07 月 15 日)

## 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 野中 美津枝「小学生の消費生活課題解決能力を育成する授業デザイン」日本消費者教育学会第 35 回全国大会(佐賀)[2015 年 10 月 04 日]

2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「高校家庭科における授業デザインと授業評価に関する実態調査」第 58 回日本家庭科教育学会(徳島)[2015 年 06 月 28 日]

## 社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本家庭科教育学会, 理事(2015 年 06 月～)

2. 大学家庭科教育研究会, 編集委員(2014 年～)

3. 日本家庭科教育学会関東地区会, 庶務(2014 年 08 月～2016 年 07 月)

4. 日本家庭科教育学会, 日本家庭科教育学会誌編集委員(2014 年 07 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城大学教育学部第4回附属学校フォーラム「21世紀型スキルを身につけるICT教育の現在形と未来形」(国内)」, (茨城大学教育学部)[その他](2015 年 02 月)

## 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「生活課題解決能力を育成する授業デザインと授業評価」, 160 万円 (2014 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 石島 恵美子
------------------	-----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 12 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院連合学校 学校教育研究科 家政教育[年その他]在学
学位	修士
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会 日本調理科学会 日本教授学習心理学会 JAPTIL 日本消費者教育学会
専門分野	家政・生活学一般 食生活学 教科教育学
教育研究概要	<p>高校生の社会参画意識を高める活動を主軸に研究しています。家庭科の授業内での教材や指導法の研究のほか、課外活動の中での可能性を提案しています。現在、茨城町の郷土料理の伝承活動を学生と行っています。</p> <p>(キーワード)家庭科 調理学 社会参画 授業研究 家庭クラブ 部活動 ホームプロジェクト 郷土料理</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[生活科学の視点]</p> <p>(専門科目)初等家庭科内容研究, 初等家庭科教育法研究, 調理学基礎[1 単位], 初等家庭科内容研究, 中等家庭科内容研究, 初等家庭科教育法研究, 調理学応用, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)国内実践教育演習, 生活科学総合研究, 家庭科教育特論 I, 家庭科教育演習 I</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]「家庭科教育におけるホームプロジェクト学習の課題－教育学部家庭科選修における調査結果より－」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 117-134 (2015 年)</p> <p>2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]野中美津枝 亀井祐子 新山みつ枝 荒川きよみ 荒井智子 石島恵美子 真田智恵子 高橋礼子 吉野淳子「高校家庭科男女必修後 20 年の履修環境の検証－関東地区4都県の教育家庭調査を通して－」, 日本家庭科教育学会誌, 58, 2(2015 年 08 月 01 日)(学術論文)</p> <p>3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]小学校家庭科における環境と食文化の教材研究－ 箸に関する授業の成果と課題－(2016 年)茨城大学教育学部紀要</p> <p>4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著](学術論文)「小学校家庭科の手縫い学習における生</p>
--

- 活実践状況と課題」(2016 年 12 月 茨城大学教育学部紀要 飯田容子・石島恵美子 p.169-p.178
- 5.(著書)「シティズンシップ教育が学校の未来を創る」,共著(2014 年)東洋館出版社、pp.94-99  
唐木清志,石島恵美子,他 26 名
- 6.(著書)『子育て・保育の悩みに教育研究者が答えるQ&A楽しく遊んで、子どもを伸ばす』茨城大学教育学部・茨城大学教育学部附属幼稚園編 2016 年 8 月(福村出版)
- 7.(学術論文)「高校家庭科における消費者市民教育の授業研究-社会参画を視点として-」日本消費者教育学会,36,193-202.
- 8.〔(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著〕「茨城県・涸沼のワイズユースおよび地域資源の有効活用に向けて ラムサール条約登録前後における茨城町住民意識調査」,田村誠・安島清武・阿部信一郎・石島恵美子,「茨城大学人文学部社会科学論集」第 62 号

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(共同)] “Fostering Ethical and Responsible Consumer Behavior Among Japanese High School and College Students Using Cooperative Learning” International Association for the Study of Cooperation in Education, (Odense, Denmark) [2015 年 10 月 07 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 石島恵美子 渡辺敦子 荒田玲子 若井田萌「昭和 30～40 年代茨城県水戸地域の食生活研究」日本調理科学会研究大会(静岡県立大学)[2015 年 08 月 24 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「茨城町郷土料理「つと豆腐」の伝承状況とその関連要因」石島恵美子・安島清武・田村誠・阿部信一郎,日本調理科学会研究大会(名古屋学芸大学)[2015 年 08 月 24 日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「多数回の模擬授業の効果について」,日本教授学習心理学会研究大会(山梨大学)[2015 年 5 月]

## 研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(単独)]企画提案チャレンジ支援事業(2015 年 07 月)

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「学習指導要領実施状況調査分析委員」文部科学省
2. 「学習指導要領等の改善に係わる検討に必要な専門的作業等のための指導・助言 WG」文部科学省
3. 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校学力向上委員

### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 千葉県高等学校家庭クラブ連盟・講師(2015 年 06 月)
2. [兼業] 文部科学省・学習指導要領実施状況調査(高等学校 家庭)問題作成委員会委員(2015

年 05 月～)

3. [兼業] 茨城町・茨城町まち・ひと・しごと創生有識者(2015 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 茨城町, まち・ひと・しごと創生有識者会議(2015 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県高等学校家庭クラブ連盟幹部養成研修会(国内)」, 茨城県高等学校家庭クラブ連盟(茨城県日立市 多賀市民会館)[招待講演](2015 年 08 月)

2. 「千葉県高等学校家庭クラブ総会(国内)」, 千葉県高等学校家庭クラブ(千葉市)[その他](2015 年 06 月)

3. 茨城大学図書館サステナブル講座「茨城の郷土料理から考えるサステナビリティ学」講師(2016 年 1 月)

4. 茨城大学公開講座「大人の食育」講師(2017 年 5 月)

5. 茨城県高等学校家庭部会「ホームプロジェクトの可能性」講師(2016 年 08 月)

6. 茨城県立茨城東高等学校「社会参画ってなに? ～つと豆腐復興プロジェクトをとおして～」(2016 年 11 月 1 日)

7. 茨城大学附属幼稚園子育て講座「5歳までの調理で五感を鍛えよう!」講師(2017 年 1 月 30 日)

8. 鎌ヶ谷市子どもチャレンジ企画「エシカル消費を考える」「やさしいチョコレートケーキを親子で作ろう!」講師(2017 年 2 月 5 日)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「まち・ひと・しごと創生有識者会議」(2015 年 07 月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク小中学校教育視察(IASCE)(2015 年 9 月～10 月)

### 科学研究費補助金などの受領

16K04658-002 「高校家庭科における社会参画教育に関する教師教育プログラムの構築」代表

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 佐藤 裕紀子
------------------	-----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 2 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政学部家庭経営学科[1991 年 3 月卒業] お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達学専攻[2004 年 3 月単位取得満期退学] お茶の水女子大学生活科学部生活社会科学講座 助手[1995 年 4 月～1997 年 3 月] 東京家政大学文学部非常勤講師[1998 年 4 月～2004 年 3 月] 東京福祉大学専任講師[2005 年 4 月～2009 年 3 月]
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家族社会学会 日本家政学会 日本家政学会家族関係学部会 日本家政学会生活経営学部会 日本家政学会家政学原論部会 日本家庭科教育学会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	・家族・家庭生活に関する教育政策についての史的 研究 ・生活時間のジェンダー・バランスに関する研究 ・女性の職業的キャリアと家族キャリアに関する研究  (キーワード) 家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(教養科目) 生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目) 初等家庭科内容研究, 現代家族論, 初等家庭科内容研究, 家庭経営学, 家庭経営学演習, 家事労働論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 生活科学総合研究, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]佐藤裕紀子「少子化社会対策大綱をめぐる家庭科の基本スタンスと「少子化問題」の扱い—高等学校家庭科の教科書分析を通して—」, 日本家庭科教育学会誌, 58, 4, 199-209(2016 年 02 月 01 日)
2. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]高崎昌己・佐藤裕紀子「知識・技能と課題の明確化を図る家庭科のガイダンスの提案—小・中学校のつながりに着目して—」, 茨城大学教育実践研究, 34, 249-258(2015 年 11 月)

3. [(MISC)その他記事共著]八幡(谷口)彩子、西野祥子、表真実、佐藤裕紀子「第3グループ 科目『家政学原論』の授業実践研究」, 家政学原論研究, 49, pp.53-59(2015年08月19日)

### 社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
  1. 「水戸市子ども・子育て会議」委員
- 兼業・兼職
  1. [兼業] 茨城大学教員免許更新講習・教員免許更新講習講師(2015年8月)
  2. [非常勤講師] 東京家政大学看護学部非常勤講師(2015年4月～)
  3. [非常勤講師] 大成女子高等学校専攻科看護科非常勤講師(2015年04月～)
- 学協会での役職
  1. 日本家庭科教育学会, 編集委員(2015年07月～)
- 地域協力活動
  1. 水戸市[学外審議会・委員会等]「水戸市子ども・子育て会議」委員(2014年4月～)

### 科学研究費補助金などの受領

「教育資源の活用を志向した女性教員の就業継続とキャリア形成の支援方策に関する研究」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2015年4月1日～2018年3月31日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 西川 陽子
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 4 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政学部 食物学科[1993 年卒業] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学専攻 (食物科学)[1998 年修了] お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998 年 4 月～2001 年 3 月) ケースウェスタンリザーブ大学, 病理(Dr.Monnier)研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クーブラント)博士研究員(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育 助教授(2002 年 4 月～)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	Award for Excellence to Authors Publishing in Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry in 2000 (2001 年)
所属学会	社)日本農芸化学会, 日本ビタミン学会, (社)日本家政学会, 日本調理科学会, 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 食生活学
教育研究概要	・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)食生活と健康【全教科】/食生活と健康(健康コース), 食物科学, 初等家庭科内容研究, 食生活論, 初等家庭科内容研究, 食物学演習, 栄養学《食物学》/栄養学《栄養学》/栄養学《生理学(運生含)》/栄養学《生理学(運生含)》/栄養学, 食品衛生管理学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)食物学特論, 家庭科授業設計

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]西川陽子・向井彩乃・山下加奈「小麦粉代替用米粉の利用拡大に向けた調理特性の解明」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 65, 71-79(2016 年 03 月 28 日)



2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]西川 陽子・野部 瞳・篠田 尚美「小学校家庭科(食分野)におけるサステナビリティ教育導入の試み」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 187-196(2016年03月28日)

### 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・講師(2010年04月～)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「食文化教育を切り口とした家庭科教育へのサステナビリティ教育導入の試み」, 416万円(2014年04月01日～2017年03月31日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 猪井 新一
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1955年9月
学歴・職歴	<p>福島大学大学院 教育学研究科 教科教育(英語)専攻修士課程[1991年03月修了]</p> <p>東北大学大学院 情報科学研究科 人間社会情報科学[2008年09月修了]</p> <p>千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979年4月～1993年3月)</p> <p>奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993年4月～2001年9月)</p> <p>北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001年10月～2004年3月)</p> <p>北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004年4月～2005年3月)</p> <p>会津大学短期大学部・教授(2005年4月～2007年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2007年4月～)</p>
学位	博士(学術)[東北大学大学院] 教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会, 全国英語教育学会, 全国語学教育学会(JALT), 大学英語教育学会(JACET), 小学校英語教育学会, 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略 小学校外国語活動 小学校英語教育
担当科目	<p>(教養科目) 総合英語(プレレベル3)</p> <p>(専門科目) 英語科教育法研究I, 小学校英語I, 英語コミュニケーションIII, 英語科内容研究, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目) 英語科授業設計, 英語教育学特論I, 英語教育学演習I, 特別課題研究</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

- [研究論文(その他学術会議資料等)]猪井 新一「外国語活動に関する児童の好き嫌いの度合いと学級担任の満足度」, 平成24年度～平成27年度科学研究費助成事業研究報告書, 1-45(2016年01月15日)
- [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]猪井, 新一「小学校英語に対する学習者の態

度は中学校で変化するのか」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 135-149(2015年)  
 3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]猪井 新一「児童が好む英語の授業とそうでない授業の質的分析」, 茨城大学教育実践研究, 34, 69-80(2015年11月)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 猪井 新一「小学校児童が好きな英語授業と嫌いな英語授業に質的分析」言語教育エキスポ 2016(早稲田大学 早稲田キャンパス)[2016年03月06日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 猪井 新一「小学校英語の早期化はどのような影響を及ぼすのか」第15回小学校英語教育学会広島大会(広島大学 東広島キャンパス)[2015年07月25日]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 学協会での役職

1. 全国英語教育学会, ARELE査読委員(2012年04月～)

### ○ 学外教育

1. [自治体での社会教育]「平成27年度小美玉市中学生英語プレゼンテーションフォーラム審査員長」, , , 小美玉市教育委員会
2. [出前授業]「英語音声学(出前授業: 太田第一高等学校)」, 2時間, 60名出席, 茨城県立太田第一高等学校(連携協定あり)
3. [公開講座]「平成27年度茨城大学教員免許状更新講習会Ⅱ期」, 6時間, 30名出席, 茨城大学

## 海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール・シンガポール国立大学[CLasic2014参加](2014年12月:3日間)

## 科学研究費補助金などの受領

「外国語活動に関する児童の好き嫌いの度合いと学級担任の満足度」[科研費]基盤研究(C)一般(代表)(2012年04月01日～2015年03月31日)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 君塚 淳一
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	中国短期大学英語英文科専任講師(1993年4月～1997年3月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997年4月～1999年9月) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2006年3月) 茨城大学教育学部教授(2006年4月～)
学位	文学修士
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(茨城大学)(2004年04月21日), 第1回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998年)
所属学会	英文学会, 黒人研究会, 英米文化学会, 日本マラマッド協会, アメリカ学会, アメリカ文学会, ポップカルチャー学会, 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。</p> <p>ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜した マーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p>
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)総合英語(学術), 主題別ゼミナール[学習・調査・レポート作成の基礎力養成], 人間・文化系科目[ビートルズと1960年代アメリカ:政治・文化・音楽]

	<p>(専門科目)英米文学演習 IV, 英米文学演習 III, 言語と文化の諸相, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 IV/アメリカ社会論, 英米文学概論 II/アメリカ文学史, 英米文学特講 III, 映像作品と時代そして文化的背景, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)英米文学特論 I, 地域教育資源フィールドスタディ, 英米文学演習 I, 言語と文化総合研究, 授業展開ケーススタディ, 特別課題研究</p>
--	--

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共編者]『ジョン・ブラウンの屍を超えて—南北戦争とその時代』, 金星堂, pp228-252(2016年03月25日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】]君塚淳一「MESA シンポジウム特集: 自伝・日記・体験記—記録された体験を現在に接続する—Booker T. Washington 再評価に見る「教育」「産業」「人種」—闘うより相手の懐に入り込み、油断させいずれば天下をとれ—」, 『多民族研究』, 9, 7-16(2016年03月31日)

### 研究業績(2)学会発表など

多民族研究学会大会シンポジウム「伝記」: 君塚淳一「ブッカー・T・ワシントンの再評価」(2015年7月)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [その他]『ホロコーストとトラウマ』シンポジウム(2001年)
- [その他]シンポジウム・口頭発表 「DBPicture Fidelman(/)-」 DB におけるパロディと入れ替えの仕組み(1999年)
- [その他]風と共に去りぬ(英文テキスト)(1996年)
- [その他]地球ってこんなにおもしろい(1994年)
- [その他]現代アメリカ文学のアンチ・ドリーマたち(1994年)
- [その他]アンチヒーロー・民族性・笑い (シンポジウム)(1993年)
- [その他]B.Malamud における生(性)・老い・死-S.Levin から W.Dubin へ(1993年)
- [その他]アンジア・イージアスカ:『パンをくれる人』論 (口頭発表)(1993年)
- [その他]ホロコーストの子供たち(大学英語教材)北星堂出版(1993年)
- [その他]ユダヤ系アメリカ文学傑作選 (大学テキスト)(1992年)
- [その他]アイデンティティ喪失への危機感—Paul Auster 論(1991年)
- [その他]日本文学の中の黒人 (口頭発表)(1991年)
- [その他]ユダヤ系アメリカ作家選集(大学テキスト)(1990年)
- [その他]Bernard Malamud 論—後期作品に見られるペシミズム (口頭発表)(1989年)

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 青山学院女子短期大学・非常勤講師(1995 年 04 月～)

### ○ 学協会での役職

1. 英米文化学会, 副会長(2015 年 04 月～)
2. 多民族研究学会, 副会長(2012 年 04 月～)
3. 英米文化学会, 理事(編集委員長)(2011 年 10 月～)

### ○ 地域協力活動

1. 茨城県立取手第一高校(連携協定あり)(2009 年 06 月～)
2. 茨城県立水戸桜の牧高校(連携協定あり)(2007 年 11 月～)

## 海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ニューヨーク The Schomburg Center, New York City Library, Columbia Univ Library[資料収集](2015 年 8 月～9 月:4 日間)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 小林 英美
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1967年10月
学歴・職歴	<p>早稲田大学 教育学部 英語英文学科[1990年卒業]</p> <p>早稲田大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻[2001年修了]</p> <p>法政大学附属第一高等学校・非常勤講師(1990年4月～1991年3月)</p> <p>国土舘大学・非常勤講師(1993年4月～1995年3月)</p> <p>早稲田大学教育学部助手(1994年4月～1996年3月)</p> <p>茨城県立医療大学・非常勤講師(1995年4月～2003年3月)</p> <p>東邦大学・非常勤講師(1996年4月～1997年3月)</p> <p>日本学術振興会特別研究員(1997年4月～1999年3月)</p> <p>学習院大学・非常勤講師(1999年4月～2003年3月)</p> <p>東京国際大学・非常勤講師(2000年4月～2003年3月)</p> <p>早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000年4月～)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2003年4月～2015年3月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(面接授業)(2014年4月～2015年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2015年4月～)</p> <p>早稲田大学エクステンションセンター・中野校・非常勤講師(2015年4月～)</p>
学位	文学士[早稲田大学] 教育学修士[早稲田大学] 学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	イギリス・ロマン派学会 欧米言語文化学会 日本ジョンソン協会 早稲田大学英語英文学会 日本英文学会 イギリス児童文学会 日本イギリス児童文学会 日本カレドニア学会
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	<p>18－19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。研究においては、18－19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行なっている。教育においては、英詩の魅力を、①音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。②伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによ</p>

	<p>って、学生の理解が深まるようにしている。</p> <p>(キーワード) イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18-19 世紀英国作曲家による音楽受容、18-19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本店 定期刊行物</p>
担当科目	<p>(教養科目) 総合英語(プレレベル3), 人間と文学・芸術[英国文化入門 — 再発見と再利用の文化史]</p> <p>(専門科目) 英米文学概論 I, 英米文学演習 I, 言語と文化の諸相, 英米文学演習 II, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 I, 異文化理解(集中), 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 研究と教育— 知の往還をめぐって—, 地域教育資源フィールドスタディ, 英米文学特論 II, 言語と文化総合研究, 英米文学演習 II</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著] 小林英美「ワーズワスとその時代」, 勉誠出版, (2015 年 07 月 01 日)

### 研究業績(2)学会発表など

小林英美, 「定期刊行物での予約購読形式詩集の書評 — 読者拡大の意図 —」(欧米言語文化学会第 129 回例会・2014 年 12 月)

イギリス・ロマン派講座・名詩の解釈と鑑賞(講師・講義名: Wordsworth: "There was a Boy"—自らの自然観の原点を求めて)(2014 年 07 月)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 早稲田大学エクステンションセンター・非常勤講師, 6(時間/月)(2015 年 04 月～)
2. [非常勤講師] 放送大学・非常勤講師(面接授業)(2014 年 07 月～2015 年 07 月)
3. [非常勤講師] 早稲田大学教育学部・(2007 年 04 月～)

#### ○ 学協会での役職

1. イギリス・ロマン派学会, 理事(2014 年 04 月～)
2. 欧米言語文化学会, 監査役(2001 年 04 月～)

#### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「イギリス・ロマン派学会第 41 回全国大会(国内)」, イギリス・ロマン派学会(奈良教育大学)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ](2015 年 10 月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス チャルトナム グロースターシャー大学[語学研修引率](2016 年 2 月～3 月:18 日間)



### 科学研究費補助金などの受領

科学研究費・基盤研究(C)
---------------

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 齋藤 英敏
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程英文科[1989 年 03 月卒業] Colorado State University, Department of English, Teaching English as a Foreign/Second Language (Fort Collins, CO, USA) [1994 年 05 月卒業] The Ohio State University, Department of Educational Studies, Foreign and Second Language Education (Columbus, OH, USA) [2000 年卒業] 立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語) (1999 年 4 月～2000 年 3 月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000 年 4 月～2003 年 3 月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003 年 4 月～2004 年 3 月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004 年 4 月～2006 年 3 月) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006 年 4 月～)
学位	PhD[The Ohio State University]
受賞歴	なし
所属学会	National Council on Measurement in Education, 日本言語テスト学会, 大学英語教育学会, 日英・英語教育学会, 全国語学教育学会
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	外国語教育での評価、テスト、外国語学習 (キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	(教養科目)総合英語(レベル3) (専門科目)英語科教育法研究 II, 英語科教科論 II, 英語コミュニケーション IX, 英語コミュニケーション XII, 英語科教育法特講, 英語コミュニケーション VII, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)英語科授業設計, 英語教育学特論 II, 英語教育学演習 II

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等
1. [教科書・共編者]“New Horizon English Course 3 (中学校英語科検定教科書)”, (2016年02月)
2. [教科書・共編者]“New Horizon English Course 2 (中学校英語科検定教科書)”, (2016年02月)

3. [教科書・共編者]”New Horizon English Course 1 (中学校英語科検定教科書)”, (2016年02月)

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(共同)] Sano, F., Saito, H., & Yoshida, H. ”Research-based curricula of teacher education in the globalized world” 51st RELC International Conference (Singapore)() [2016年03月16日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] Saito, H. ”Initial evidence on the validity of the assessment of the junior high school three-person discussion” () [2015年09月05日]

### 社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「英語インタラクティブフォーラム評価基準改善検討委員会助言者」
2. 「第9回茨城県高等学校英語スピーチコンテスト審査員長(10/23)」
3. 「平成27年度茨城県インタラクティブフォーラム審査委員長」茨城県教育委員会

### 海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール SEAMO EO Regional Language Center[情報収集](2016年3月:5日間)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [ ] 「科学研究費補助金(基盤C・平成26年-30年・課題番号26381175) 「英語ディスカッション力育成のための指導と評価改善のための組織的試み」(代表)」, 未詳(2014年04月~2018年03月)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 東條 吉邦
-------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年5月
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部[1975年卒業] 東京教育大学大学院 教育学研究科 実験心理学専攻[1978年修了] 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979年10月～1992年9月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992年10月～1999年3月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999年4月～2004年3月) 茨城大学教育学部教授(2004年4月～) 放送大学客員教授(2006年4月～2011年3月)
学位	教育学修士[東京教育大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 日本自閉症スペクトラム学会 日本特殊教育学会 日本臨床発達心理士会 日本生理心理学会 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「障害児心理学研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論Ⅱ」、「障害児心理学演習Ⅱ」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生の論文指導にあたっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1)自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2)社会性の発達と環境要因、3)アセスメント技法の開発、4)コミュニケーション支援、5)心の理論(他者の考えを推測する能力)に関する研究、6)大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。</p> <p>(キーワード)自閉症、自閉スペクトラム症、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論</p>
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎]

	<p>(専門科目)発達障害児教育概論(専攻科)/発達障害児教育概論, 障害児心理演習 II(専攻科), 障害児心理学演習 II, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)障害児心理学特論 II, 障害児心理学演習 II</p>
--	--

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Akechi, H., Stein, T., Kikuchi, Y., Tojo, Y., Osanai, H., & Hasegawa, T. "Preferential awareness of protofacial stimuli in autism.", *Cognition*, **143**, 129-134(2015年 07 月 03 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]渡邊喜久枝・東條吉邦「自閉スペクトラム症における社会的困難と不安感について」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**, 219-241(2016年 03 月 28 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]南島彩乃・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「定型発達児と ASD 児における欺きと心の理論—自分のための嘘と他人のための嘘—」, 東京学芸大学紀要(総合教育科学系 II), **67**, 2, 235-243(2016年 02 月 29 日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]藤野博・神井享子・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における心の理論と語彙理解およびプランニングの関係」, 東京学芸大学紀要(総合教育科学系 II), **67**, 2, 223-233(2016年 02 月 29 日)
5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Asada, K., Tojo, Y., Osanai, H., Saito, A., Hasegawa, T., & Kumagaya, S. "Reduced personal space in individuals with autism spectrum disorder.", *PLoS One*, **11**, e0146306(2016年 01 月 27 日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(基調)・国内会議(単独)] 東條吉邦「自閉症研究の現在」日本特別ニーズ教育学会第 21 回大会(京都教育大学、京都府)[2015年 10 月 17 日]
2. [ポスター発表・国際会議(共同)] Fujino, H., Matsui, T., Tojo, Y., & Osanai, H. "Theory of mind and receptive vocabulary in school-aged children with high-functioning autism spectrum disorder." 17th European Conference on Developmental Psychology(Braga, Portugal)[2015年 09 月 11 日]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 文部科学省・大学設置・学校法人審議会専門委員(2013年 04 月～2016年 10 月)
2. [兼業] 水戸市教育委員会・水戸市教育支援委員会委員(2015年 05 月～2017年 05 月)
3. [兼業] 独立行政法人日本学術振興会・科学研究費委員会専門委員(2013年 12 月～2015年 11 月)
4. [兼業] 独立行政法人大学入試センター・全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会委員

(2012 年 04 月～2017 年 03 月)

5. [兼業] 茨城県教育委員会・教育職員免許法認定講習(2007 年 08 月～2016 年 08 月)

○ 学協会での役職

1. 日本自閉症スペクトラム学会, 常任編集委員(2015 年 08 月～2017 年 08 月)

2. 日本自閉症スペクトラム学会, 評議員(2014 年 09 月～2017 年 08 月)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]挑戦的萌芽研究(代表)「自閉症者の社会的困難の認知神経学的基盤を实际場面で捉える:基礎研究から臨床応用へ」, 270 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 荒川 智
-------------------	---------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 8 月
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 障害児教育[1980 年卒業] 筑波大学大学院 教育学研究科 教育学[1988 年修了]
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996 年)
所属学会	日本特殊教育学会 日本教育学会 教育史学会 日本特別ニーズ教育教育学会 (SNE 学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)特別支援教育原論(専攻科)/特別支援教育原論, 障害児教育総論(専攻科)/障害児教育総論, 障害児教育演習 I(専攻科), 特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育学演習 I, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児教育学特論 I, 障害学総合研究, 障害児教育学演習 I, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「正義論としてのケイパビリティ・アプローチと障害者の教育」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 243-257(2016 年 03 月)
  2. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【依頼/招待】]「塚田実践に学ぶ:個人と集団の発達を引き出す実践」, 障害者問題研究, 43, 4, 301-302(2016 年 02 月)
  3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]荒川 智「インクルーシブな教師教育の論点と動向」, 障害者問題研究, 43, 1, 26-33(2015 年 05 月)

### 社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 青森県教育委員会・(2006 年 09 月～)

2. [非常勤講師] 茨城県教育委員会・(2006 年 08 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本特殊教育学会, 代議員、常任編集委員(2013 年 06 月～)

2. 日本特殊教育学会, 理事(2009 年 12 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「インクルーシブ教育を考えるシンポジウム(国内)」, (京都)[パネリスト](2015 年 11 月)



学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 勝二 博亮
-------------------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1970年9月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1994年] 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 発達支援[1999年] 日本学術振興会 特別研究員(1998年4月～1998年6月) 茨城大学助手教育学部(1998年7月～2000年3月) 茨城大学講師教育学部(2000年4月～2005年9月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004年2月～2005年2月) 茨城大学助教授教育学部(2005年10月～2007年3月) 茨城大学准教授教育学部(2007年4月～2015年3月) 茨城大学教授教育学部(2015年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学] 教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第14回奨励論文賞(日本臨床神経生理学会)(2012年11月09日)
所属学会	日本LD学会, International Society for Brain Electromagnetic Topography, 認知神経科学会, 日本脳電磁図トポグラフィー研究会, 日本生理心理学会, 日本臨床神経生理学会, 日本特殊教育学会
専門分野	実験系心理学 特別支援教育 認知神経科学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目)特別支援教育基礎演習(専攻科), 特別支援教育研究法, 病弱児の生理(専攻科)/病弱児の生理, 障害児生理演習II(専攻科), 知的障害児の生理(専攻科)/知的障害児の生理, 障害児生理機能評価法(専攻科)/障害児生理心理学, 障害児生理機能評価法, 障害児生理学演習II, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)障害児生理学特論I, 障害学総合研究, 障害児生理学演習I, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

## ○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]原徳子・勝二博亮「盲学校における体育系部活動に関する調査研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**, 259-266(2016年03月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]葉石光一, 池田吉史, 大庭重治, 八島猛, 勝二博亮, 岡崎慎治, 奥住秀之, 國分充「知的障害者の反応時間特性の分析および手作業の効率性向上に向けた支援実践上の観点」, 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要, **22**, 19-22(2016年03月20日)
3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]米田有希・勝二博亮・平山太市・尾崎久記「近赤外線分光法からみた表記法の違いが言語性ワーキングメモリに及ぼす影響」, 生理心理学と精神生理学, (2015年12月31日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]「運動が苦手なダウン症児への体育の授業づくり—投能力の向上を目指して—」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 259-267(2015年11月30日)
5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Hirayama, T., Shoji, H., & Ozaki, H. "Gender Differences in Cerebral Processing of Audio-Visual Information.", *Neuroscience and Biomedical Engineering*, **3**, 2, 76-84(2015年08月28日)
6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]郡司理沙・勝二博亮「幼児におけるひらがな書字習得に関わる認知的要因」, LD 研究, **24**, 2, 238-253(2015年05月25日)

**研究業績(2)学会発表など**

## ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 勝二博亮「幼児におけるひらがな拗音読み習得と清音読み速度との関連」日本LD学会第24回大会(福岡国際会議場)[2015年10月11日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 原 徳子・勝二博亮「盲学校における運動機会提供に関する実態調査」日本特殊教育学会第53回大会(東北大学川内北キャンパス)[2015年09月21日]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 花田麻衣・勝二博亮「自尊感情が低下している発達障害児への支援」日本特殊教育学会第53回大会(東北大学川内北キャンパス)[2015年09月20日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 根本和佳・尾崎久記・勝二博亮・吉田聖美「重度脳性麻痺事例におけるコミュニケーション拡大に関する実践的研究」日本特殊教育学会第53回大会(東北大学川内北キャンパス)[2015年09月20日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 宮下真理奈・竹内彩子・勝二博亮「ダウン症児における発話明瞭度の改善に向けた支援—音韻意識との関連に注目して—」日本特殊教育学会第53回大会(東北大学川内北キャンパス)[2015年09月20日]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 吉田聖美・尾崎久記・勝二博亮「重度・重複障害児へのスイッチを介した表出促進に関する事例的研究」日本特殊教育学会第53回大会(東北大学川内北キャンパス)[2015年09月20日]
7. [ポスター発表・国内会議(単独)] 勝二博亮「表面筋電図からみた笑顔分割画像に対する同調的

反応]第 33 回日本生理心理学会大会() [2015 年 05 月]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県立勝田特別支援学校 教科用図書選定協議会委員」
2. 「茨城県立勝田特別支援学校 学校評議員」
3. 「茨城県立盲学校 教科用図書選定協議会委員」
4. 「茨城県立盲学校 学校評議員」
5. 「文部科学省委託特別支援学校機能強化事業 講師」
6. 「10 年経験者研修講座(特別支援学校)講師」
7. 「幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた指導に関する専門家派遣事業」

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 聖学院大学・非常勤講師(2015 年 09 月～2016 年 03 月)
2. [兼業] つくば特別支援学校・研修会講師(2015 年 09 月～)
3. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県教育職員免許法認定講習講師(2015 年 07 月)
4. [兼業] 茨城県立勝田特別支援学校・学校評議員(2015 年 04 月～2016 年 03 月)
5. [兼業] 茨城県立盲学校・学校評議員(2015 年 04 月～2016 年 03 月)
6. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2015 年 04 月～2015 年 09 月)
7. [兼業] 発達障害等に関する専門家派遣事業・講師(専門家派遣事業)(2014 年～)
9. [非常勤講師] 聖学院大学・非常勤講師(2013 年 09 月～)
10. [兼業] 茨城県立盲学校・教科用図書選定委員(2012 年 04 月～)
11. [兼業] 茨城県教育委員会・講師(教育教員免許法認定講習)(2011 年 08 月～)
12. [兼業] 茨城大学・講師(教員免許更新制)(2010 年 08 月～)
13. [兼業] NPO 全国ことばを育む会・茨城県ことばを育む親の会・教育相談(2010 年 08 月～)

#### ○ 学協会での役職

1. 日本発達障害学会, 編集委員(2015 年 09 月～)
2. 日本特殊教育学会, 編集委員(2014 年 09 月～)
3. 日本臨床神経生理学会, 評議員(2009 年 10 月～)

#### ○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]「茨城県教育研究連盟」(2015 年 10 月～)
2. [地域貢献事業]「NPO 全国ことばを育む会・茨城ことばを育む会」(2014 年 08 月～)

### 科学研究費補助金などの受領

#### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(分担)「生体機能データに基づく重症心身障害児の能動的動作解発」, 360 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)
2. [科研費]基盤研究(B)一般(分担)「知的障害者の運動行為遂行における最適化条件の解析」,

1248 万円（2013 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日）

○ 共同研究・受託研究

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 新井 英靖
-------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院 教育学研究科 障害児教育専攻[1998 年修了] 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 4 月～2000 年 9 月) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校ソーシャルワーク学会, 日本発達障害学会, 日本教育方法学会, 日本特殊教育学会, 日本特別ニーズ教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)病弱児の教育方法(専攻科)/病弱児の教育方法, 特別支援教育研究法, 知的障害児の教育方法(専攻科)/知的障害児の教育方法, 障害児教育演習 II(専攻科), 学校における子ども虐待の予防と防止(又職)/学校における子ども虐待の予防と防止(人環), 肢体不自由児の教育方法(専攻科)/肢体不自由児の教育方法, 知的障害児指導法演習(専攻科)/知的障害児指導法演習, 障害児教育学演習 II, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児教育学特論 II, 障害児教育学演習 II

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・単著]新井英靖「アクション・リサーチでつくるインクルーシブ授業」, ミネルヴァ書房, (2016 年 03 月 10 日)
2. [著書・監修]茨城大学教育学部附属特別支援学校「感じる・考える・伝えあう」授業づくり, 明治図書, (2016 年 01 月)
3. [著書・単著]新井英靖「インクルーシブ教育実践の基本的な考え方と方法」. インクルーシブ授業研究会編『インクルーシブ授業をつくる』. , ミネルヴァ書房, 15-24(2015 年 04 月 20 日)
4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著【依頼/招待】]新井英靖「これからの教材研究一特

別支援教育の立場から」, 『学校教育』, 1183, 14-21(2016年03月01日)

5. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]錦織聡子・赤荻浩之・神戸久美子・芦田良衣・山崎敏子・渡邊慶・三中西純・奥本富美子・新嶋一隆・新井英靖「人との関わりの中で主体的に働く力を育てる作業学習ー吹き出しの指導案およびエピソード記述を用いた実践研究ー」, 茨城大学教育実践研究, 34, 81-95(2015年11月)

6. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]新井英靖「英国における「いじめ」問題に対する学校全体からのアプローチー特別なニーズのある子どもに対する「いじめ」の実態と対応をふまえてー」, 学校ソーシャルワーク研究, 10, 49-59(2015年11月30日)

7. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著]新井 英靖「特別支援教育と学校ソーシャルワーク」, 日本学校ソーシャルワーク学会 10周年記念誌, 27-30(2015年06月)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年12月～)
2. [兼業] 茨城県特別支援教育推進連盟・講師(2007年12月～)
3. [兼業] 水戸南高校・講師(2007年11月～)
4. [兼業] 茨城県立伊奈養護学校・講師(2007年11月～)
5. [兼業] 日立市教育研究会・講師(2007年11月～)
6. [兼業] 茨城県立友部東養護学校・講師(2007年10月～)
7. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年10月～)
8. [兼業] 茨城県立土浦養護学校・講師(2007年09月～)
9. [兼業] 東京都立羽村養護学校・講師(2007年08月～)
10. [兼業] 茨城県立水戸高等養護学校・講師(2007年08月～)
11. [兼業] 全日本特別支援教育研究連盟・講師(2007年08月～)
12. [兼業] 茨城県教育研究会・講師(2007年08月～)
13. [兼業] 茨城県立鹿島養護学校・講師(2007年08月～)
14. [兼業] 茨城県立つくば養護学校・講師(2007年07月～)
15. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年06月～)
16. [兼業] 茨城県教育委員会・講師(2007年06月～)
17. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007年05月～)
18. [兼業] 社会福祉法人城里町社会福祉協議会・講師(2007年05月～)
19. [兼業] 茨城県教育研修センター研究発表会・助言者(2007年03月～)
20. [兼業] 京都府立医科大学FD研修会・講師(2007年03月～)
21. [兼業] 茨城県特殊教育諸学校体育連盟体育研修会・講師(2007年02月～)
22. [兼業] 茨城県教育委員会「個に応じた指導共同研修会」・講師(2007年02月～)
23. [兼業] 茨城県立友部東養護学校校内研修会・講師(2007年01月～)

24. [兼業] 茨城県立鹿島養護学校研究発表会・助言者(2007年01月～)
  25. [兼業] 東京都世田谷区立烏山小学校公開研究会・講師(2006年12月～)
  26. [兼業] 茨城県特殊教育諸学校教育研究会生活単元部会・講師(2006年12月～)
  27. [兼業] 東京都立高島養護学校校内研修会・講師(2006年12月～)
  28. [兼業] 茨城県立土浦養護学校校内研修会・講師(2006年12月～)
  29. [兼業] 茨城県立潮来保健所子育て支援健康講座・講師(2006年12月～)
  30. [兼業] 東京都立多摩養護学校校内研修会・講師(2006年11月～)
  31. [兼業] 茨城県学校教育相談研究会・講師(2006年11月～)
  32. [兼業] 日立養護学校公開研究会・講師(2006年11月～)
  33. [兼業] 常陸大宮保健所虐待児童相談研修会・講師(2006年10月～)
  34. [兼業] 日立市立大久保中学校校内研修会・講師(2006年09月～)
  35. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2006年08月～)
  36. [兼業] 東海村教育委員会主催研修会・講師(2006年08月～)
  37. [兼業] 京都府館学校連絡協議会主催講習会・講師(2006年08月～)
  38. [兼業] 牛久市教育委員会:幼児教育支援センター事業講演会・講師(2006年07月～)
  39. [兼業] 日立市教育研究会・講師(2006年06月～)
  40. [兼業] 茨城県県南教育事務所管内指導主事研修会・講師(2006年02月～)
- 学協会での役職
1. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員(2013年04月～2018年03月)
  2. 日本特殊教育学会, 編集委員(2013年01月～2020年08月)
  3. 日本特殊教育学会, 理事長補佐(2013年01月～2016年05月)
  4. 日本特殊教育学会, 広報委員会幹事(2013年01月～2016年05月)
  5. 日本発達障害学会, 編集委員(2012年04月～2018年03月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ロンドン ロンドン大学附属図書館[資料収集](2016年3月～4月:4日間)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 細川 美由紀
-------------------	-----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1996 年 03 月卒業] 茨城大学 特殊教育特別専攻科[1997 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 心身障害学研究所 心身障害学専攻[2004 年 03 月修了] 富士常葉大学 保育学部 講師(2006 年 4 月～2008 年 3 月) 茨城キリスト教大学 文学部 講師(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城キリスト教大学 文学部 准教授(2011 年 4 月～2015 年 3 月)
学位	心身障害学[筑波大学]
受賞歴	日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会)第 1 回奨励論文賞(1999 年 11 月)
所属学会	日本 LD 学会, 日本特殊教育学会, 日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会), 日本生理心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 教育心理学
教育研究概要	(キーワード)発達障害/学習障害/読み書き障害/認知心理学/学習支援
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[特別支援教育入門], 人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目)特別支援教育研究法, 知的障害児の心理(専攻科)/知的障害児の心理, 障害児心理診断法/障害児心理診断法(専攻科), 障害児心理演習 I(専攻科), 障害児生理機能評価法, 障害児心理学演習 I, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児心理学特論 I, 障害学総合研究, 障害児心理学演習 I

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

細川美由紀・勝二博亮「幼児のひらがな読み習得と認知機能の関連性における縦断的検討」, おおみか教育研究, 18, 1-8, 2015.

細川美由紀『『実践的指導力を育む大学の教職課程』渡邊洋子・池内耕作・大内善一(編著)第 4 章「理論を教育実践に活かすには? 心理学的視点からのアプローチ」, 溪水社, 90-99, 2015.

細川美由紀『『教師を支える研修読本 就学前教育から教員養成まで』山本睦・前田晶子・古屋恵太



(編)第 2 章「発達障害児支援の現状と未来」, ナカニシヤ出版, 19-35, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Naoko Muroya, Tomohiro Inoue, Miyuki Hosokawa, Hiroyuki Kitamura, George K. Georgiou, Rauno Parrila, Hisao Maekawa "Relationship between morphological awareness and literacy in Japanese children" Twenty-Second Annual Meeting Society for the Scientific Study of Reading (Hawaii) [2015 年 07 月 16 日]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 地域協力活動

1. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「平成 27 年度幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた指導に関する専門家派遣事業」(2015 年 6 月～12 月)
2. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「平成 27 年度茨城県幼稚園新規採用教員研修」(2015 年 8 月)
3. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成 27 年度 10 年経験者研修講座」(2015 年 11 月)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 田原 敬
-------------------	---------

### 教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	筑波大学 第二学群人間学類 心身障害学専攻[2007年03月卒業] 筑波大学大学院 修士課程教育研究科 障害児教育専攻[2009年03月修了] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程障害科学専攻[2014年03月修了] 筑波大学(2014年4月～2015年3月) 筑波大学(2015年4月～2016年3月)
学位	修士(教育学)[筑波大学] 博士(障害科学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本特殊教育学会 日本聴覚言語障害学会 日本聴覚医学会 日本心理学会 日本生理心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学
教育研究概要	(キーワード)特別支援教育／聴覚障害児教育／聴覚活用／オーディオロジー
担当科目	

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)共著]李 彩環・田原 敬・原島 恒夫・鈴木 祥隆・堅田 明義「コミュニケーション中断場面における聴覚障害児の訂正方略に関する検討—従来の分析方法および非言語行動の分析を含め—」, 障害科学研究, <b>40</b>, 223-232(2016年03月)</p> <p>2. [研究論文(学術雑誌)共著]田原 敬・原島 恒夫・小林 優子・堅田 明義「聴覚障害者の環境音認知における背景情報の活用に関する研究」, 特殊教育学研究, <b>53</b>, 3, 185-194(2015年10月)</p> <p>3. [研究論文(学術雑誌)共著]田原 敬・小林 優子・原島 恒夫・堅田 明義「聴覚障害者の環境音認知に影響を及ぼす要因に関する研究—聴力レベルと環境音の音響特性に注目して—」, 聴覚言語障害, <b>44</b>, 1・2, 51-60(2015年10月)</p> <p>4. [研究論文(学術雑誌)共著]鈴木 祥隆・原島 恒夫・杉中 拓央・田原 敬・堅田 明義「大学における聴覚障害学生の疲労感に関する研究」, 聴覚言語障害, <b>44</b>, 1・2, 13-23(2015年10月)</p> <p>5. [研究論文(学術雑誌)共著]田中 佑一郎・原島 恒夫・田原 敬「パソコン要約筆記における情報伝達率に影響を及ぼす要因に関する研究」, 聴覚言語障害, <b>43</b>, 2, 87-94(2015年04月)</p>
--

### 研究業績(2)学会発表など

## ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原 敬・小林 優子・原島 恒夫・堅田 明義「健聴者における足音の同定に関する研究—聴覚障害者への実施に向けた基礎的検討—」日本心理学会第 79 回大会() [2015 年 09 月]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 井口 亜希子・原島 恒夫・田原 敬「特別支援学校(聴覚障害)幼稚園における手指等の活用に関する実態調査—幼稚園教員の手話・指文字・キューサイン・身振り等のとらえ方について—」日本特殊教育学会第 53 回大会() [2015 年 09 月]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 鈴木 祥隆・原島 恒夫・田原 敬・李 彩環・堅田 明義「聴覚障害者における Listening Effort に関する研究—聴覚障害学生の受講場面についての聞き取りから—」日本特殊教育学会第 53 回大会() [2015 年 09 月]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原 敬・原島 恒夫・小林 優子・堅田 明義「聴覚障害者の環境音認知に関する研究—足音のカテゴリー知覚に着目して—」日本特殊教育学会第 53 回大会() [2015 年 09 月]

**研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など**

## ○ 学外教育

1. [その他]「大学における障害のある人への学習支援とその意味」, , ,
2. [その他]「授業に生かす応用行動分析の基礎」, , , 揖斐特別支援学校

## ○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「目黒区東根小学校きこえとことばの教室 顧問」(2015 年 09 月～)
2. [学外審議会・委員会等]「目黒区 聴覚・言語障害のある児童の難聴・言語障害学級入級選考委員」(2015 年 09 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957 年 6 月
学歴・職歴	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部(2011年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(発育発達学会)(2010年03月27日), 日本公衆衛生学会 優秀演題賞((日本公衆衛生学会))(2009年10月20日)
所属学会	日本健康相談活動学会 日本学校健康相談学会 日本発育発達学会 日本人類学会 日本小児保健学会 中国・四国学校保健学会 日本公衆衛生学会 日本養護教諭教育学会 日本看護研究学会 日本教育カウンセリング学会 日本思春期学会 日本学校保健学会
専門分野	学校看護学 学校保健 健康教育
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)健康の科学[大学生の健康と保健 (A)] (専門科目)学校救急看護, 学校看護学実習, 学校看護学概論, 学校救急看護実習, 学校救急看護演習 I, 卒業研究(教育:4 単位), 臨床医学・看護学臨床実習 (大学院科目)学校救急看護学特論, 養護学総合研究, 学校救急看護学演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)]布施泰子、斎藤ふくみ、廣原紀恵、子川和宏 他「危険ドラッグ(調査時の呼称は脱法ドラッグ)に対する意識調査 第2報」, Campus Health 第53回全国大学保健管理研究集会(岩手大学)報告書, <b>53</b> , 1, 226-228(2016年03月)
2. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]廣原紀恵 富岡志織「性同一性障害に対する養護教諭の認識と支援について」, 茨城大学教育実践研究, <b>34</b> , 97-111(2015年11月)
3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]飛田昭子 廣原紀恵 「養護教諭養成課程の学生の養護教諭志望に対する意識調査」, 茨城大学教育実践研究, <b>34</b> , 113-122(2015年11月)
4. [研究論文(学術雑誌)単著]廣原紀恵「女子短期大学生の出生前診断に対する認識と態度」, イ

ンターナショナル Nursing Care Research , 14, 4, 83-90(2015 年 11 月)

5. [研究論文(学術雑誌)共著]Yasuko Fuse-Nagase<sup>1</sup>, Fukumi Saito, Toshie Hirohara and Happei Miyakawa "Awareness survey of so-called Dappou drugs or Kiken drugs (New Psychoactive Substances) among University Students in Japan", Substance Abuse Treatment, Prevention, and Policy, DOI 10.1186/s13011-015-0035-0(2015 年 10 月)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 茂中瑞希 斉藤ふくみ 子川和宏 廣原紀恵「学校医の健康相談における職務の変遷 文献検討から」第 12 回日本学校健康相談学会学術集会() [2016 年 03 月 19 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 湯原裕子 斉藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護活動(第 5 報) 養護教諭に対するフォーカスグループインタビューの分析から」第 12 回日本学校健康相談学会学術集会() [2016 年 03 月 19 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 山田玲子 葛西敦子 福田博美 佐藤伸子 秋月百合 廣原紀恵「養護教諭養成で教授する学校看護技術に関する検討」日本健康相談活動学会 第 12 回学術集会() [2016 年 03 月 04 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 奥田紀久子 棟方百熊 中窪萌子 加藤千代子 郷木義子 廣原紀恵「中学生における喫煙防止教育の効果と家族の喫煙行動との関連」第 62 回日本学校保健学会学術集会() [2015 年 11 月 29 日]
5. [口頭発表(一般)・(共同)] 後藤加奈 廣原紀恵 青柳直子「日常的相談場面における「言葉」親密度の違いによる」第 62 回日本学校保健学会学術集会() [2015 年 11 月 29 日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 湯原裕子 斉藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護活動(第 4 報) 成長エピソードの分析から」第 62 回日本学校保健学会学術集会() [2015 年 11 月 29 日]
7. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 湯原裕子 斉藤ふくみ 松坂晃 廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護活動(第 3 報) 困難感への対応の分析から」第 62 回日本学校保健学会学術集会() [2015 年 11 月 29 日]
8. [口頭発表(一般)・(共同)] 石津美阿里 石原研治 瀧澤利行 廣原紀恵「iPS 細胞や再生医療に対する中・高等学校教員の意識・認識に関する質問紙調査」第 62 回日本学校保健学会学術集会(岡山) [2015 年 11 月 29 日]
9. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 服部恒明 廣原紀恵「チャート法でみる現代日本人青年のプロポーシヨンの変化」第 69 回日本人類学会大会(臨界副都心センター) [2015 年 10 月 10 日]
10. [ポスター発表・(共同)] 廣原紀恵 石原研治 石津美阿里 瀧澤利行「看護師の iPS 細胞と再生医療に対する関心・理解に関する質問紙調査」第 74 回日本公衆衛生学会(長崎) [2015 年 10 月 05 日]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 常磐短期大学・, 4(時間/月) (2012 年 04 月～)

### ○ 学協会での役職

1. 日本養護教諭教育学会, 編集委員 (2012 年 05 月～2016 年 03 月)
2. 日本小児保健学会, 代議員 (2012 年 05 月～)

### ○ 学外教育

1. [自治体での社会教育]「平成 27 年度 10 年経験者研修講座」, 茨城県教育研修センター

### ○ 地域協力活動

1. 茨城県教育委員会[学外審議会・委員会等]「性に関する指導の在り方検討委員会」(2015 年 08 月～2016 年 03 月)
2. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成27年10年経験者研修講座(養護教諭)」(2015 年 07 月～)
3. [その他公的社会活動]「いはらき性教育研究会(全国性教育研究団体連合茨城県支部)」(2012 年 03 月～)
4. 「茨城小児保健協会 理事 事務局」(2011 年 08 月～)
5. 日本小児保健協会 評議員 (2012 年 04 月～)
6. 茨城県教育研究連盟 (2011 年 10 月～)
7. 日本教育大学協会全国養護教諭部門研究委員会 研究委員 (2011 年 04 月～)

## 科学研究費補助金などの受領

### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「養護教諭養成における「学校看護」の教育プログラムの構築」, 468 万円 (2015 年 04 月～2018 年)
2. [科研費](分担)「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考察」, 60 万円 (2014 年 04 月～2016 年)

養護教諭養成課程	氏名 斉藤 ふくみ
----------	-----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 10 月
学歴・職歴	北海道教育大学 教育学部旭川分校 養護教諭養成課程[1981 年 03 月卒業] 愛知教育大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻学校保健学専修[1983 年 03 月修了] 広島大学大学院 保健学研究科 保健学専攻[2006 年 03 月修了] 熊本大学教育学部講師(2000 年 9 月～2006 年 3 月) 熊本大学教育学部助教授(2006 年 4 月～2007 年 3 月) 熊本大学教育学部准教授(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2008 年 4 月～2014 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2014 年 4 月～)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教師教育学会 日本学校健康相談学会 日本健康相談活動学会 日本養護教諭教育学会 日本学校保健学会
専門分野	教科教育学 養護学、養護実践学、健康教育、質的研究
教育研究概要	<p>3大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較—テキスト・マイニング手法を用いて— 本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できるとと思われる。</p> <p>(キーワード)養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動、養護実習、質的研究</p>

担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[養護教諭論] (専門科目)養護活動演習 II, 健康相談活動 I(養教)/健康相談活動 I(心理コース), 養護学概論 I, 養護実践論, 養護活動演習 I, 教職実践演習(養護教諭), 卒業研究(教育:4 単位), 養護実地研究入門 (大学院科目)養護教諭論特論, 養護学総合研究, 養護教諭論演習, 特別課題研究
------	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [その他・編者]「2017 年度 50 都道府県市別教科別教員採用試験「養護教諭参考書」シリーズ」, 協同出版, (2016 年 03 月 10 日)
2. [教科書・共著]大谷尚子・鈴木美智子・森田光子編集, 井出元美奈子・大原栄子・亀崎路子・斉藤ふくみ・出原嘉代子・中川裕子・松永恵・山中寿江・吉田あや子「新版養護教諭の行う健康相談」, 東山書房, 142-146(2016 年 03 月 01 日)
3. [著書・共著]大谷尚子・中桐佐智子編「改訂養護実習ハンドブック」, 東山書房, 185-192(2015 年 10 月 10 日)
4. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】]斉藤ふくみ「巻頭言 養護に内在する感性」, 日本養護教諭教育学会誌, 19, 2, 3-4(2016 年 03 月 28 日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 飯嶋美里・斉藤ふくみ・子川和宏「島しょの自然災害から考察する被災地の養護教諭の役割(第2報)ー2013 年伊豆大島の土砂災害に関する中高生対象の質問紙調査自由記述の質的分析からー」日本学校健康相談学会() [2016 年 03 月 20 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 茂中瑞希・斉藤ふくみ・子川和宏・廣原紀恵「学校医の健康相談における職務の変遷ー文献検討からー」日本学校健康相談学会第 12 回学術集会(聖徳大学) [2016 年 03 月 20 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 湯原裕子・斉藤ふくみ・松坂晃・廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護活動(第5報)ー養護教諭に対するフォーカスグループインタビューの分析からー」日本学校健康相談学会第 12 回学術集会(聖徳大学) [2016 年 03 月 20 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 斉藤ふくみ・鈴木薫・山崎隆恵「養護教諭の複数配置に関する研究(第3報)ーシラバス調査を中心にー」日本学校保健学会第 62 回学術大会(岡山コンベンションセンター) [2015 年 11 月 29 日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 湯原裕子・斉藤ふくみ・松坂晃・廣原紀恵「保健室頻回来室児童への養護活動(第四報)ー成長エピソードの分析からー」日本学校保健学会第 62 回学術大会() [2015 年 11 月 28 日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 湯原裕子・斉藤ふくみ・松坂晃・廣原紀恵「保健室頻回来室



児童への養護活動(第三報)－困難感への対応の分析から－」日本学校保健学会第 62 回学術大会()  
[2015 年 11 月 28 日]

7. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 飯嶋美里・斉藤ふくみ・子川和宏・古池雄治「島しょの自然災害から考察する被災地の養護教諭の役割(第一報)－2013 年伊豆大島の土砂災害が中高生に与えた影響の実態から－」日本学校保健学会第 62 回学術大会()  
[2015 年 11 月 28 日]

8. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 鈴木薫・山崎隆恵・斉藤ふくみ「養護教諭の複数配置に関する研究(第2報)－養護教諭養成課程学生の認知を中心に－」日本学校保健学会第 62 回学術大会(岡山コンベンションセンター)  
[2015 年 11 月 28 日]

9. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 山崎隆恵・斉藤ふくみ・鈴木薫「養護教諭の複数配置に関する調査研究(第1報)－養護教諭養成課程学生と対象として－」日本養護教諭教育学会第 23 回学術集会(くまもと森都心プラザ)  
[2015 年 10 月 10 日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

#### 社会的活動、地域貢献など

##### ○ 学協会での役職

1. 日本養護教諭教育学会, 編集委員会事務局(2012 年 04 月～)
2. 日本養護教諭教育学会, 理事(2012 年 04 月～)
3. 日本学校健康相談学会, 理事(2010 年 04 月～2016 年 03 月)

##### ○ 学外教育

1. [自治体での社会教育]「平成27年度水戸市学校保健会養護教諭部会研修会 養護教諭と研究－実践研究－」, 90 時間, 60 名出席, 水戸市学校保健会・養護教諭部会

##### ○ 地域協力活動

1. 福島県立湯本高等学校(2015 年 10 月～)
2. 茨城県立牛久栄進高等学校(連携協定あり)(2015 年 08 月～)
3. 茨城県立中央高等学校(2013 年 11 月～)
4. 茨城県立水戸第三高等学校(2012 年 12 月～)
5. 茨城県立水戸第二高等学校(2012 年 10 月～)
6. 福島県立いわき光洋高等学校(2012 年 10 月～)
7. 茨城県立日立北高等学校(2012 年 07 月～)
8. 茨城県立水戸第三高等学校(2011 年 12 月～)
9. 福島県立いわき光洋高等学校(2011 年 11 月～)
10. 大成女子高等学校(連携協定あり)(2011 年 06 月～)

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	東洋大学 文学部 教育学[1985年卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 健康教育学[1992年修了] 日本学術振興会特別研究委員(1990年4月～1992年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月～)
学位	博士(教育学)[東京大学] 博士(医学)[大阪大学] 教育学修士[東京大学]
受賞歴	第12回日本医史学会学術奨励賞(2006年), 日本公衆衛生学会奨励賞(1999年), 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994年)
所属学会	日本医史学会, 日本衛生学会, 日本教育学会, 日本公衆衛生学会, 日本生活指導学会, 日本学校保健学会, 日本健康教育学会, 日本在宅ケア学会, 日本教育保健学会, 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)保健福祉論, 健康文化論, 精神保健/メンタルヘルス, 公衆衛生学, 衛生学, 学校保健概論(養護教諭), 養護活動と関連法規, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育保健経営特論, 養護学総合研究, 教育保健経営演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [著書・単著]瀧澤利行「在宅ケア学・第1巻「在宅ケアの基本的考え方」」, 日本在宅ケア学会編・ワールドプランニング刊, 207-217(2015年07月30日)
- [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]瀧澤利行「教育学における教育保健論の系譜」, 日本教育保健学会年報, 23, 3-14(2016年03月21日)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(単独)]第24回東京都杖道大会7段の部準優勝(2012年07月)

[その他]第19回東京都杖道大会7段の部準優勝(2007年07月)

- [その他]第 18 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2006 年)
- [その他]第 12 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2000 年)
- [その他(単独)]第 17 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(1999 年 07 月)
- [その他]全日本剣道連盟杖道教士 7 段(1998 年)
- [その他]第 9 回東京都杖道大会 6 段の部第二位(1997 年)
- [その他(単独)]第 7 回東京都杖道大会 6 段の部準優勝(1995 年 07 月)

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 放送大学・客員教授, 2(時間/月)(2004 年 04 月～)
2. [兼業] 国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師・(2006 年 04 月～)
3. [兼業] 東洋大学大学院非常勤講師・(2009 年 04 月～)
4. [兼業] 慶応義塾大学非常勤講師・(1999 年 04 月～)
5. [兼業] 國學院大學非常勤講師・(1993 年 04 月～)
6. [兼業] 東京都中央区協働推進会議会長・(2005 年 06 月～)
7. [兼業] 茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長・(2005 年 04 月～)
8. [兼業] 東京都練馬区協働推進会議副座長・(2010 年 04 月～)

### ○ 学協会での役職

1. 日本高齢者虐待防止学会, 理事(2011 年 07 月～)
2. 日本医史学会, 代議員(2011 年 06 月～)
3. 日本教育保健学会, 副理事長(2011 年 04 月～)
4. 日本生活指導学会, 会計監査(2010 年 09 月～)
5. 日本衛生学会, 倫理委員会委員(2008 年 04 月～)
6. 日本在宅ケア学会, 倫理委員長(2007 年 03 月～)
7. 日本教育保健学会, 常任理事(2002 年 03 月～)
8. 日本在宅ケア学会, 理事(2001 年 03 月～)
9. 日本衛生学会, 評議員(2000 年 03 月～)
10. 日本医史学会, 評議員(1999 年 05 月～)
11. 日本学校保健学会, 理事(1998 年 11 月～)
12. 日本健康教育学会, 評議員(1996 年 06 月～)

## 科学研究費補助金などの受領

2014 年～ 挑戦的萌芽的研究「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考案」(研究課題番号:26560377)

養護教諭養成課程	氏名 古池 雄治
----------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年12月
学歴・職歴	防衛庁 防衛医科大学校 医学部 医学科[1990年03月卒業] 防衛庁 防衛医科大学校大学院 医学研究科 成長発達臨床医学[2001年10月修了] 防衛医科大学病院(1990年6月～1992年7月) 防衛医科大学病院(1994年8月～1996年7月) 防衛医科大学医学研究科(1997年10月～2001年9月) 陸上自衛隊第4師団(2001年10月～2003年9月) 自衛隊中央病院(2003年10月～2006年12月) 国立病院機構災害医療センター(2007年1月～2014年3月) 茨城大学教育学部(2014年4月～)
学位	医学博士[学位授与機構]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校保健学会 日本小児保健協会 日本糖尿病学会 日本小児内分泌学会 日本小児科学会
専門分野	小児科学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)母性・小児系臨床医学・看護学, 感覚器系臨床医学・看護学, 臨床医学概論, 精神医学, 内科系臨床医学・看護学, 外科系臨床医学・看護学, 卒業研究(教育:4単位), 臨床医学・看護学臨床実習 (大学院科目)教育保健医学特論, 養護学総合研究, 教育保健医学演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)共著【査読あり】]Yuji Koike, Masaya Akibayashi, Yukako Yokouchi"Successful treatment of short stature with growth hormone replacement therapy in a patient with anorexia nervosa", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **ahead of print** (2015年)

2. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著【査読あり】]Yuji Koike, Nobuo Isono"Steam burn from a rice cooker", Consultant for Pediatricians, (2015 年 11 月)
3. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著]古池雄治、大熊裕香「学校における救急医療体制と養護教諭の役割」, 小児科, **56**, 11, 1813-1817(2015 年 10 月 01 日)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 古池雄治、横内裕佳子、藤塚聡「神経性やせ症に合併した低身長に成長ホルモン補充療法が有効であった 19 歳女性例」第 49 回日本小児内分泌学会学術集会(東京)[2015 年 10 月]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 生田奈咲、古池雄治、布施泰子「大学生における性別違和および性的指向に関する調査報告」第 49 回日本小児内分泌学会学術集会(東京)[2015 年 10 月]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 国立病院機構災害医療センター・小児科非常勤医師(2014 年 04 月～)

### ○ 学協会での役職

1. 茨城県小児保健協会, 会長(2014 年～)
2. 日本小児内分泌学会, 評議員(2012 年～)

養護教諭養成課程	氏名 青柳 直子
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	
学歴・職歴	<p>東京大学大学院 教育学研究科[年]</p> <p>東京大学大学院 教育学研究科[年]</p> <p>東京学芸大学 教育学部大学院[年]</p> <p>公益財団法人 労働科学研究所(2005 年～2007 年)</p> <p>浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師(2007 年～2008 年)</p> <p>浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授(2008 年～2013 年)</p> <p>茨城大学教育学部養護教諭養成課程 准教授(2013 年～)</p>
学位	博士(教育学)[東京大学] 修士(教育学)[東京大学]
受賞歴	
所属学会	<p>日本公衆衛生学会 日本発育発達学会 日本衛生学会 日本思春期学会 茨城県小児保健協会 日本健康教育学会 日本ストレス学会 日本小児保健学会 日本幼児体育学会 産業疲労研究会 日本疲労学会 日本産業衛生学会 日本時間生物学学会 日本学校保健学会</p>
専門分野	時間生物学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード)生体リズム、心身機能評価
担当科目	<p>(教養科目)健康の科学[ライフスタイルと健康 (A/B)]</p> <p>(専門科目)体育科内容研究, 保健科内容研究 I/保健科教育内容研究 I, 保健体育科教育法研究 III/保健科教育法研究/保健体育科教育法研究 III, 小児・思春期保健学, 保健科教育法演習, 保健学演習, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)ヘルスプロモーション論特論, 養護学総合研究, ヘルスプロモーション論演習</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「幼児の睡眠習慣と生活要因との関連」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 65, 1-8(2016 年 03 月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]「高等学校における保健学習の現状と課題」, 茨城大学

教育実践研究, 34, 123-130(2015 年 11 月)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 仁平成美, 瀧澤利行, 石原研治, 青柳直子「健康教育技法としてのシネメデュークエーションの意義と課題」第 62 回日本学校保健学会() [2015 年 11 月]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 西嶋紗英, 青柳直子「中学生の朝の部活動と学校生活・生活習慣との関連」第 62 回日本学校保健学会() [2015 年 11 月]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 生田奈佐, 古池雄治, 松坂晃, 青柳直子「大学生における性別違和及び性的指向に関する調査研究」第 62 回日本学校保健学会() [2015 年 11 月]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 後藤加奈, 廣原紀恵, 青柳直子「日常的相談場面における「言葉」-親密度の違いによる-」第 62 回日本学校保健学会() [2015 年 11 月]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 窪田美也子, 青柳直子「児童を対象とした集団への保健指導によるセルフエフィカシーの向上」第 62 回日本学校保健学会() [2015 年 11 月]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「国立教育政策研究所 学習指導要領実施状況調査(高等学校 保健)」[問題作成委員/結果分析委員]
2. 「日本学術振興会 科学研究費委員会」[専門委員 第 1 段(書面)審査委員]

### ○ 学協会での役職

1. 日本小児保健学会, 代議員(2014 年～)
2. 日本教育大学協会全国養護部門研究委員会, 委員(2013 年～)
3. 茨城県小児保健協会, 理事・事務局(2013 年 04 月～)
4. 日本時間生物学会, 評議員(2010 年～)

### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「平成 27 年度千葉県学校保健研修会(国内)」, 千葉県教育委員会(千葉県千葉市)[招待講演](2015 年 11 月)

### ○ 地域協力活動

1. 「茨城県 10 年次経験者研修講座(養護教諭・新栄養教諭)」(2015 年～2017 年)
2. 「茨城県新規採用研修講座(養護教諭)」(2014 年～2017 年)

## 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア トリノ バレンティーノ城[学会参加](2015 年 10 月:5 日間)

## 科学研究費補助金などの受領

### ○ 競争的資金の獲得

- 1) [科研費以外](代表)「幼児の望ましい睡眠習慣の定着を指向した生活リズム向上のための取組

み」, 10 万円 , 平成 27 年度茨城大学教育学部研究費特別配分(茨城大学)(2015 年 11 月～2016 年 03 月)

2)[科研費以外](代表)「幼児の健康的な生活習慣の形成を目指す睡眠改善プログラムの提案」, 4 万円 , 平成 27 年度実践センター・学部附属学校連携研究費補助金(茨城大学)(2015 年 06 月～2016 年 03 月)



養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	群馬大学 工学部[1994 年 03 月卒業] 群馬大学大学院 工学研究科[1996 年 03 月修了] 東北大学大学院 薬学研究科[2000 年 03 月修了] 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 4 月～2007 年 3 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 4 月～)
学位	博士 (薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外 (国際学会) 派遣(2005 年), 財団法人 薬学研究奨励財団 海外 (国際学会) 派遣(2005 年), (2004 年)
所属学会	日本学校保健学会 International Eosinophil Society アレルギー・好酸球研究会 日本薬学会 日本アレルギー学会 日本再生医療学会 日本公衆衛生学会
専門分野	膠原病・アレルギー・感染症内科学 耳鼻咽喉科学 再生医療
教育研究概要	(キーワード)アレルギー 好酸球 気管支喘息 ニッケル 聴覚 難聴 iPS 細胞
担当科目	(教養科目)健康の科学[アレルギーを知らう (A/B)] (専門科目)解剖生理学, 薬理学, 解剖生理学演習, 免疫学 I, 免疫学 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校安全特論, 養護学総合研究, 学校安全演習, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

## ○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]石原研治・吉田香菜「再生医療と iPS 細胞について理解するための教育学部的な教材の開発」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 1, 141-150(2015 年 09 月 15 日)
2. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]石原研治・小原由子「iPS 細胞を用いた再生医療社会実現に向けた思考基盤づくりの提案」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 131-140(2015 年 09 月 15 日)

**研究業績(2)学会発表など**

1. 石原研治・柴田有沙・鎗 瞳・瀧澤利行「高校生の iPS 細胞と再生医療に関する意識調査」第 15 回日本再生医療学会（2016 年 3 月 19 日）
2. 菊地悠登・石原研治・鈴木一史・川上雅弘・和田濱裕之・山口千恵子・瀧澤利行「再生医療理解を指向したモデル教育の考案 ―高校生が再生医療に期待すること―」第 15 回日本再生医療学会（2016 年 3 月 19 日）
3. 加藤 宗樹・石原研治・鈴木一史・山口千恵子・瀧澤利行「中・高校生を対象とした再生医療に関わる新聞記事の理解度の調査」第 15 回日本再生医療学会（2016 年 3 月 19 日）
4. 加倉井希・石原研治・鈴木一史・山口千恵子・瀧澤利行「再生医療理解を指向したモデル教育の考案 ―高大連携によるカリキュラムの開発―」第 15 回日本再生医療学会（2016 年 3 月 19 日）
5. 鈴木一史・石原研治・吉村英華・関屋奈々子・瀧澤利行「現行の学習指導要領解説における再生医療関連用語の出現頻度の調査」第 15 回日本再生医療学会（2016 年 3 月 19 日）

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 東京学芸大学・非常勤講師(2011 年 10 月～)
2. [講師] 茨城県立緑岡高等学校 SSH 高大連携・高大接続事業 再生医療教育モデル講義『私たちの考える未来の再生医療社会～科学は社会の一員である～』（対象：理数科 2 年）(2015 年 9 月～)
3. [講師] ひらめき☆ときめきサイエンス『iPS 細胞から眺めよう，私たちの未来社会』（2015 年 9 月～）

### 科学研究費補助金などの受領

#### ○ 共同研究・受託研究

1. [その他]「日本学術振興会 ひらめきときめきサイエンス「iPS 細胞から眺めよう，私たちの未来社会」2015 年度(代表)」，未詳(2015 年 05 月～2015 年 09 月)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 村野井 均
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年12月
学歴・職歴	<p>東京教育大学 教育学部 心理学科(東京都文京区)[1978年卒業]</p> <p>筑波大学大学院 心理学研究科(茨城県つくば市)[1984年単位取得満期退学]</p> <p>弘前学院大学一般教育部 講師(1984年4月～1987年3月)</p> <p>弘前学院大学一般教育部 助教授(1987年4月～1988年3月)</p> <p>福井大学教育学部 助教授(1988年4月～1999年3月)</p> <p>福井大学教育地域科学部 助教授(1999年4月～2004年3月)</p> <p>国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004年4月～2004年12月)</p> <p>国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005年1月～2005年9月)</p> <p>国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005年10月～)</p> <p>茨城大学教育学部附属教育実践総合センター(2010年4月～2012年3月)</p> <p>茨城大学教育学部附属小学校(2012年4月～2015年3月)</p> <p>放送大学学園 放送大学茨城学習センター(2016年3月～2017年3月)</p>
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002年), 福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001年)
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会, 日本発達心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	<p>子どものテレビ理解 (ストーリー理解、映像文法の理解、放送技術の理解)</p> <p>児童・生徒による映像制作</p> <p>子どもの作った映像作品を学校と協力して放送する試みと学校への信頼感</p> <p>(キーワード)子どものテレビ理解 メディア・リテラシー テレビ理解 テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送 高齢者のテレビ理解 ザッピング 映像文法 映像の時制表現 子どものテレビ視聴 音と映像の組み合わせ 催眠 暗示とコマーシャル 虚構と現実の区別</p>
担当科目	<p>(専門科目)発達心理学, 現代社会の人間関係(人間・共通), メディア・リテラシー I, 生涯学習とメディア, 心理学文献講読 II, 発達の理解 II/発達の理解B, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)発達心理学特論, 学校教育総合研究, 発達臨床心理学特論, 発達</p>

心理学演習

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

論文(2016)

[研究論文(大学,研究機関紀要)・共著]村野井均・藤井とし子「幼児向け番組におけるテレビを3次元に見る手がかりの分析」、茨城大学教育実践研究,35,279-287,茨城大学教育学部附属教育実践総合センター,2016.9

[総説・解説(商業誌)・単著]村野井均「高齢者のテレビ理解から映像の受け手について考える」、「視聴覚教育」2016.5、6-9、日本視聴覚教育協会、2016.5

[研究論文(大学,研究機関紀要)・単著]村野井均「高齢者のテレビ理解に関する試論」、茨城大学教育学部紀要(教育科学),64,247-257,茨城大学教育学部,2016.3

著書(2016)

[単行本(学術書)・単著]「子どもはテレビをどう見るか テレビ理解の心理学」村野井均、勁草書房、全 207 頁,2016.10

**研究業績(2)学会発表など**

○ 学会発表等(2016)

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]村野井均 「「母と子のテレビタイム」におけるテレビを3次元に見る手がかりの分析」、日本教育メディア学会第23回年次大会[2016年11月27日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]村野井均『「サザエさん」における時制表現の一貫性と番組制作者の役割』、日本教育メディア学会第23回年次大会[2016年11月27日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]村野井均「子どものテレビ理解を支える見えないカリキュラム」心理科学研究会、[2016年11月18日]
4. [ポスター発表(一般)・国際会議(単独)]H. Muranoi, 'A research of the factors to feel uncomfortable when a photograph is contributed to SNS without permission', the 31st International Congress of Psychology 2016 (ICP2016), 2016.07.28
5. [ポスター発表(一般)・国際会議(単独)]H. Muranoi, 'The picture expression of the tense used in Japanese animation Sazae san, comparison between 1994 and 2015', the 31st International Congress of Psychology 2016 (ICP2016), 2016.07.28
6. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]村野井均[メディアリテラシーにおける番組制作者の役割 — 1996年と2015年におけるアニメ『サザエさん』の時制表現の比較], 日本教育メディア学会第1回研究会, [2016年07月17日]
7. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 村野井均「テレビ局と協力して児童生徒が制作した映像作品を放送する実践」茨城県教育工学研究会、D-プロジェクト茨城(茨城大学教育学部) [2016年03月19日]

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 放送大学茨城学習センター・面接授業講師, 12(時間/月)(2016年10月～2015年10月)
2. [兼業] 放送大学茨城学習センター・面接授業講師, 12(時間/月)(2015年10月～2015年10月)
3. [出前授業] 福島県立磐城桜が丘高等学校・講師, 2時間(2016年6月28日)
4. [出前授業] 茨城県立大子清流高等学校・講師, 2時間(2016年9月14日)
5. [出前授業] 茨城県立日立北高等学校・講師, 3時間(2016年10月12日)
6. [出前授業] 茨城県立伊奈高等学校・講師, 2時間(2016年11月29日)
7. [非常勤講師] 大成女子高等学校 看護科・非常勤講師, 8(時間/月)(2015年04月～2015年09月)
8. [兼業] NHK放送文化研究所・「放送研究と調査」Reviewer, (2014年04月～2016年03月)
9. [出前授業] 茨城県立 伊奈高等学校・講師, 3(時間/月)(2009年11月～)
10. [非常勤講師] 福島県立 白河高等学校・講師, 2(時間/月)(2009年10月～)
11. [非常勤講師] 茨城県立 石岡高等学校・講師, 2(時間/月)(2009年10月～)
12. [出前授業] 学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)・講師, (2時間/月)(2009年10月)
13. [出前授業] 青森県青森東高等学校・講師, 2(時間/月)(2007年11月～)
14. [その他] 水戸市教育委員会・講師, 3(時間/月)(2007年03月～)

## ○ 学協会での役職

1. 日本教育メディア学会, 井内賞選考委員(2012年～)
2. 日本教育メディア学会, 編集委員(2010年～)
3. 日本教育メディア学会, 常任理事(2006年10月～)

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 茨城県高等学校教育研究会衛生看護部, 大成女子高等学校[招待講演](2016年02月)
1. 「学童保育指導員等スキルアップ事業(国内)」, 公益財団法人 茨城県教育財団(茨城県水戸生涯学習センター)[招待講演](2015年05月)

## ○ 地域協力活動

1. 茨城県古河市教育実践指導(2016年04月～)
2. 茨城県教育工学研究会・D-プロジェクト茨城(2016年02月～)
3. 茨城県教育会評議員(2014)
4. 一般財団法人 茨城県教育センター評議員会(2014)
5. 平成 26 年度茨城県教科用図書選定審議会(2014)

**海外出張・海外研修・内地研修など**

韓国 ソウル・高麗大学校、漢陽大学校[学会参加、視察](2014年8月:4日間)

**科学研究費補助金などの受領**

科研費 [自閉症者の社会的困難の認知], 萌芽研究, 日本学術振興会, (2016年4月～2017年3月), (分担) 研究代表: 東條吉邦

日本教育公務員弘済会 日教弘本部奨励金, 日本教育公務員弘済会, [ネットに無断投稿される人が不快に感じる水準に関する研究], (2016年4月～2017年3月)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 望月 厚志
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年12月
学歴・職歴	立教大学 文学部 教育学科教育学専攻課程[1978年卒業] 立教大学大学院 文学研究科 教育学専攻[1987年単位取得満期退学]
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>I. 教育活動 1. 授業関係 ①学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。②大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究Ⅱ, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。2. 学生指導 ①2005年度入学生学年担任, ②委託生指導, ③全学就職センター相談員。3. 学外関係 ①社会教育主事講習(文部科学省), ②栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), ③10年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), ④社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), ⑤茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), ⑥高校での大学模擬授業, 担当。II. 研究活動 ①「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。②「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。③「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(専門科目)生涯学習概論《学芸員:要件外》, 教育実践と教師(教職共通)/教育実践と教師[人環用教職], 教育実践と教師(教職共通), 社会教育演習, 教師のキャリア・デザイン, 社会教育, 生涯学習論(教職共通)/生涯学習論(情報・人間)/生涯学習論(情報・人間), 社会教育実習, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 特別課題研究</p>

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 2 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部[1983 年 03 月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1985 年 03 月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1988 年 09 月中退] 広島大学大学院 教育学研究科 教育人間科学専攻[2005 年 03 月修了] 九州産業大学 教授(2001 年 4 月～2004 年 3 月) 九州産業大学大学院 教授(2004 年 4 月～2010 年 3 月) 茨城大学教育学部 教授(2010 年 4 月～)
学位	教育学修士[広島大学] 博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチー・フレーベル学会 教育哲学会 日本道德教育学会 日本道德教育方法学会
専門分野	教育学、教育哲学、道德教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[現代教育の諸問題] (専門科目)教育哲学特講, 教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念[人環用教職], 平和教育の理論と実践, 教育史演習 I, 教育の本質と理念(教職共通), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育原論特論, 教育原論演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [著書・編者]渡邊満・押谷由夫・渡邊隆信・小川哲哉 編「シリーズ「特別の教科 道徳」を考える3 中学校における「特別の教科 道徳」の実践」, 北大路書房, (2016 年 03 月)
2. [著書・編者]渡邊満・押谷由夫・渡邊隆信・小川哲哉 編「シリーズ「特別の教科 道徳」を考える 1 「特別の教科 道徳」が担うグローバル化時代の道徳教育」, 北大路書房, (2016 年 03 月)
3. [著書・共著]小川哲哉『「教育哲学の課題「教育の知とは何か」－啓蒙・革新・実践－』, 福村出版, 329－343(2015 年 06 月 05 日)



## 研究業績(2)学会発表など

小川哲哉、石井純一、「公共性を考える道德教育実践」(日本道德教育方法学会第 20 回大会・2014 年 06 月)

〈パネリスト〉茨城大学社会連携センター発足記念シンポジウム(事例報告者とパネリスト)(2014 年 05 月)

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 学協会での役職

1. 茨城県教育委員会, 新しいばらき教育プラン策定懇話会委員(2015 年～)
2. 茨城県, 茨城県総合計画審議会委員(2015 年～)
3. 日本ペスタロッチャー・フレーベル学会, 理事(2015 年～)
4. 茨城県教育委員会, 道德教育推進委員会委員長(2014 年～)
5. 日本道德教育方法学会, 理事(2013 年～)

### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「キャリア教育夏季研究協議会(常陸太田市教育会)(国内)」, [招待講演](2015 年 08 月)

## 科学研究費補助金などの受領

「教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実践的研究」[科研費]萌芽研究(代表)(2012 年 04 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 佐藤 環
------------------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年4月
学歴・職歴	慶應義塾大学 文学部 史学科国史学専攻[1984年03月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1992年03月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1995年03月単位取得満期退学] 茨城大学教育学部・教授(2012年～)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	茨城近現代史研究会 中等教育史学会 日本教育史研究会 日本教育史学会 全国地方教育史学会 教育史学会
専門分野	教育学 日本教育史
教育研究概要	(キーワード)藩校教育史, 武芸, 弓術, 試験制度, 近代中等教育史
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[茨城県教育の近代] (専門科目)学校教育課程論, 教育史特講, 幼児教育課程論, 学校教育課程論, 学校と教育の歴史, 教育史演習 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)地域教育資源フィールドスタディ, 近代学校教育史特論, 近代学校 教育史演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・単著]佐藤環『『茨城県女学校のあゆみ ー茨城県における女子中等学校の歴史の変遷ー』, 茨城新聞社, 全194(2015年04月20日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤環「山形県旧制中学校における弓道教育の展開」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 361-374(2016年03月)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤環「大正後期における茨城県高等女学校の訓育充実方策」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 349-360(2016年03月)
4. [(MISC)その他記事単著]佐藤環「書評 池田雅則著『私塾の近代ー越後・長善館と民の近代教育の原風景ー』」, 地方教育史研究, 36, 65-68(2015年05月)

### 社会的活動、地域貢献など

## ○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城町立青葉中学校学校評議員」茨城町立青葉中学校[学校評議員]
2. 「水戸市社会教育委員」水戸市教育委員会
3. 「水戸家庭裁判所委員会委員」

## ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2014年04月～)

## ○ 学協会での役職

1. 全国地方教育史学会, 事務局長(2012年06月～)
2. 全国地方教育史学会, 常任幹事(2011年05月～)

## ○ 学外教育

1. [出前授業]「茨城キリスト教学園高等学校「教育の“常識”を考える」,, ,

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 「「読み解く! 屏風絵の世界」(茨城大学図書館 2015 年度前学期企画展)(国内)」, 公益財団法人上廣倫理財団(茨城大学図書館(水戸本館))[その他](2015年07月)

## ○ 地域協力活動

1. 茨城県弓道連盟代議員 堀原支部(2009年04月～2015年03月)

**科学研究費補助金などの受領**

## ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「中等学校教育課程における武術導入に関する研究 一戦前期の弓道を中心として」, 494 万円 (2013 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 本田 敏明
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1951年4月
学歴・職歴	広島大学 教育学部 小学校教員養成課程[1975年] 広島大学大学院 教育学研究科 教育方法学[1981年]
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	教育システム情報学会, 日本教育工学会, 日本教育方法学会, 情報科教育学会
専門分野	教育工学 教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	(専門科目)情報科教育法 II, マルチメディア・コンテンツ制作, 情報リテラシーと情報モラル, コンピュータプレゼンテーション技法/プログラミング入門, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教授学特論

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]本田敏明, 赤間文香, 宇井みずき, 海野詩央里, 佐々木雅実, 會澤瑞季「教師の ICT 指導力について-指導力転移の可能性について-」, 日本情報科教育学会誌, 第8, 第1, 25-33(2015年)</p>
---

### 研究業績(2)学会発表など

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・国内会議] 本田敏明, 赤間文香, 宇井みずき, 海野詩央里, 佐々木雅実, 會澤瑞季「教師の ICT 指導力について-指導力転移の可能性について-」教育システム情報学会第40回全国大会() [2015年09月]</p>
---

### 社会的活動、地域貢献など

日本情報科教育学会 研究委員会・研究委員会委員長、監査(2012年04月～)

教育システム情報学会 情報教育委員会・理事、人材育成委員会委員長(2010年04月～)

### **海外出張・海外研修・内地研修など**

韓国 テグ、チェジュ・テグハーニー大学、ロッテチェジュホテル[調査、情報交換](2014年8月～9月:8日間)

ドイツ ルートヴィヒスブルク・ルートヴィヒスブルク教育大学[教師教育におけるe-ラーニング利用に関する調査、情報収集](2015年2月～3月:23日間)

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年6月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学 美術学部 芸術学科[1976年]          東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1978年]          若関酒造株式会社(1979年4月～1984年3月)          いわき市立美術館学芸員(1984年4月～1989年9月)          若関酒造株式会社企画部長(1989年10月～1990年3月)          郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年4月～1991年3月)          郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年4月～1993年6月)          郡山市立美術館主任学芸員(1993年7月～1996年3月)          茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2000年3月)          東北大学文学部非常勤講師(平成14年3月まで)(1997年4月～2002年3月)          東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年4月～)          茨城大学教授(現在に至る)(2000年4月～)          愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年4月～)          茨城大学教育学部附属中学校長(2011年4月～2014年3月)          茨城大学教育学部副学部長(2014年4月～)          茨城大学教育学部附属幼稚園長(2015年4月～)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	美術評論家連盟, 文化資源学会, 大学美術教育学会, 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	<p>五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑賞教育についての実践的, 理論的研究を行うとともに, 現代美術家の作品に対する研究・評論活動を行っている。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習]          (専門科目) 美術史学方法論 III/造形美学/造形理論, 博物館学 III(資料論)/博物館学 III(資料論), 日本美術史 I, 日本美術史特別演習 I, 表象文化論, メディア批評プロジェクト I, 地域活動プロジェクト I, 動画像処理(初級)a, 動画像処理(初級)</p>

	b, 日本美術史特別演習 II, 保育内容の研究(表現), 日本美術史 II, マルチメディア表現の理論及び演習, メディア批評プロジェクト II, 地域活動プロジェクト II, 博物館実習 II(1 単位), 日本美術実地研究, 古美術実地研究, 博物館実習 I(校内実習) (大学院科目)日本美術史研究, 美術文化総合研究, 日本美術史演習, 美術教育授業設計
--	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・分担執筆]小泉晋弥、久保山功「八十二文化財団創立30周年記念 信州ゆかりの作家と日本美術院」, 公益財団法人八十二文化財団, 4-7(2015 年 10 月)
2. [単行本(一般書)・分担執筆]小泉晋弥、中山恵理、菅野洋人、橘川英規『『没後 70 年 三木宗策の世界 木彫の正統』』, 郡山市立美術館, 6-10(2015 年 10 月 31 日)
3. [単行本(一般書)・分担執筆]小泉晋弥、大森潤也『『増田聡子展 色彩と形象の交響詩』』, 日立市郷土博物館, 5-7(2015 年 10 月 24 日)
4. [単行本(一般書)・分担執筆]若林奮、小泉晋弥、安藤隆、西澤美子『『若林奮《緑の森の一角獣座》記録集 1995-2015』』, 一角獣座を緑の森に残す会, 6-12(2015 年 08 月 01 日)
5. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]小泉晋弥「『芸術の『はたらき』と野外美術展』」, 『第 18 回我孫子国際野外美術展』図録, 2-3(2016 年 02 月)

### 研究業績(2)学会発表など

<基調講演>「五浦の岡倉天心と『茶の本』の世界 グローバリズムの時代にとっての意味」(講師)(5 月 14 日、茨城県教育会)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007 年 07 月～)

#### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「横山大観と茨城ゆかりの画家たち(国内)」, 那須塩原市郷土資料館(栃木県那須塩原市)[招待講演](2015 年 11 月)
2. 「トークイベント「増田聡子展」(国内)」, 日立市立郷土博物館(茨城県日立市)[招待講演](2015 年 11 月)
3. 「日本美術院の百年と長野(国内)」, 八十二文化財団(長野県長野市)[招待講演](2015 年 10 月)
4. 「ジオパークインタープリター講座(国内)」, 茨城県北生涯学習センター(茨城県日立市)[招待講演](2015 年 07 月)

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年10月
学歴・職歴	大阪大学 文学部 哲学科 哲学 哲学史[1977年卒業] 大阪工業大学 工学部 建築学科[1990年卒業] 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 生活環境学[2000年単位取得満期退学]
学位	学術博士[大阪市立大学] 工学修士[京都工芸繊維大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市住宅学会, 日本都市計画学会, 日本家政学会, 日本建築学会
専門分野	居住地計画 住居管理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[戦後昭和の住まいと暮らし] (専門科目)初等家庭科内容研究, 住居デザイン II, 住環境計画学(教科又は教職)/住環境計画学(生活デザイン), 保育内容の研究(環境), 住居計画学/住居計画学(情報文化課程), 初等家庭科内容研究, 住居環境学/住居環境学(情報文化), 居住地計画演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)生活科学総合研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]田中宏子、乾 康代「茨城県に於いて東日本大震災により県内外へ避難した子どものいる世帯の生活状況・」, 人間と生活環境, **22**, 2, 93-102(2015年11月)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]乾 康代「原子力開発黎明期における原発立地規制と周辺開発規制の枠組みづくりの経緯」, 都市計画論文集, **50**, 3, 968-973(2015年11月08日)
3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]乾 康代「住宅再建の進捗状況と再建支援課題 -東日本大震災3年後の茨城県を対象に-」, 日本建築学会計画系論文集, **80**, 714, 1903-1912(2015年08月01日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・(共同)] 森田芳朗, 乾 康代「茨城県の区分所有マンションにおける居住と管



理の現状(続報)日本建築学会大会(東海)()[2015年09月06日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

#### 社会的活動、地域貢献など

##### ○ 学協会での役職

1. 高萩市, 高萩市空家等対策協議会会長(2015年11月～2017年10月)
2. 水戸市, 水戸市住生活基本計画検討専門委員(2014年09月～2015年03月)
3. 日本建築学会, 関東支部茨城支所常任幹事(2002年04月～)

##### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「栃木県立佐野東高校一日大学(国内)」, 栃木県立佐野東高等学校(栃木県佐野市)[招待講演](2015年06月)

#### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ フランクフルト、ルブミン、フェルトハイムアウグスブルク フランクフルト、ルブミン、フェルトハイムアウグスブルク[資料収集](2015年8月:10日間)

#### 科学研究費補助金などの受領

##### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(B)一般(分担)「東海村臨海事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合研究」, 1986.5万円 (2013年04月～2017年03月)

##### ○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「住宅地における建築協定に関する研究」, 未詳(年度不詳～)
2. [学内共同研究]「都市近郊農村の景観に関する研究」, 未詳(年度不詳～)

情報文化課程	氏名 島田 裕之
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 美術[1980年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 形成デザイン[1988年修了] 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980年4月～1984年3月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984年4月～1986年3月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988年4月～1990年3月) 桐生短期大学生生活デザイン科専任講師(1990年4月～1993年3月) 茨城大学講師 教育学部(1993年4月～1995年3月) 茨城大学助教授 教育学部(1995年4月～2004年9月) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004年10月～)
学位	芸術学修士
受賞歴	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999年), 第7回NAAC展TGC部門TGC賞(1989年), 第66回二科展商業美術部特選賞(1981年), 第64回二科展商業美術部特選賞(1979年)
所属学会	日本デザイン学会, 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード)平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目)デザインI/デザイン史演習, デザイン表現演習I, 図画工作科内容研究, 情報文化広報プロジェクトI, 映像工房プロジェクトI, 子ども文化プロジェクトI, IllustratorでDTP(初級), デザインII/絵本制作演習, デザイン表現演習II, デザイン基礎(学校・表現)/視覚コミュニケーション演習, 情報文化広報プロジェクトII, 映像工房プロジェクトII, 子ども文化プロジェクトII, 静止画像処理(中級), 卒業研究(教育:4単位), 日本美術実地研究, 古美術実地研究 (大学院科目)工芸・デザイン研究, 美術文化総合研究, デザイン研究I, 工芸・デザイン演習, 特別課題研究, 美術教育授業設計

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [芸術活動(共同)]第5回茨城大学美術科教員展(2015年12月)
- [芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール(2015年10月)
- [芸術活動(単独)]個展:ななつはし 展(2015年06月)
- [芸術活動(共同)]茨城県芸術祭美術展(2014年10月)
- [芸術活動(共同)]茨城県芸術祭映像コンクール(2014年10月)
- [芸術活動(単独)]茨城県芸術祭美術展(2012年10月)
- [芸術活動(単独)]茨城県芸術祭映像コンクール(2012年10月)
- [芸術活動(共同)]第7回現代茨城作家美術展出品(2012年01月)
- [芸術活動(単独)]茨城県芸術祭映像コンクール(2011年10月)
- [芸術活動]茨城県水質保全協会ロゴマーク選考委員(2011年02月)
- [芸術活動]いばらきロケ大賞審査員(2010年12月)
- [芸術活動]茨城県芸術祭映像コンクール(2010年10月)
- [芸術活動]個展:UTAKI・群耀図(2010年06月)
- [芸術活動]個展:UTAKI・Selection2007-2010(2010年04月)
- [芸術活動]第6回現代茨城作家美術展出品(2010年01月)
- [芸術活動]茨城県芸術祭映像コンクール(2009年10月)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2009 UTAKI・HIKARI(2009年06月)
- [芸術活動]茨城県多文化共生社会推進事業マンガせりふコンテスト(2009年01月)
- [芸術活動]第23回国民文化祭映像文化フェスティバル(2008年09月)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2008 UTAKI・SORA(2008年06月)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2008 UTAKI ひかりのうまれるところ(2007年05月)
- [その他]個展:DIGITAL WORKS 2004-2006(2006年)
- [その他]第4回現代茨城作家美術展(2005年)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2005(2005年)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2004(2004年)
- [芸術活動]第3回現代茨城作家美術展(2003年)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2002(2002年)
- [芸術活動]さかなの絵コンクール(2002年01月)
- [芸術活動]第2回現代茨城作家美術展(2001年)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE 2000(2000年)
- [芸術活動]かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999年)
- [芸術活動]JACA'99 日本ビジュアルアート展入選(1999年)
- [芸術活動]個展:OUTER ZONE 展(1998年)
- [芸術活動]個展:水性思考展(1997年)
- [芸術活動]「林十江に捧ぐ」展(1997年)

- [芸術活動]第 1 回 ART BOX CG ポスターグランプリ展入選(1997 年)
- [芸術活動]オペル・デザインコンテスト'97 入選(1997 年)
- [芸術活動]福岡コンピュータ・グラフィックス展入選(1996 年)
- [芸術活動]JACA'96 日本ビジュアルアート特別展入選(1996 年)
- [芸術活動]JACA'95 日本ビジュアルアート展入選(1995 年)
- [芸術活動]JACA'94 日本ビジュアルアート展入選(1994 年)
- [芸術活動]第 5 回柏市文化フォーラム 104 大賞展・TAMON 賞展入選(1994 年)
- [芸術活動]個展:島田裕之 水・世・界展(1993 年)
- [芸術活動]個展:DIGITAL STAGE・WATER LAND 展(1992 年)
- [芸術活動]JACA'90 日本イラストレーション展入選(1990 年)
- [芸術活動]第 7 回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞受賞(1989 年)
- [芸術活動]現代茨城の美術展・出品(1989 年)

### 社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「茨城県美術館協議会」茨城県美術館協議会[委員長]
- 2. 「茨城県芸術祭映像コンクール」茨城県芸術祭映像コンクール[審査員]
- 3. 「茨城県芸術祭美術展覧会」茨城県芸術祭美術展覧会[委員 審査員]
- 4. 「茨城デザイン振興協議会」茨城デザイン振興協議会[顧問]

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年1月
学歴・職歴	北海道大学 理学部 物理学[1981年] 北海道大学大学院 工学研究科 生体工学[1984年] 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984年10月～1990年3月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990年4月～2004年9月) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004年10月～)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会, 人間工学会, 日本特殊教育学会, 計測自動制御学会, 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, 日本音響学会, 日本ME学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目(集中1)[福祉機器・福祉空間入門] (専門科目)生活デザイン演習II, 情報処理の基礎技術I, 感覚の科学, 静止画像処理(初級)a, 静止画像処理(初級)b, 生活デザイン演習I, 情報技術演習I/マイクろコンピュータ・プログラミング入門 (大学院科目)電気工学特論II, 技術と生活総合研究

### 研究業績(2)学会発表など

ニーズに沿った教材を求めて:「ハートネット茨城」(茨城県特別支援教育連盟)、第3号、p4

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	中央大学 文学部 哲学科・社会学専攻[1982年]
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会, 日本社会学会, 日本マス・コミュニケーション学会, 日本タイ学会, 情報通信学会
専門分野	社会情報論、社会学・マス・コミュニケーション論
教育研究概要	地域情報化、地域メディアに関する研究およびタイ東北部の地域情報に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)社会と人間[社会学の初歩] (専門科目)フィールドワークの科学, マス・コミュニケーション論(情報文化), 文化の社会学, 社会文化情報演習II, 社会学特講/情報社会論, メディア・リテラシーII, 情報文化広報プロジェクトII, 音×環境プロジェクト2, 課題図書講読I, 課題図書講読II, 課題図書講読III, 卒業研究(教育:4単位), インターンシップ (大学院科目)社会学演習

### 社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
  1. 「茨城県東海村情報公開・個人情報保護審査会委員」東海村[委員(委員長代理)]
- 学協会での役職
  1. 日本社会情報学会, 学会誌(和雑誌)担当編集委員(2010年05月～)
- 地域協力活動
  1. 社団法人茨城県経営者協会[学外審議会・委員会等]「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2015年04月～)
  2. 社団法人茨城県経営者協会[学外審議会・委員会等]「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2014年04月～)
  3. NPO 法人ふるさと元気塾(2004年06月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク チュラーロンコーン大学[共同研究](2015 年 5 月～9 月:120 日間)

タイ バンコク チュラーロンコーン大学[情報収集](2016 年 3 月～4 月:8 日間)

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	東北大学 工学部 機械工学第二[1983年卒業] 東北大学大学院 工学研究科 機械工学第二[1985年修了]
学位	工学修士[東北大学] 博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会, 日本産業技術教育学会, 日本金属学会, 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマイクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。(2) 中学校技術科教材に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目) 情報処理概論[情報リテラシー], 主題別ゼミナール[技術教育概論] (専門科目) 構造力学, 金属加工演習, 金属加工学, 保育内容の研究(環境), 技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術, 基礎金属加工, 製図 II, 金属加工の応用技術, 教職実践演習(教諭), 卒業研究(教育:4単位), 現代教育の実践的課題 (大学院科目) 金属工学特論, 技術と生活総合研究, 技術科授業設計

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著] 出野洋嗣, 野崎英明, 工藤雄司, 竹野英敏「中学校技術科「材料と加工に関する技術」における安全指導の充実を図る授業モデルの提案」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, 64, 103-116(2015年)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 野崎英明「統計的解釈に基づく断片性能の学習方法」日本機械学会 平成 27 年度 技術と社会部門講演会(長野県長野市)[2015年11月28日]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 学協会での役職



1. 日本産業技術教育学会, 評議員(2011 年 04 月～)
2. 日本産業技術教育学会, 関東支部会理事(2011 年 04 月～)

情報文化課程	氏名 甲斐 教行
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年12月
学歴・職歴	<p>早稲田大学 社会科学部 社会科学科[1985年卒業]  早稲田大学 第二文学部 美術専修[1987年卒業]  東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1990年修了]  東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1997年単位取得満期退学]  東京芸術大学美術学部非常勤講師(1997年4月～2000年3月)  大妻女子大学非常勤講師(1997年4月～2000年3月)  都留文科大学文学部非常勤講師(1997年4月～2000年3月)  順天堂大学スポーツ健康科学部非常勤講師(1997年10月～1998年3月)  青山学院大学文学部非常勤講師(1998年4月～2000年3月)  千葉大学非常勤講師(1999年10月～2002年3月)  茨城大学教育学部助教授(2007年4月より職名変更一准教授)(2000年4月～2011年3月)  青山学院大学文学部非常勤講師(2001年4月～2009年3月)  実践女子大学文学部非常勤講師(2007年4月～2008年3月)  放送大学教養学部非常勤講師(2010年10月～2011年3月)  茨城大学教育学部教授(2011年4月～)</p>
学位	博士(文学)[千葉大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	ピーコ・デッラ・ミランドラ賞、第9回(2000年)(イタリア文化会館)(2000年)
所属学会	中世哲学会, 地中海学会, 美学会, 美術史学会
専門分野	美学・美術史
教育研究概要	<p>近世イタリアの宗教画研究／ファシズム期具象彫刻研究  イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで16世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルッチ、サンティ・ディ・ティート、19世紀後半に活躍した画家アレッサンドロ・フランキの作品研究を行ってきた。現在、20世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード)イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バルッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッサンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズム、</p>

担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[マニエリスムとマニエラ——16 世紀イタリア美術とその思想]</p> <p>(専門科目) 美術史学方法論 III/造形美学/造形理論, 美術作品論 III/西洋美術史 II, 西洋美術史特別演習 I, 表象文化論, 図画工作科内容研究, 西洋美術史 I, メディア批評プロジェクト I, 保育内容の研究(表現), 西洋美術史特別演習 II, メディア批評プロジェクト II, 卒業研究(教育:4 単位), 日本美術実地研究, 古美術実地研究</p> <p>(大学院科目) 西洋美術史研究, 美術文化総合研究, 造形芸術学, 美術教育授業設計</p>
------	---

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共訳]Giorgio Vasari「ジョルジョ・ヴァザーリ『美術家列伝』第四巻」, 中央公論美術出版, pp.325-440(2016 年 02 月 27 日)
2. [単著]甲斐教行「ヴァザーリのルサンチマン—好敵手たちへの非難・歪曲・抹殺—」, ジョルジョ・ヴァザーリ『美術家列伝』第四巻, 433-440(2016 年 02 月 27 日)
3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著【査読あり】]甲斐教行「コッラード・ヴィーニの公共彫刻—モンテカティーニ・テルメおよびテルニの作例について」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 22, 19-52(2015 年 11 月 30 日)
4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著【査読あり】]甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「ブルネレスキと希望」:翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所), 22, 87-135(2015 年 11 月 30 日)
5. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著【査読あり】]アレッサンドロ・ガッリッキオ(日本語対訳:甲斐教行)「アレッサンドロ・ガッリッキオ「パリと日本の間で—福島繁太郎(一八九五—一九六〇年)、コレクター、『フォルム』誌主幹」」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 22, (1)-(28)(2015 年 11 月 30 日)
6. [(MISC)その他記事単著]甲斐教行「アントニオ・ナターリ『模写画』の品格」翻訳, レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展、展覧会図録、東京富士美術館, 20-22(2015 年 05 月 26 日)

### 研究業績(2)学会発表など

- <基調講演> 茨城県近代美術館・美術館アカデミー(現代のミケランジェローフィレンツェの彫刻家フィリッポ・ドブリッラ)(2015 年 02 月)
- <招待講演> 宵のサロン第六回 番外編「愛をめぐる3つの話」(優美なる神話—コレッジョの芸術めぐって—)(2014 年 09 月)
- 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ポントルモ)(2014 年 09 月)
- <基調講演> 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(コレッジョとパルミジャニーノ)(2014 年 07 月)
- <基調講演> 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ミケランジェロ・ブオナローティ)(2014 年 06 月)

〈基調講演〉茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(レオナルド・ダ・ヴィンチ)(2014年06月)  
 〈基調講演〉茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ブルネレスキとイタリア・ルネサンスの巨匠たち)(2014年06月)  
 〈招待講演〉(国外)ARTISTA 2013 プレゼンテーション(フィレンツェの美術史専門誌 ARTISTA、2013年号のプレゼンテーション)(2014年04月)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「美術館アカデミー「現代のミケランジェローフィレンツェの彫刻家フィリッポ・ドブリッラ」」, 2時間, 40名出席, 茨城大学教育学部・茨城県近代美術館

#### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県近代美術館・美術館アカデミー(国内)」, 茨城大学教育学部・茨城県近代美術館(茨城県水戸市)[基調講演](2015年02月)

#### ○ 地域協力活動

1. 茨城県美術館協議会(2015年07月～2017年06月)
2. 茨城県美術館協議会(2013年07月～2015年06月)
3. 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室(2011年04月～)
4. 水戸市芸術文化活性化事業実行委員会(2011年04月～)
5. 茨城県近代美術館友の会(2010年04月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア フィレンツェ 美術史研究所[資料収集](2015年3月～4月:19日間)

イタリア フィレンツェ 美術史研究所[資料収集](2015年4月～5月:16日間)

イタリア フィレンツェ 美術史研究所[資料収集](2015年7月～9月:38日間)

### 科学研究費補助金などの受領

#### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「コッラード・ヴィーニの公共彫刻—政治史的・文化史的解読とカタログ・レゾネ作成」, 330万円(2014年04月01日～2017年03月31日)

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年2月
学歴・職歴	<p>福島大学大学院 地域政策科学研究科[1997年修了]</p> <p>東北大学大学院 工学研究科[1998年その他]</p> <p>京都大学大学院 工学研究科 環境地球工学専攻[2000年修了]</p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000年4月～2004年3月)</p> <p>川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004年4月～2006年9月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2006年10月～2011年3月)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2011年4月～)</p>
学位	博士(工学)[京都大学] 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	<p>第1回アダルファニチャーデザインコンペ/アダル奨励賞(1988)</p> <p>住まいのインテリアコーディネートコンテスト'88(一般の部)/インテリア産業協会会長賞</p> <p>第1回札幌国際デザイン賞/佳作(1992)</p> <p>かわさき産業デザインコンペ 2005/入賞・佳作</p> <p>第7回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞</p> <p>第8回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞2点</p> <p>第9回インテリアデザインコンペ 2012/入選</p> <p>第10回インテリアデザインコンペ 2013/奨励賞・入選</p> <p>第11回インテリアデザインコンペ 2014/奨励賞・入選</p> <p>平成26年度キッチン空間アイデアコンテスト/奨励賞</p> <p>染めQ DIY デザイン 2015/大賞・染めQ賞</p> <p>第19回手帳大賞・商品企画部門/最優秀賞</p> <p>第12回インテリアデザインコンペ 2015/最優秀賞・奨励賞・入選</p> <p>平成27年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞</p>
所属学会	日本建築学会 日本リハビリテーション工学協会
専門分野	デザイン学 リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	<p>①生活環境のユニバーサルデザインの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロダクト(福祉工学, プロダクトデザイン)</li> <li>・建築, インテリア(建築計画, 建築デザイン, インテリアデザイン)</li> </ul> <p>②デザイン思考の実践的研究</p>

	(キーワード)デザイン思考, 福祉工学, 建築計画, ユニバーサルデザイン(プロダクト, インテリア, 建築)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目(集中 1)[福祉機器・福祉空間入門] (専門科目)インテリアデザイン演習, 建築法規, 図法及び製図/図学演習(情報文化), 設計製図 II, 地域活動プロジェクト I, 特別演習 I, ユニバーサルデザイン演習, 設計製図 III, 人間工学, 地域活動プロジェクト II, 特別演習 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)デザイン研究 II, 工芸・デザイン研究, 美術文化総合研究, 工芸・デザイン演習, 美術教育授業設計

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]齋藤芳徳, 他 58 名「高齢者・アクティブシニアの本音・ニーズの発掘と製品開発の進め方」, 技術情報協会, 293-305(2016 年 03 月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]齋藤芳徳・吉田美香「ユニット型特別養護老人ホームにおける共同生活室の環境改善に関する考察」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 64, 35-45(2015 年 06 月)
3. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]齋藤芳徳「寝かせきりや座らせきりの高齢者をつくりだす住環境の検証」, 月刊シニアビジネスマーケット, 129, 74-77(2015 年 04 月)

### 研究業績(2)学会発表など

- <招待講演> 小規模多機能施設「杜のつどい土合」開設記念講演会(講演「高齢者の生きようとする意欲を支える住環境」)(2015 年 03 月)
- <招待講演> 東京都社会福祉協議会(講演「高齢期の住まい方と援助者の関係づくり」)(2014 年 08 月)
- <招待講演, 企画・運営> 2014 年 SIG 姿勢保持講習会(企画・運営・講演「明日から現場で役立つ姿勢保持-高齢者介護施設編」)(2014 年 06 月)
- <パネリスト> 第 20 回バリアフリー2014(ワークショップ講師「浴槽からケアが変わる」)(2014 年 04 月)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

1. [芸術活動(共同)]ぼちふおと(2015 年 07 月)
2. [芸術活動(共同)]PIRIPITA(2015 年 07 月)
3. [芸術活動(共同)]はなまるシート(2015 年 07 月)
4. [芸術活動(共同)]KIRIKOMI(2015 年 07 月)
5. [芸術活動(共同)]minamo(2015 年 08 月)

- \* 染め Q DIY デザイン 2015/大賞
6. [芸術活動(共同)]ペイントでコミュニティデザイン(2015 年 08 月)  
\* 染め Q DIY デザイン 2015/染め Q 賞
7. [芸術活動(共同)]愛する趣味で人とつながる(2015 年 08 月)
8. [芸術活動(共同)]DIY 駐車場(2015 年 08 月)
9. [芸術活動(共同)]伝統文化を継承する可変の間(2015 年 10 月)  
\* 第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/最優秀賞
10. [芸術活動(共同)]患者の心にやさしい病室のデザイン(2015 年 10 月)  
\* 第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/奨励賞
11. [芸術活動(共同)]からくり棚の子ども部屋(2015 年 10 月)  
\* 第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/入選
12. [芸術活動(共同)]キッチンを通じた一人暮らし支援 ～「心」と「体」の健康づくり(2015 年 11 月)  
\* 平成 27 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞
13. [芸術活動(共同)]Mooving-Bar～移動キッチン+スーパーで人と地球にやさしさを提供する(2015 年 11 月)
14. [芸術活動(共同)]みんなの街の”まわる”キッチン～「食」と「人」と「街」がつながる(2015 年 11 月)
15. [芸術活動(共同)]気持ちを”ととのえる”～ふせんでつたえる・つながる(2016 年 1 月)
16. [芸術活動(共同)]消えゆく黒板消しに新しい価値を生み出す～「昼寝」で東大合格者を増やすプロジェクト(2016 年 1 月)
17. [芸術活動(共同)]ZUTTO～ユニバーサルデザインの手帳(2016 年 3 月)
18. [芸術活動(共同)]かきっこ手帳～子どもと大人が手帳を交換して、親子で楽しむ手帳ライフ(2016 年 3 月)
19. [芸術活動(共同)]3 色手帳(2016 年 3 月)
20. [芸術活動(共同)]贈る学生手帳(2016 年 3 月)

### 社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
1. 「JA 泉町会館調査検討会議委員会」常陽産業研究所[委員]
- 兼業・兼職
1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2008 年 04 月～)
2. [非常勤講師] 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校・非常勤講師(2008 年 04 月～)
- 学協会での役職
1. 日本リハビリテーション工学協会, SIG 姿勢保持世話人(2001 年 08 月～)
2. 日本建築学会, 建築人間工学小委員会委員(2004 年 08 月～2016 年 03 月)
- 講演会・シンポジウム

1. 「2015 年 SIG 姿勢保持講習会(国内)」, 日本リハビリテーション協会 SIG 姿勢保持(埼玉県)[招待講演,企画・運営](2015 年 06 月)
2. 「第 21 回バリアフリー2015(国内)」, 大阪府社会福祉協議会(大阪市)[パネリスト](2015 年 04 月)



情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年2月
学歴・職歴	千葉大学大学院 教育学部 小学校教員養成課程[年]
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(茨城大学大学教育センター)(2007年03月27日)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会 全国大学書写書道教育学会 全国教育大学協会書道教育部門会 全日本書写書道教育研究会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。また、書字における幼小連携が円滑に行なわれるための支援方法の検討や教材開発に取り組んでいる。 (キーワード)書写書道教育 書字 手書き文字
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[仮名の書に親しむ] (専門科目)書道 I, 書道 III, 書道 II, 初等国語科教育法研究, 表象文化論, 初等書写内容研究, 子ども文化プロジェクト I, 漢字書法研究, 初等国語科教育法研究, 保育内容の研究(言葉), 初等書写内容研究, 書論, 書道研究法, 子ども文化プロジェクト II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 書写書道教育研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [著書・編者]青山浩之,阿辻哲次,飯島春美,押木秀樹,乙黒義夫,菅野智明,衣笠彰人,齋木久美,高橋正人,橋本恭一,和田俊彦「中学校国語科書写用教科書 新編新しい書写」,東京書籍,(2016年02月15日)

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]2015 中日書法作品交流展 出品(2015年12月)

[芸術活動(単独)]平成 27 年度年度全国大学書道学会会員書作展出品(2015年10月)

[芸術活動(共同)]第 31 回王朝継ぎ紙合同作品展(2015年07月)

### 社会的活動、地域貢献など

## ○ 学協会での役職

1. 全国大学書写書道教育学会, 理事(企画広報局)(2012 年 04 月～2016 年 03 月)
2. 社団法人日本書写技能検定協会, 硬筆書写検定・毛筆書写検定茨城県審査委員(2009 年～)
3. 全日本書写書道教育研究会, 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 「全日本書写書道教育研究会第 56 回東京大会 シンポジウム「手書き文字の果たした役割とこれから」(国内)」, [司会・議長・コンピナー・コーディネータ](2015 年 08 月)
2. 「第 38 回硬筆毛筆書写検定東京夏期大講習会特別講義「書写学習と書字の実情」(国内)」, [招待講演](2015 年 08 月)

**科学研究費補助金などの受領**

## ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「書字学習における幼小連携を円滑にする教材の開発」, 318.1 万円 (2012 年 04 月 10 日～2016 年 02 月 28 日)

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 11 月
学歴・職歴	早稲田大学 教育学部 教育学科[1985 年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学[1987 年修了]
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	日本リハビリテーション工学協会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会, 日本発達心理学会, 日本理科教育学会
専門分野	社会臨床論 各国文学・文学論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報リテラシー], 主題別ゼミナール[学習と研究の基礎演習] (専門科目)情報文化広報プロジェクト I, 映像工房プロジェクト I, 子ども文化プロジェクト I, 音×環境プロジェクト 1, 特別演習 I, 統計の初歩, ウェブ制作(初級)a, ウェブ制作(初級)b, 情報文化広報プロジェクト II, 映像工房プロジェクト II, 子ども文化プロジェクト II, 音×環境プロジェクト 2, 社会臨床演習 I, 社会臨床演習 II, 特別演習 II, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 卒業研究(教育:4 単位)

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [著書・共著]林延哉・高田明典「ヒーローたちの戦うキモチ」, サイゾー, (2015 年)
2. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]斎木健一 林延哉 中西史「図鑑写真のタイプとサイズに関する比較研究:植物図鑑における同定用写真の要件」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 181-188 (2015 年)
3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]林延哉「創作紙芝居アーカイブサイトの運用:第 1 報 サイト構築について」, 茨城大学教育実践研究, **34**, 169-180(2015 年)
4. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]林延哉「MV「桜の木になろう」の内容分析:同一素材から作られた 2 つの作品内容の比較」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), **64**(2015 年)

### 社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 水戸市地域福祉推進委員会, 委員(2015 年 10 月～2017 年 10 月)
2. 水戸市地域福祉推進委員会, 委員(2013 年 10 月～2015 年 10 月)

○ 地域協力活動

1. 千葉県立中央博物館(年度不詳～)

情報文化課程	氏名 小林 祐紀
--------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1980 年 8 月
学歴・職歴	三重県立津西高等学校大学院[1999 年 03 月卒業] 金沢大学 教育学部 人間環境課程教育情報システムコース[2002 年 03 月卒業] 金沢大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻[2004 年 03 月修了] 石川県金沢市内公立小学校・教諭(2008 年 4 月～2015 年 3 月) 金沢大学非常勤講師共通教育科目「教師入門」(2009 年～2014 年)
学位	修士[金沢大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育メディア学会, 日本教育工学会
専門分野	教育学・教育工学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における ICT 活用や情報モラル教育について、研究会を主宰したり、指導・助言を行ったりしています。</li> <li>・急速に学校現場に普及するタブレット端末の活用について研究活動を行っています。</li> <li>・教師のストラテジーに着目した授業研究やコミュニケーション力を育む授業について研究活動を行っています。</li> </ul> (キーワード)授業における ICT 活用、情報教育、情報モラル教育、学び合いを取り入れた授業研究
担当科目	(専門科目)社会と文化 I, 教育の方法と技術, 統計学の基礎, 社会文化情報演習 I, ICT演習, 教育の方法と技術, 社会と文化 II

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]北濱康裕・小林祐紀「中学校理科における生徒の考える力を育むための授業設計-「モーターを回したときに発生する電流」の実践から-」, 石川県教育工学研究会研究紀要, 40, 43-46(2016 年 03 月)
2. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]小林祐紀・村井万寿夫・佐藤幸江・中川一史・渡辺浩美「タブレット端末を利用した 21 世紀型コミュニケーション力育成のための体験型研修教材の開発」, 茨城大学教育実践研究, 第 34, 189-197(2015 年 11 月 30 日)
3. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]中川一史・佐藤幸江・村井万寿夫・小

- 林祐紀「小学校国語科教科書におけるマッピングの活用意図の整理」, 日本教育メディア学会第 22 回年次大会, 178-179(2015 年 10 月 18 日)
4. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]佐藤幸江・村井万寿夫・中川一史・小林祐紀「教員養成系大学の算数科教育法における ICT 活用に関する実態調査」, 日本教育メディア学会第 22 回年次大会, 152-153(2015 年 10 月 18 日)
5. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]村井万寿夫・中川一史・佐藤幸江・小林祐紀「タブレット端末を活用する授業の“イメージシート”の開発」, 日本教育メディア学会第 22 回年次大会, 122-123(2015 年 10 月 18 日)
6. [(MISC)総説・解説(その他)単著]小林 祐紀「社会科歴史学習におけるデジタルコンテンツの活用一子どもたちが自ら学ぶ姿を求めて」, 学習情報研究, 246, 48-51(2015 年 09 月)
7. [(MISC)総説・解説(その他)単著]小林祐紀「ICT 活用はまさに授業研究」, 教育研究, 70, 7, 22-25(2015 年 07 月 01 日)

## 研究業績(2)学会発表など

- Nakagawa,H.,Suzuki,H.,Morishita,J.,Sato,Y.,Murai,M.,Kobayashi,Y., "The Development of a Creation Tool of Report for the Visualization of Thought for Children", World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2223-2227, 2014.
- Murai,M.,Nakagawa,H.,Sato,Y.,Kobayashi,Y., "A Study on the Introduction and Use of Tablet PCs in the Elementary School of Japan", World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2586-2590, 2014.
- <基調講演> 富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践センター学習環境部門研究会(講師)(2014 年 06 月)

## 社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
1. 文部科学省委託 ICT を活用した教育推進自治体応援事業, 専門委員(2015 年～2017 年)
  2. 一般社団法人 日本教育情報化振興会, 「コミュニケーション力育成」事業委員(2015 年～2017 年)

人間環境教育課程	氏名 松坂 晃
----------	---------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 4 月
学歴・職歴	<p>福島大学 教育学部 保健体育専攻[1977 年卒業]</p> <p>筑波大学大学院 体育研究科 健康教育学専攻[1979 年修了]</p> <p>筑波大学体育科学系文部技官(1979 年 4 月～1984 年 3 月)</p> <p>茨城大学教養部講師(1986 年 4 月～1987 年 3 月)</p> <p>茨城大学教養部助教授(1987 年 4 月～1996 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(1996 年 4 月～2000 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2000 年 4 月～)</p> <p>茨城大学教育学部附属特別支援学校長(2009 年 4 月～2012 年 3 月)</p> <p>茨城大学学生就職支援センター長(2013 年 4 月～)</p>
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	North American Society of Pediatric Exercise Medicine American College of Sports Medicine 日本体力医学会 日本体育学会 日本肥満学会 日本栄養改善学会 日本特殊教育学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	<p>子どもの身体活動, 体力運動能力, および肥満に関する研究</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)就業力育成・ステップアップ系科目[仕事と社会], 身体活動[里山ハイキング I(C)], 身体活動[里山ハイキング I(M)]</p> <p>(専門科目)生理学, 体育科教育法研究, 運動処方論, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 小児健康運動学, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)研究と教育—知の往還をめぐって—, 健康生理学特論, 養護学総合研究</p>

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]松坂 晃, 廣瀬孝一「茨城大学学生の就業力に関する現状と課題(2)ー就職活動後ろ倒しの影響ー」, 茨城大学大学教育センター紀要, 5, 45-51

(2015 年 06 月 30 日)

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 松坂 晃「知的障害児のボール運動スキル」第 53 回日本特殊教育学会(東北大学)[2015 年 09 月 19 日]
2. [ポスター発表・国内会議(単独)] 松坂 晃「知的障害のある児童生徒の肥満と運動スキル」第 63 回日本教育医学会(関西学院大学)[2015 年 08 月 23 日]

### 海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・(株)KNT KOREA[インターンシップ受入学生の指導、監督ほか](2014 年 9 月:1 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「知的障害児童生徒の動きの学習習熟度からみた体育学習内容の検討」, 208 万円 (2014 年 04 月 01 日~2018 年 03 月 31 日)



人間環境教育課程	氏名 木村 競
----------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1956年4月
学歴・職歴	<p>東京大学 文学部 哲学[1980年卒業]</p> <p>東京大学大学院 人文科学研究科 哲学[1988年単位取得満期退学]</p> <p>茨城大学 教育学部 助教授(1992年4月～2003年3月)</p> <p>茨城大学 教育学部 教授(2003年4月～)</p>
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会, 日本哲学会, 哲学会, 日本カント協会, 現代風俗研究会, 日本公民教育学会, ハイデガー・フォーラム
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p>教育活動&gt;</p> <p>大学院:教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修(倫理学) 授業:倫理学特論、倫理学演習 特別課題研究指導 大学院共通科目等</p> <p>学部:教育学部・人間環境教育課程・課程共通科目およびコース専門科目 授業:社会と思想、プロジェクト・マネジメント等 卒業研究指導 学校教育教員養成課程・社会選修 授業:倫理学演習、ナショナリズムと社会等 卒業研究指導 教養科目・総合科目 授業:「つながり」の力等</p> <p>&lt;研究活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行為および文化の定型化と変化に関する理論</li> <li>・教員養成における倫理学の役割について</li> <li>・「学級力」を基盤とした学力向上モデルの構築</li> <li>・サステナビリティ学についての学内研究者との共同研究</li> <li>・近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究</li> </ul> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間・文化系科目[つながりの力], 地域志向系科目[自然災害と地域防災]</p> <p>(専門科目)社会と思想(社会選修)/社会と思想(人間共通)免×, プロジェクト・マネジメントA, 倫理学特別演習 I, 倫理学概論, 現代のナショナリズム, 倫理学特別演習 II, 卒業研究(教育:4単位)</p>

(大学院科目)倫理学特論, 倫理学演習
---------------------

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]木村競「学級力の基盤形成としての哲学リテラシー育成プログラム その4」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**(2016年03月)

### 研究業績(2)学会発表など

木村競, 「当事者性、相互性、コンテクスト」(哲学会第53回研究発表大会・2014年11月)

### 社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県生涯学習審議会および茨城県社会教育委員会議」茨城県教育庁[委員]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育庁・茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員(2008年08月～)
2. [非常勤講師] 水戸市医師会看護専門学院・非常勤講師, 8(時間/月)(2001年04月～)
3. [非常勤講師] 鯉渕学園農業栄養専門学校・非常勤講師, 8(時間/月)(2000年10月～)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「いじめを予防する学級づくりに関する実践研究」, 442万円(2014年04月～2017年03月)

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年4月
学歴・職歴	筑波大学大学院 体育研究科 健康教育学[1983年修了] 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983年4月～1984年3月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985年4月～1988年3月) 茨城大学教養部講師(1988年4月～1989年3月) 茨城大学教養部助教授(1989年4月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年12月) 茨城大学教育学部教授(2003年1月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会, 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[卓球I(C)], 身体活動[バドミントンII(C)], 身体活動[ソフトボールII(C)] (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, スポーツ医学, 水泳/水泳/水泳指導法/水泳指導法/アクアフィットネス, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), スキー/スキー/スキー指導法/スキー指導法, 野外運動指導法/野外運動/野外運動, 救急処置法/運動障害救急法/運動障害救急法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)バイオメカニクス特論, 体育科学総合研究, バイオメカニクス演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

富樫泰一「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引き(三訂版)」, 株式会社アイフィス, 7-10, 2014.

## 研究業績(2)学会発表など

富樫泰一,「前後 2 分割型ひずみゲージ式新型競泳スタート台の試作」(第 23 回日本バイオメカニクス学会大会・2014 年 09 月)

## 研究業績(3)芸術・体育系の活動

<審判員>公益財団法人全日本スキー連盟第 30 回スキーパトロール技術競技大会(群馬県・草津国際スキー場)(2015 年 03 月)

<その他>公益財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術員研修会主任講師(2014 年 11 月)

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 筑波大学体育専門学郡・非常勤講師(専門基礎科目・水泳実習(臨海))(1988 年 04 月～2015 年 07 月)

### ○ 学外教育

1. [出前授業]「大成女子高等学校 平成 27 年度 コロキウム」, 1 時間, 40 名出席, 大成女子高等学校

### ○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「日本スキーパトロール協議会(理事長)」(2013 年 07 月～)

2. [学外審議会・委員会等]「全国スキー安全対策協議会(調査委員会委員)」(2013 年 03 月～)

3. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部専門委員(安全対策部)」(2012 年 09 月～)

4. 「財団法人茨城県体育協会評議員」(2012 年 04 月～)

5. [ボランティア活動]「赤十字救急法奉仕団(救急法指導員)」(2011 年 04 月～)

6. 茨城県スキー連盟(2015 年 11 月)

7. 常総市防災ボランティアセンター(2015 年 09 月～2015 年 11 月)

8. 水戸市立赤塚中学校(2015 年 09 月)

9. 日本赤十字社茨城県支部(2015 年 08 月)

10. 茨城県教育研修センター(2015 年 08 月)

11. 日本赤十字社茨城県支部(2015 年 03 月)

12. リリー保育福祉専門学校(2015 年 02 月)

13. 水戸市保健センター(2015 年 02 月)

14. リリー保育福祉専門学校(2015 年 01 月)

人間環境教育課程	氏名 加藤 敏弘
----------	----------

### 教員履歴など

現 職	教授
生年月	1961 年 6 月
学歴・職歴	<p>筑波大学 体育専門学群 体育原論[1984 年卒業]  筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学[1986 年修了]  国立高岡短期大学助手(1986 年 4 月～1990 年 3 月)  茨城大学講師教育学部(保健体育講座)(1990 年 4 月～1994 年 3 月)  茨城大学助教授教育学部(保健体育講座)(1994 年 4 月～1996 年 3 月)  茨城大学助教授教育学部(知識経営講座)(1996 年 4 月～2004 年 3 月)  国立大学法人茨城大学助教授教育学部(2004 年 4 月～2007 年 3 月)  国立大学法人茨城大学准教授教育学部(2007 年 4 月～2015 年 3 月)  国立大学法人茨城大学教育学部教授 (2015 年 4 月～)  国立大学法人茨城大学大学院教育学研究科修士課程研究指導教員 (2015 年 4 月～)</p>
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会, 日本体育・スポーツ哲学会, 日本スポーツ教育学会, 日本養生学会, 人体科学会
専門分野	コーチ学(バスケットボール) 技能普及教育論 体育原理
教育研究概要	<p>ナレッジマネジメントとしてのコーチング  ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくりの有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD(ファカルティ・ディベロップメント)、そしてビジネス場面への応用も試みている。</p> <p>(キーワード)コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理</p>

担当科目	<p>(教養科目)身体活動[バスケットボール I(C)], 身体活動[ボディーワーク II(M)], コミュニケーション論[文章作成法1], 身体活動[レクリエーションスポーツ(M)], 地域志向系科目(集中 5)[アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～]/身体・行動系科目</p> <p>(専門科目)技能伝達法(教職共通)/技能伝達法[人環用教職], バスケットボール/バスケットボール指導法/バスケットボール, ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I(健康), 体育学概論, 総合演習[人環用], スポーツ特別演習 II, チームワーク&amp;コーチング論, 体育科教育法研究[後期], コミュニケーション演習【全教科】/コミュニケーション演習 (人間・共通), 知識経営特別演習 I, スポーツ特別演習 I, スポーツ実習 I, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)体育哲学演習, 体育哲学特論</p>
------	--

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>(分・単) 加藤敏弘 (2014) 「育成年代に特に注意したいこと」「バスケットボールの特性と基本動作」「ボールコントロールの指導」「遊びの考え方」「ミニゲームの考え方」「外傷予防とコンディショニング」「バスケットボールの歴史と世界事情」公益財団法人日本バスケットボール協会/佐々木三男・倉石平・加藤敏弘・日高哲朗・加藤大仁(編)石川俊紀他27名のうち5番目『バスケットボール指導教本改訂版上巻』(大修館書店)35-45頁・66-67頁・74-91頁・122-123頁・129-137頁・144頁・155-195頁, 211頁.</p>
<p>(共) 森田勝・吉野聡・加藤敏弘 (2014) 「ボールを持たないときの動きに焦点をあてたバスケットボールの授業モデル」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』第63号, 437-455頁.</p>
<p>(単) 加藤敏弘 (2014) 「茨城県バスケットボールスクールの成果と課題」『茨城大学教育学部紀要(教育科学)』第63号, 457-476頁.</p>
<p>(共) 加藤敏弘・新保淳 (2014) 「バスケットボール指導者の指導観の変容過程: 茨城県バスケットボールスクールの指導を体験して」『教科開発学論集』(愛知教育大学・静岡大学)第2号, 117-127頁.</p>
<p>(共) 加藤敏弘・上地勝・新保淳 (2015) 「バスケットボールスクールの新たな指導体験がコーチングに与える影響—状況判断能力の育成に着目して—」『教科開発学論集』(愛知教育大学・静岡大学)第3号, 113-123頁.</p>
<p>(共) 吉野聡・加藤敏弘・篠田明音・斎藤拓真・宇井俊介・飯塚明彦・佐藤竜也(2015)「学習者の自己評価による球技の種類と各型に位置づく類似の行為」『体育学研究』第60巻第2号, 511-525頁.</p>

### 社会的活動、地域貢献など

<p>○ 学協会での役職</p> <p>2015年4月～ 全日本大学バスケットボール連盟常任理事広報部長</p> <p>2015年4月～ 一般社団法人茨城県バスケットボール協会理事</p>
--

2015 年 6 月～ 公益財団法人日本バスケットボール協会技術委員会委員指導者養成部会部会長

○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]†)

2012 年 7 月～ 茨城県立中央高等学校評議員

2012 年 11 月～ 茨城県バスケットボールスクール

2013 年 6 月～ 第 74 回茨城国体競技運営専門委員会委員

人間環境教育課程	氏名 賀来 健輔
----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1964年7月
学歴・職歴	<p>日本大学 法学部 政治経済[1988年]</p> <p>日本大学大学院 法学研究科 政治学[1995年03月単位取得満期退学]</p> <p>岩手大学人文社会科学部講師、助教授(1995年4月～2000年3月)</p> <p>茨城大学教育学部准教授(2000年4月～2011年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2011年4月～)</p>
学位	政治学修士[日本大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本政治学会 日本行政学会 日本地方自治学会 日本地方自治研究学会 日本公共政策学会
専門分野	行政学
教育研究概要	<p>行政学、地方自治論、自治体広報・広聴論、政治学（地方自治体の政策過程への住民の参加を主な研究のテーマとしている。）</p> <p>(キーワード)住民参加、政治参加、自治体広報・広聴活動、住民参加の制度設計など</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[大学で学ぶことを学ぶ]</p> <p>(専門科目)現代の地方自治、政治学概論/現代社会の構図、環境と社会、現代社会と行政、環境政策論、卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)政治学特論</p>

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]「条例の制定又は改廃の直接請求制度—来し方行く末の残された課題—」, 『政経研究』, 第52, 第2, 147-164(2015年09月15日)

**社会的活動、地域貢献など**

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 日本大学法学部・非常勤講師(2005年04月～)



人間環境教育課程	氏名 伊藤 孝
----------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年10月
学歴・職歴	山形大学 理学部 地球科学[1987年卒業] 筑波大学大学院 地球科学研究科 地質学[1993年修了]
学位	博士(理学)[筑波大学大学院] 理学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	第26回高知出版学術賞「海底マンガン鉱床の地球科学」(臼井 朗・高橋嘉夫・伊藤 孝丸山明彦・鈴木勝彦), 2016年3月29日, 公益財団法人高知市文化振興事業団
所属学会	日本地学教育学会 資源地質学会 日本地球化学会 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な地球科学[地球表層の環境とその変遷] (専門科目)生活科内容研究, 環境地球科学, 地学実験A, 総合演習[人環用], 環境特別演習 II, 環境科学総論, 地学野外実習/地学野外実習, 地学実験B, 初等理科内容研究, 岩石学, 地球科学演習, 天文学, 環境特別演習 I, 地学演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)研究と教育—知の往還をめぐって—, 自然科学総合研究, 地学特論, 地学特別実験

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]野澤春菜・伊藤 孝・小松隆一「小学校複式学級での環境・防災教育に関する授業実践の一例:鹿児島県瀬戸内町立嘉鉄小学校における教育ボランティア体験にもとづいて」, 茨城大学教育実践研究, 34, 199-209(2015年11月)
- [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤 孝・上栗伸一・片口直樹・大辻 永・橋浦洋志「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践-1:地学と美術編」, 茨城大学教育実践研究, 34, 211-224(2015年11月)

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Ito, T. and Komuro, K. "Geologic and Paleooceanographic Settings, Radiolarian Stratigraphy, and REE Geochemistry of the Neogene Bedded Manganese Oxide Deposits in the Northeastern Japan Arc" International Workshop on Marine Manganese Minerals: Geology, Geochemistry, Microbiology, Exploration, and Economics () [2016 年 03 月 18 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 伊藤 孝・上栗伸一・片口直樹・大辻 永「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践: 地学と美術編」日本地学教育学会全国大会福岡大会(福岡教育大学) [2015 年 08 月 22 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 伊藤 孝「再検討: 海底マンガングル床の Sr 同位体組成」日本地球惑星科学連合 2015 年大会(幕張メッセ) [2015 年 05 月 27 日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 伊藤 孝「災害時「緊急避難所」としての学校: 石巻市蛇田小学校の場合」第3回地球文明研究会(キャンパス・イノベーションセンター) [2015 年 04 月 18 日]

### 研究業績(3) 芸術・体育系の活動

北西オーストラリア地域における地質学的研究(2001 年)  
 琵琶湖における硫黄・ストロンチウム同位体地球化学的研究(1998 年)  
 北関東における地質学・地球化学的研究(1995 年)  
 北西太平洋, フィリピン海における海洋底マンガングル床の研究(1987 年)

### 社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
  1. [兼業] 独立行政法人海洋研究開発機構横須賀本部・海底資源研究開発センター資源成因研究グループ・招聘上席研究員, 15(時間/月)(2014 年 06 月～2016 年 03 月)
- 学協会での役職
  1. 日本地学教育学会, 常務委員・編集委員会委員長(2015 年 07 月～2016 年 6 月)

### 海外出張・海外研修・内地研修など

ガーナ アクラ ガーナ大学[調査活動](2015 年 11 月～12 月:12 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

基盤研究(A)(海外学術調査)(26257211)「地球史海洋底断面復元プロジェクト: 太古代から原生代への環境大変動解明」(平成 26～29 年度, 研究代表者 清川昌一)研究分担者  
 挑戦的萌芽研究(26560086)「日本の学校教育における防災教育の体系化・スタンダードの構築」(平成 26～27 年度, 研究代表者 藤岡達也)研究分担者  
 基盤研究(C)一般(26381251)「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(平成 26～28 年度, 研究代表者 伊藤 孝)  
 国立研究開発法人海洋研究開発機構戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代海洋資源調査技術(平成 27～, 研究代表者 白井朗)研究分担者

人間環境教育課程	氏名 阿部 信一郎
----------	-----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1966年9月
学歴・職歴	東京水産大学大学院 資源育成研究科 博士課程 単位取得満期退学 (1995年3月)
学位	博士(水産学)
学位	
受賞歴	日本水産学会論文賞 (2012年3月) Tsuruta, T., Yamaguchi, M., Abe, S. & Iguchi, K. (2011). Effect of fish in rice-field culture on the rice yield. <i>Fisheries Science</i> 77; 95-106.
所属学会	日本藻類学会、日本珪藻学会、水産増殖学会
専門分野	生態・環境
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)地球環境論, 保全生物学, 環境科学実験, 水環境論 (大学院科目)国内実践教育演習, 地域自然環境特論/地域生態学特論, 地域自然環境演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

- [研究論文(学術雑誌)共著]Iguchi K., Shinagawa T., Tsuruta T., Natsumeda T., Konishi K. & Abe S. "Differung wariness for approaching humans among cormorant migrans advancing into rural or urban habitats.", *Journal of Agricultural Science*, **7**, 11, 180-188(2015年10月01日)
- [研究論文(学術雑誌)共著]坂西芳彦・阿部信一郎・小松輝久「佐渡島両津湾における海草群落の分布下限水深」, *藻類*, **63**, 85-89(2015年07月10日)
- [研究論文(学術雑誌)共著]Tsuboi J, Abe S, 中 9 名, Iguchi K. Exposure of a herbivorous fish to <sup>134</sup>Cs and <sup>137</sup>Cs from the riverbed following the Fukushima disaster. *Journal of Environmental Radioactivity* 141: 32-37 (2015年01月01日)
- [研究論文(学術雑誌)共著]高田宜武・梶原直人・阿部信一郎・井関智明・八木佑太・澤田英樹・齋藤 肇・望月翔太・村上拓彦「本州日本海沿岸の砂浜汀線域におけるフジノハナガイと他の二枚貝類の分布」, *VENUS*, **73**, 51-64 (2015年01月01日)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 阿部信一郎・棗田孝晴・黒田 暁・井口恵一朗「奄美大島 役勝川の栄養塩供給源はどこにあるのか」日本藻類学会第 40 回大会(日本歯科大学 生命歯学部)  
[2016 年 03 月 20 日]

## 社会的活動、地域貢献など

1. クリーンアップひぬまネットワーク理事
2. 高梁川生態系回復に向けた検討会委員

## 科学研究費補助金などの受領

1. 挑戦的萌芽研究「希少魚リュウキュウアユの絶滅回避を実現する保全施策運用技術の開発」分担(H26～28)
2. 基盤研究(B)「河川工作物が底生魚類の個体群・群集に及ぼす生態的影響の多面的評価手法の確立」分担(H28～)

人間環境教育課程	氏名 関友作
----------	--------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1964年12月
学歴・職歴	一橋大学 社会学部 社会理論課程 (社会言語学)[1987年卒業] 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 システム科学専攻[1996年修了] 日本鋳業 株式会社(現・JX 日鋳日石エネルギー(株))(1987年4月～1990年3月)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会 テクニカルコミュニケーター協会 教育システム情報学会 日本認知科学会
専門分野	教育工学 認知科学 その他
教育研究概要	(キーワード)テクニカル・コミュニケーション 理解しやすい説明の方法 文書情報の理解(紙・電子文書)
担当科目	(教養科目)文明・技術系科目[システムとしてみる社会] (専門科目)データ解析法, 情報の収集と活用, 情報編集法, 情報処理の基礎技術 II, 心理学文献講読 III, 知識経営特別演習 (大学院科目)人間システム基礎論 II, 認知心理学演習

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] Hisashi OTSUJI, Yusaku SEKI, Young-Shin PARK "A Handmade Graph to Imply the Global Warming: To Show the Urgent Issue Based on the Local Data" 2015 Kanto Regional Conference of SJST (Ibaraki University, Japan) [2015年12月05日]

### 社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本教育工学会, 国際交流委員(2012年09月～)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(分担)「電子書籍の表示・操作特性を活かした読解方略の検討」, 370

万円（2014 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日）

人間環境教育課程	氏名 郡司 晴元
----------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 4 月
学歴・職歴	京都大学 理学部[1992 年卒業] 京都大学大学院 理学研究科[1994 年 03 月修了] 京都大学大学院 理学研究科[1998 年 07 月単位取得満期退学] 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 8 月～2003 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 4 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 4 月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会 日本環境教育学会 子どもと自然学会 日本霊長類学会 日 本人類学会 日本環境共生学会
専門分野	人類学 環境教育
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究して います。 2. 動物園・博物館・科学館などの連携による効果的な教育について実践も交え て教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化について研究しています。  (キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(教養科目)コミュニケーション論[文章作成法1] (専門科目)情報化社会の諸問題, 環境教育演習, 生活の中の環境問題, 教育に おける平和学, 知識解析論, 環境教育論【全教科】/環境教育論, 卒業研究(教育: 4 単位) (大学院科目)理科教育学演習, サステイナビリティ教育特論 I, 理科教育学特論, 理科授業設計

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC) 総説・解説(商業誌) 単著] 郡司晴元「XBee で CAT をワイヤレス化」, CQhamradio, **71**, 1, 114-117(2016 年 01 月 01 日)
2. [研究論文(学術雑誌) 単著 【査読あり】] 郡司晴元「動物園との連携による大学院授業での骨格標

本作製法—地域教育システムの充実を目指して—, 科学教育研究, **39**, 3, 225-232(2015 年 09 月 10 日)

3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]郡司晴元「大学授業での使用事例から考察する電子黒板の特長」, 茨城大学大学教育センター紀要, 5, 25-34(2015 年 05 月 08 日)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 酒井くるみ・郡司晴元「学校教育と動物園の教育活動における連携—歴史的背景からの考察—」子どもと自然学会 第 23 回湘南大会(湘南学園小学校) [2015 年 12 月 06 日]

2. [ポスター発表・(共同)] 郡司晴元・佐藤瑞穂「地域における環境教育実践の継続的な実施に携わった大学生の成長」日本環境共生学会第 18 回学術大会(茨城大学農学部)[2015 年 09 月 27 日]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [公開講座] 茨城大学生涯学習教育研究センター・茨城大学偕学苑一般公開講座講師(2015 年 05 月)

2. [出前授業] 土浦日本大学高等学校・模擬授業講師(2015 年 06 月)

3. [兼業] 茨城県教育委員会・講師(2015 年 9 月)

4. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2015 年 10 月)

5. [兼業] 山王教育会・講師(2015 年 10 月)

### ○ 学協会での役職

1. 子どもと自然学会, 理事(2012 年 4 月～)

2. 茨城県シェアリングネイチャー協会, 理事(2013 年 4 月～)

### ○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城大学教育学部附属幼稚園平成 27 年度研究会」, 講師(2015 年 11 月)



人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 8 月
学歴・職歴	琉球大学 教育学部 中学校教員養成課程保健体育科専攻[1992 年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科[1995 年修了] 筑波大学大学院 医学研究科[1999 年修了] 茨城県立中央看護専門学院非常勤講師(1996 年 4 月～1999 年 3 月) 茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月) 筑波大学助手社会医学系(1999 年 4 月～2001 年 9 月) 茨城大学助教授教育学部(2001 年 10 月～2007 年 3 月) 茨城キリスト教大学非常勤講師(2002 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城大学准教授教育学部(2007 年 4 月～)
学位	博士(医学)[筑波大学大学院] 体育学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本公衆衛生学会, 日本疫学会, 日本民族衛生学会, 日本健康教育学会, 日本学校保健学会, 日本体力医学会, 日本教育保健学会
専門分野	応用健康科学 公衆衛生学・健康科学 学校保健学 健康教育 疫学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	(教養科目)身体活動[フィジカルフィットネスⅡ(M)], 身体活動[ボディーワークⅠ(M)], 身体活動[フィジカルフィットネスⅠ(T)] (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, 健康運動指導実習, スポーツ医学, 総合演習[人環用], 健康特別演習Ⅱ, 陸上競技方法論/陸上競技方法論(健康コース), 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技(健康コース), 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論(環境コース)/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論(心理), 健康特別演習Ⅰ, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)人間システム基礎論Ⅱ, 学校保健特論Ⅰ, 学校保健管理演習/学校保健概論(中教科:保体選修)/学校保健概論(スポーツコース)/学校保健概論(健

康コース), 体育科学総合研究
-----------------

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]伊藤太一, 上地勝, 渡邊將司「男子陸上競技選手における心理的競技能力に関する研究」, 陸上競技研究, 101, 18-26(2015年06月30日)

### 研究業績(2)学会発表など

#### ○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 上地 勝「子どもの健康リスクとレジリエンス」第13回日本教育保健学会課題別セッションI(茨城大学(水戸))[2016年03月05日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 荒井信成, 上地 勝「高校生の健康リスク行動とレジリエンスに関する縦断的検討」第74回日本公衆衛生学会総会() [2015年11月]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 上地 勝, 高倉 実, 荒井信成, 宮城政也「高校生における多重健康リスク行動の地域比較」第74回日本公衆衛生学会総会(長崎)[2015年11月]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 荒井信成, 上地 勝「高校生における健康リスク行動の継続とレジリエンスの関連」第62回日本学校保健学会(岡山)[2015年11月29日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 上地 勝, 高倉 実, 宮城政也, 栗原 淳, 荒井信成「高校生における抑うつ症状と多重健康リスク行動の関連」第62回日本学校保健学会(岡山)[2015年11月29日]
6. [口頭発表(基調)・] 高倉 実, 濱畑有衣子, 上地 勝, 栗原 淳「青少年の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタル尺度の作成」第62回日本学校保健学会(岡山)[2015年11月28日]

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「ひたちなか市元気アップ事業」ひたちなか市健康推進課[講師]
2. 「平成27年度専門研修(短期研修)」福岡県体育研究所[講師]
3. 「学校災害防止調査研究委員会」独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部[委員]
4. 「保健学習推進委員会」財団法人 日本学校保健会[委員]
5. 「平成27年度 健康教育指導者養成研修 健康コース」独立行政法人教員研修センター[講師]

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 水戸看護福祉専門学校・非常勤講師(2015年04月～2017年03月)

#### ○ 学協会での役職

1. 日本民族衛生学会, 評議員(2003年01月～)

#### ○ 学外教育

1. [その他]「茨城県体育授業アドバイザー「陸上運動」水戸市立下大野小学校」, 2時間, 40名出席, 茨城県教育委員会

2. [その他]「茨城県体育授業アドバイザー「陸上運動」高萩市立高萩小学校」, 2 時間, 70 名出席, 茨城県教育委員会
  3. [自治体での社会教育]「ひたちなか市生涯スポーツ指導者講習会」, 2 時間, 60 名出席, ひたちなか市生涯学習課
  4. [出前授業]「牛久高等学校出前授業「ボディワーク」」, 1 時間, 30 名出席, 茨城県立牛久高等学校
- 地域協力活動
1. 東海村消防本部(連携協定あり)(2007 年 10 月～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ サンディエゴ サンディエゴ大学[資料収集](2015 年 8 月～9 月:5 日間)

### 科学研究費補助金などの受領

- 共同研究・受託研究
1. [その他]「視覚障害者用運動支援システム開発におけるゲーム性を持たせた運動プログラムの技術支援」, 28.6 万円(2014 年 04 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 渡邊 将司
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 5 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース[2001 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻[2006 年 03 月修了] 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006 年 4 月～2007 年 3 月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009 年 4 月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008 年 11 月), Roy Acuff ACSM Abstract Award (2005 年 05 月)
所属学会	National Strength and Conditioning Association, American College of Sports Medicine, 日本トレーニング科学会, 日本発育発達学会, 日本成長学会, 日本体力医学会, 日本陸上競技学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード)発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)身体活動[屋外ボールゲーム II(C) ?], 身体活動[屋外ボールゲーム II(C)?? ?], 身体活動[屋内ボールゲーム II(C) ?] (専門科目)体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), 形態学, 保健体育総合演習, 保健体育特別演習 II, 陸上競技方法論/陸上競技方法論(健康コース), 陸上競技指導法/陸上競技/陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技(健康コース), 測定評価, 保健体育特別演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)形態学特論, 体育科学総合研究, 形態学演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]楠元みず紀, 渡邊将司, 田村真理子「早生まれで体力が

- 高い小学生の特徴－学年別の特徴－, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 65, 63-70(2016年03月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]森奈々実, 渡邊將司, 巽 申直「剣道におけるプライオメトリックトレーニングの有効性」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 65, 55-61(2016年03月)
  3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小野寺宏基, 渡邊將司「サッカーにおけるタレント発掘・育成に関する文献研究」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 65, 43-53(2016年03月)
  4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]岩本美咲, 渡邊將司「足アーチ構造と跳躍能力との関係」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 65, 37-42(2016年03月)
  5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤 晶, 渡邊將司, 田村真理子, 弓削真理子「小学生における痩せと体力との関係」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), 65, 27-36(2016年03月)
  6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]加藤和樹, 繁田 進, 東川安雄, 伊藤静夫, 小林敬和, 岩壁達男, 渡部 誠, 櫻井智野風, 井筒紫乃, 沼澤秀雄, 櫻田淳也, 渡邊將司, 船橋昭太, 熊原誠一, 豊田裕浩, 平山公紀, 横山巧機「中学陸上競技者におけるコントロールテスト結果と競技成績の関係」, 陸上競技研究紀要, 11, 27-31(2016年03月01日)
  7. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]渡邊將司, 森丘保典, 伊藤静夫, 三宅 聡, 繁田 進, 尾縣 貢「日本代表選手の青少年期における運動遊び経験およびトレーニング環境－日本代表選手に対する軌跡調査－」, 陸上競技研究紀要, 11, 4-15(2016年03月01日)
  8. [研究論文(学術雑誌)共著]伊藤太一, 上地 勝, 渡邊將司「男子陸上競技選手における心理的競技能力に関する研究」, 陸上競技研究, 101, 18-26(2015年07月)

## 研究業績(2)学会発表など

### ○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 青山友子, 引原有輝, 渡邊將司, 若林 斉, 塙 智史, 麻見直美「乳幼児期の運動発達と児童期の身体活動量との関係」日本発育発達学会() [2016年03月06日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田村真理子, 渡邊將司「小学生における学校内・外の身体活動と体力との関係」日本発育発達学会() [2016年03月06日]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 塚田友萌美, 渡邊將司, 吉澤洋晃, 田村真理子「小学生における運動技能の自己評価と他者評価との一致度」日本発育発達学会() [2016年03月06日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 渡邊將司, 宮部恵里香, 塚田友萌美「幼児における鬼遊びの運動教評価と継続実施による体力向上効果」日本発育発達学会(神戸大学) [2016年03月06日]

## 社会的活動、地域貢献など

### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 東海村立幼稚園・こども園教育研究会・アドバイザー(2015年04月～2016年10月)
2. [兼業] 日本陸上競技連盟・普及育成委員(2013年06月～2015年06月)
3. [兼業] 茨城陸上競技協会・理事(2010年04月～)

4. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師(臨海実習・からだの成長)(2010年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本陸上競技学会, 企画委員(2014年11月～)

2. 日本陸上競技連盟, 普及育成委員(2011年04月～)

○ 学外教育

1. [その他]「体育授業アドバイザー(陸上運動)」, , ,

2. [その他]「臨海実習」筑波大学における集中授業」, , ,

3. [その他]「からだの成長」筑波大学における集中授業」, , ,

4. [その他]「体育授業アドバイザー(陸上運動)」, , , 茨城県教育委員会

5. [自治体での社会教育]「東海村立石神幼稚園 体育アドバイザー」, , ,

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日立第一高等学校附属中学校 健康教育講座(国内)」, [その他](2015年11月)

2. 「銚田市スポーツ推進委員連絡協議会」, [その他](2015年01月)

3. 「行方市スポーツ少年団強化支援事業兼指導者講習会」, [](2015年01月)

#### 海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ アムステルダム・メルキュールホテル、アムステルダム RAI コンベンションセンター[研究打合せ、学会参加](2014年6月～7月:5日間)

#### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「幼少期の運動スキルや体力は、思春期の身体活動状況の予測因子となるか?」, 429万円(2013年04月～2016年03月)

○ 共同研究・受託研究

1. []「平成27年度幼児期の運動に関する指導参考資料作成事業(幼児期における鬼遊びの運動強度と継続効果に関する研究)(代表)」, 45.3万円(2015年04月～2016年03月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 篠田 明音
------------------	----------

**教員履歴など**

現 職	講 師
生年月	1976 年 12 月
学歴・職歴	東京女子体育大学 体育学部 体育学科[1999 年 03 月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻 生活健康系コース (保健体育)[2003 年 03 月修了] 東京都渋谷区 青山サンクラブ(体操クラブ)(1999 年 4 月～2000 年 3 月) 栃木県黒磯市 東那須野中学校(保健体育)非常勤講師(2003 年 4 月～2004 年 3 月) 創志学園 愛媛女子短期大学(2004 年 4 月～2007 年 3 月) 仙台白百合女子大学(2007 年 4 月～2009 年 3 月) 朴沢学園 仙台大学(2009 年 4 月～2011 年 3 月)
学位	体育学修士
受賞歴	平成 8 年 8 月 全日本高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 大学の部:コンクール部門、NHK 賞(主題のすぐれた展開・構成) 作品名「阿吽(あうん)」表彰機関:(社)日本女子体育連盟 平成 10 年 8 月 全日本高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 大学の部:コンクール部門、特別賞(主題にふさわしい動きの発見) 表彰機関:(社)日本女子体育連盟
所属学会	日本スポーツ運動学会 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会 会 日本体育・スポーツ哲学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	(キーワード)表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	(専門科目)コーチング論 I

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

[論文]

平成 18 年 6 月 (日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門 舞踊研究会 第 8 号 pp. 10～27)

「ダンスの授業における学習者の動きの発生に関する事例研究～牛山による実践場面を中心に～」

篠田 明音、大橋 奈希左

[著書]

平成 20 年 4 月 単著(分担)

『子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」』保育出版社 pp.11-12

[第 8 章] 子どもの運動指導の実際：子どものマット遊びを指導する

## 研究業績(2)学会発表など

平成 14 年 8 月 (日本体育・スポーツ哲学会)

「ダンス指導に関する構造論的考察—牛山の実践における学習者の動きに着目して—」

篠田 明音、大橋 奈希左

平成 18 年 9 月 (日本体育・スポーツ哲学会)

「表現運動・ダンスにおける課題学習についての一考察」

大橋 奈希左、篠田 明音

## 社会的活動、地域貢献など

平成 24 年 6 月 笠間市立笠間小学校、「体育アドバイザー(種目:ダンス・表現)」於:水戸市笠原町 978 番 6

平成 24 年 7 月 一般財団法人 日本幼少年体育協会「手軽に楽しめる運動遊び」於:仙台市海洋泉センター

平成 25 年 8 月 茨城県学校体育実技指導者講習会、種目名「表現リズム遊び・表現運動」於:茨城県武道館



人間環境教育課程	氏名 曾我 日出夫
----------	-----------

### 教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	京都大学 理学部 数学[1972 年卒業] 大阪大学大学院 理学研究科 数学[1979 年博士後期課程修了] 茨城大学教育学部教授(1992 年 4 月～2014 年 3 月) 茨城大学大学教育研究開発センター長(2002 年 5 月～2005 年 3 月) 茨城大学学長特別補佐(2005 年 4 月～2006 年 3 月) 自然系基礎教育専門部会長(2006 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学教育学部特任教授(2014 年 4 月～)
学位	理学博士[大阪大学] 理学修士[大阪大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	基礎解析学 数理物理・物性基礎
教育研究概要	<p>1. 教育について 1979～95 年頃は、教育学部の教員養成部門において、数学教員の養成教育に携わってきた。その後(1996)、非教員養成部門(0免課程)の発足とともに、その課程の担当に移動し、現在に至っている。移動後は具体的な現象を扱う授業担当が多くなった。1994 年教育学研究科(修士課程)の数学教育専修が発足して以来、その解析学の指導教授となって現在に至っている。2000 年より、(茨城大学の)理工学研究科の博士後期課程(情報システム科学専攻)にも指導教授として参画している。2001 年以後は、全学の教養教育の運営に携わっており、2001 年はその運営組織(大学教育研究開発センター)の副センター長、2002～04 年にはセンター長(教育学部と兼任)についていた。その間、「質の保証」を目指した教育改革を推進した。特に、2005 年度より、工学部初年次生を対象として、下位グループ引き上げを目指した理系基礎教育の教育改革プロジェクト(大学教育研究開発センターの取り組み)の統括者となり、微積分、物理学等の基礎教育について、新しいやり方を工学部等の教養教育カリキュラムに導入した。</p> <p>2. 研究について 全体として偏微分方程式に関係する研究を行っている。特に、波動に関わる数理物理学の問題を研究しており、その最も主要なものは Lax-Phillips 型の散乱論に関するものである。1980～90 年頃は、波動方程式を対象として、散乱核の情報から散乱物体の情報を得ようという逆問題を研究していた。その中で最も大きな成果は、物体が凸であることの特徴付けなどを行ったことである。その後、弾性方程式に対して Lax-Phillips 型の散乱問題を考え、未整備であった基礎事項をつくるとともに、逆問</p>

	<p>題において弾性方程式固有の現象があることを明らかにした。この方面の研究は現在も続けており、Raylei 波などの表面波に焦点をあてた散乱問題を考察している。最近の結果として、表面波を抽出するような散乱核の表現式を得ている。上記の逆問題との関連で、パラメータをもつ振動積分の分析も行った。これは、いわゆる stationary phase method で扱われる振動積分を、漸近展開を通さずに解析したものであり、これ自身で独立して意味のある結果である。さらに、この逆問題との関係で取り組んだテーマとして、漸近解の構成がある。一般的な弾性方程式に対して、具体的に漸近解を構成したりしている。</p>
	(キーワード) 偏微分方程式、数理物理学、散乱逆問題
担当科目	<p>(教養科目) 文明・技術系科目 [技術の開発と社会の変容]  (専門科目) 応用線形代数学/最適状態の解析法, 組織の合意, 科学技術と社会, 保育内容の研究(環境), 応用解析学 I/環境科学への数学, 教育における平和学, 複雑系の適応行動, 卒業研究(教育:4 単位)  (大学院科目) 解析学特論, 解析学演習</p>

#### 研究業績(1) 論文・著書・翻訳など

##### ○ 著書・論文等

- [単行本(一般書)・単著] 曾我日出夫「微分積分入門<現象解析の基礎>」, 学術図書出版社, (2016 年 02 月 10 日)
- [研究論文(研究会, シンポジウム資料等) 単著【依頼/招待】] 曾我日出夫「Maxell 方程式と弾性方程式の関係について」, 数理解析研究所講究録, 1975, 66-73 (2015 年 11 月 01 日)

#### 研究業績(2) 学会発表など

##### ○ 学会発表等

- [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 曾我日出夫「Maxwell 方程式の一般化と弾性方程式との関係」日本数学会函数方程式分科会(つくば市 筑波大学)[2016 年 03 月 19 日]

#### 研究業績(3) 芸術・体育系の活動

#### 社会的活動、地域貢献など

#### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

#### 科学研究費補助金などの受領

人間環境教育課程	氏名 巽 申直
----------	---------

**教員履歴など**

現 職	特任教授
学歴・職歴	東京教育大学 体育学部 武道学科[1971 年] 東京教育大学大学院 体育学研究科 運動学[1973 年]
学位	体育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本体力医学会 日本武道学会
専門分野	体育学
教育研究概要	(キーワード)身体教育学、武道論、剣道
担当科目	(教養科目)身体活動[ゴルフ II(C)], 身体活動[ゴルフ I(C)] (専門科目)剣道指導法/剣道, 剣道/剣道指導法, コーチング論 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)体育科学総合研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職 1. 日本武道学会, 剣道専門分科会会長(2009 年 04 月～)
---

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**

--

**科学研究費補助金などの受領**

--

学校臨床心理専攻

氏名 岸 良範

**教員履歴など**

現 職	教 授
生年月	1951 年 8 月
学歴・職歴	
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学生相談学会, 日本児童心理・青年精神医学学会, 日本精神分析学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理学特論 II, 臨床心理行政特論, 臨床心理査定演習 II, カウンセリング特論, 特別課題研究

**社会的活動、地域貢献など**

○ 学協会での役職

1. 日本箱庭療法学会, 理事・編集委員・研修委員(2005 年～)

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1952年10月
学歴・職歴	京都大学大学院 教育学研究科[1988年単位取得満期退学]
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本質的心理学会, 日本描画テスト・描画療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本箱庭療法学会, 日本心理臨床学会, 日本芸術療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法) (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ, 心理療法特論, 臨床心理査定演習Ⅰ, 臨床心理学特論Ⅰ, 特別課題研究, 箱庭療法特論, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>(共) 枝井栄利子・守屋英子 「思春期における自立の支えとなるもの ―マンガ・アニメ・ゲーム等にハマるといふ観点から―」 茨城大学教育実践研究 第33号 185-199</p> <p>(単) 守屋英子 「フレックススクールにおけるキャンパスエイド活動の検討 ―平成 25 年度戦略的地域連携プロジェクト結果から―」 心理臨床研究 第7号 3-20</p>
--

### 研究業績(2)学会発表など

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 綿貫由依・守屋英子「交互ぐるぐる描き物語統合法(MSSM法)の体験についての考察Ⅱ ―思春期のクライアントとの会い方を考える―」第47回 日本芸術療法学会[2015年11月28日]</p> <p>2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 堀井祐希・守屋英子「東日本大震災で直接的被害を免れた一大学生の被災体験 ―対話的な自己エスノグラフィを用いて―」日本質的心理学会 第12回大会</p>
---

[2015 年 10 月 04 日]

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 行政機関等での委員就任

1. 「かすみがうら市いじめ問題対策委員会」かすみがうら市
2. 「茨城県いじめ対策連絡協議会」茨城県[委員]
3. 「茨城県警 少年サポートセンター サポートアドバイザー」
4. 「茨城県カウンセリングアドバイザー」茨城県教育委員会
5. 「茨城県自殺対策委員会」茨城県障害福祉課[委員]

## ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 筑波大学・キャンパスエイド研修会講師, 1(時間/月)(2015 年 10 月)
2. [兼業] 茨城県立協和特別支援学校・研修会講師と個別相談会講師, 6(時間/月)(2015 年 10 月～2015 年 10 月)
3. [兼業] 茨城県立結城第二高等学校・研修会講師, 2(時間/月)(2015 年 08 月)
4. [兼業] 水戸教育事務所・研修会講師, 3(時間/月)(2015 年 08 月)
5. [兼業] 茨城県学校保健会つくば支部・研修会講師, 2(時間/月)(2015 年 07 月)
6. [兼業] 茨城県教育委員会義務教育課・緊急派遣スクールカウンセラー(2015 年 05 月～2016 年 03 月)
7. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー, 28(時間/月)(2015 年 04 月～2016 年 03 月)
8. [兼業] 茨城県教育研修センター・教育相談担当臨床心理士, 8(時間/月)(2015 年 04 月～2016 年 03 月)
9. [兼業] 福田カウンセリングルーム・臨床心理士, 16(時間/月)(2015 年 04 月～2016 年 03 月)

## ○ 学協会での役職

1. 日本芸術療法学会, 評議員(2010 年 04 月～)

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 「第6回茨城地域教育臨床研究会(国内)」, 茨城地域教育臨床研究会(水戸)[企画・運営](2015 年 03 月)

## ○ 地域協力活動

1. 茨城県立結城第二高校(連携協定あり)(2011 年 04 月～2016 年 03 月)

学校臨床心理専攻	氏名 正保 春彦
----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1958年11月
学歴・職歴	早稲田大学 文学部 人文専攻[1982年] 筑波大学大学院 心理学研究科 心理学専攻[1988年] 筑波大学心理学系助手(1988年6月～1990年3月) 明海大学外国語学部専任講師(1990年4月～1995年3月) 明海大学外国語学部助教授(1995年4月～2000年9月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター助教授(2000年10月～2009年9月) 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター教授(2009年10月～)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会, 日本人間性心理学会, 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング 集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(専門科目)カウンセリング特講, こころを育てるグループワーク, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)臨床心理基礎実習 I, グループアプローチ特論, 臨床心理基礎実習 II, 特別課題研究

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

矢田部-ギルフォード性格検査からみたワルテック描画テストの反応内容に関する基礎的研究 正保春彦 2000(平成12) 臨床描画研究 第14巻 167頁-182頁.  
小学校における構成的グループエンカウンターによる自尊感情育成の研究 2003(平成15) 星野治子、正保春彦 茨城大学教育実践研究 第22号 63頁-77頁.  
大学と地域の連携による心理教育相談の展開 2003(平成15) 中野明德、小野昌彦、木

- 谷秀勝、飯島 勇、正保春彦 茨城大学教育実践研究 第 22 号 1 頁-17 頁 中学校におけるグループワークの実施 -SGE と GWT を併せて実施して- 正保春彦 2004(平成 16) 茨城大学教育学部紀要(教育科学) 第 53 号 389 頁-398 頁.
- 中学校における構成的グループ・エンカウンターによる共感性育成の研究 正保春彦、湯原深雪 2004(平成 16) 茨城大学教育実践研究 第 23 号 1 頁-11 頁.
- 児童の自尊感情を高めるためのサイコエデュケーションの試み --保護者へのプログラム-- 黒澤千江、正保春彦 2005(平成 17) .10 茨城大学教育実践研究 第 43 号 31 頁-46 頁.
- 構成的グループ・エンカウンターにおけるシェアリングの効果 2005(平成 17) 正保春彦、中嶋健治 茨城大学教育学部紀要(教育科学) 第 54 号 347 頁-360 頁.
- 構成的グループ・エンカウンターにおけるシェアリングの効果(2) 2006(平成 18) 正保春彦、中嶋健治 茨城大学教育学部紀要(教育科学) 第 55 号 1 頁-7 頁.
- 開発的・予防的カウンセリング(グループアプローチ) 正保春彦 教師教育用学習素材コンテンツ 教師の力量アップをめざして 2005 独立行政法人メディア教育開発センター
- 学校教育とこころの問題 子ども・親・教員の苦悩と教育相談 2006. 看護学全書 教育学 173 頁-214 頁 メヂカルフレンド社
- 開発的・予防的カウンセリング 新しい実践を創造する学校カウンセリング入門 国立大学教育実践研究関連センター協議会 教育臨床部会編 62-67 頁, 200 東洋館出版社
- 異学年交流における変形 GWT 法による実践例 2007(平成 19) 正保春彦 茨城大学教育学部紀要(教育科学) 第 56 号 471 頁-481 頁. 児童自立支援施設におけるグループワークの試み 2008(平成 20) 正保春彦、後藤麻紀 茨城大学教育学部紀要(教育科学) 第 57 号 235 頁-246 頁. 中学生の学習集団における「学びあい」のあり方に関する一考察 堀江玲子・正保春彦、2008(平成 20) 茨城大学教育実践研究、第 27 号、33 頁-47 頁.
- 学級経営に生かすグループエンカウンター DVD で見る教育相談の実際 中野明德編 東洋館出版社. 2009.
- 励ましの言葉の受け取り方に関する一考察: 発話群・発話期待群の比較から 中野友貴・正保春彦 2011(平成 23) 茨城大学教育実践研究、第 30 号、13~25 頁.
- 心理臨床教育における二つの不作為と「今、ここ」について 正保春彦、2011(平成 23) 心理臨床研究 第 4 号、8 頁-12 頁.
- あいづちからみた自己一致に関する一考察 - 初心者カウンセラーとベテランカウンセラーの比較から - 鈴木大輝・正保春彦 2012(平成 24) 茨城大学教育実践研究第 31 号、293-305 頁.
- グループワークの心理的効果についての一考察 - 構成的グループ・エンカウンターとインプロヴィゼーションの比較から - 正保春彦 2012(平成 24) 茨城大学教育実践紀要 31、279 頁-291 頁. いじめ問題と「こころでっかち」 正保春彦 2012(平成 24) 心理



臨床研究 第 5 号、1 頁.

茨城大学心理教育相談室の歴史 正保春彦 2013 (平成 25) 心理臨床研究 第 6 号、57 頁-64 頁.

基本的コミュニケーション能力測定尺度 ikxy 作成の試み 正保春彦・葉山大地 2014 (平成 26) 茨城大学教育学部紀要 63、257 頁-536 頁. 高校生の登校回避感情からの回復の過程—— 複線径路等至性モデルによる分析 —— 伊籐寿美・正保春彦 2014 (平成 26 年) 茨城大学教育実践研究 33、201 頁-215 頁. 家庭裁判所親子合宿でのボランティア活動を通して 佐藤たまゆ、松原育子、正保春彦 2014 (平成 26 年) 心理臨床研究  
グループアプローチ・エクササイズの下位分類に関する一考察 —— 構成的グループ・エンカウンター、グループワーク・トレーニング、インプロを比較して —— 正保春彦 2015 (平成 27 年) 茨城大学教育実践紀要 34、225 頁-237 頁. ワークショップにおける開かれた心に関する一考察 正保春彦 2015 (平成 27) 茨城大学教育学部紀要 64

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師, 5(時間/月)(2005 年 04 月～)

#### ○ 地域協力活動

1. 茨城いのちの電話(年度不詳～)
2. 筑波大学附属病院(年度不詳～)
3. 社会福祉法人同仁会(2007 年 02 月～)
4. 水戸家庭裁判所(2006 年～)
5. 水戸市教育委員会(2006 年～)
6. 日立市教育委員会(2006 年 08 月～)
7. 茨城県教育委員会(2006 年 05 月～)
8. 水戸家庭裁判所(2006 年 04 月～)

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 2 月
学歴・職歴	神奈川県立横浜翠嵐高等学校大学院[1991 年卒業] 早稲田大学 第一文学部 哲学科心理学専修[1996 年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学専攻[1999 年修了] 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 4 月～2003 年 3 月) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 2 月～2012 年 9 月) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 4 月～) 茨城大学大学院教育学研究科 准教授(2012 年 10 月～)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会 The International Transactional Analysis Association 日本心理臨床学会 日本心理学会 日本遊戯療法学会 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践(主として Transactional Analysis (交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード)交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投射描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (専門科目)学校における子ども虐待の予防と防止(又職)/学校における子ども虐待の予防と防止(人環) (大学院科目)臨床心理学講読演習, 臨床心理実習 I, 臨床心理査定演習 I, 臨床心理研究法演習, 臨床心理査定演習 II, 臨床心理実習 II, 思春期臨床心理学特論

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [ ]柳田 美智子, 金丸 隆太「新しい中学生用いじめスクリーニング尺度開発 : 予備調査による妥当性検証」, 茨城大学教育実践研究 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 編, 34, 239-248(2015 年 11 月)

## 社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー, 32(時間/月)(2004年04月～)

教育実践高度化専攻	氏名 坂場 克身
-----------	----------

**教員履歴など**

現職	教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

--

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**

--

**科学研究費補助金などの受領**

--

教育実践高度化専攻	氏名 藤田 達人
-----------	----------

**教員履歴など**

現 職	教 授
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 小学校教員養成課程美術科(日本)[1978年03月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻芸術系コース美術(日本)[1996年03月修了] 稲敷郡茎崎村立茎崎中学校(1978年4月～1983年3月) 茨城県教育庁(2001年4月～2005年3月) 大洗町立南中学校(2005年4月～2007年3月) 茨城県教育庁(2007年4月～2009年3月) ひたちなか市立高野小学校(2009年4月～2010年3月) 茨城県教育研修センター(2010年4月～2012年3月) 大洗町立南中学校(2012年4月～2016年3月)
学位	修士(教育学)[上越教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	美術教育実践学会 美術科教育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)学校運営 教育実践
担当科目	

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など****研究業績(2)学会発表など****研究業績(3)芸術・体育系の活動****社会的活動、地域貢献など****海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**



学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 生越 達
------------------	---------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	東京大学 法学部[1984年03月卒業] 東京大学 教育学部 学校教育学科[1986年] 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1992年] 茨城大学教育学部教授(2004年4月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会, 社会臨床学会, 日本人間性心理学会, 日本教育方法学会, 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)生活指導の方法, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育方法学特論, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単著]「これからの学校をどのようにつくっていけばいいのかー教職員間の連携は出来ているかー」, 茨城教育, 549, 4-10(2015年)</p> <p>2. [単著]「これからの学校をどのようにつくっていけばいいのかー学校の抱える当面の課題をどう改善するかー」, 茨城教育, 549, 4-10(2015年)</p> <p>3. [単著]「現代のコミュニケーションスタイルとICT教育」, ICT教育の理論と実践, 12-42(2015年)</p>
--

### 社会的活動、地域貢献など

<p>○ 行政機関等での委員就任</p> <p>1. 「茨城県スクールカウンセラー」</p> <p>2. 「水戸市教科書選定委員」</p> <p>3. 「茨城県研修センター外部評価委員」</p>
---

4. 「看護専任教員養成運営委員会委員」
  5. 「茨城県自殺対策委員」
  6. 「茨城県いじめ対策委員」
  7. 「大洗町評価委員」
- 兼業・兼職
1. [出前授業] 水海道第一高等学校・(2007 年 11 月～)
  2. [出前授業] 中央高等学校・(2007 年 10 月～)
  3. [出前授業] 牛久栄進高等学校・(2007 年 10 月～)
  4. [出前授業] 日立第一高等学校・(2007 年 10 月～)
  5. [出前授業] 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校・(2007 年 07 月～)
  6. [非常勤講師] 看護協会 教育原理・(2007 年 07 月～)
  7. [出前授業] 鉾田第一高等学校・(2007 年 07 月～)
  8. [公開講座] 実践心理教育相談講座(初級)・(2007 年 05 月～)
  9. [出前授業] 茨城県土浦湖北高等学校・(2006 年 11 月～)
  10. [出前授業] 茨城県下館第一高等学校・(2006 年 10 月～)
  11. [出前授業] 茨城県土浦第二高等学校・(2006 年 08 月～)
  12. [出前授業] 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校・(2006 年 07 月～)
  13. [出前授業] 茨城県総和高等学校・(2006 年 07 月～)
  14. [公開講座] 実践心理教育相談講座・(2006 年 05 月～)
  15. [兼業] NPO 法人すだち理事・(2006 年 04 月～)
  16. [公開講座] 実践心理教育相談講座・(2005 年 09 月～)
  17. [その他] 水戸市立第五中学校学校評議員・(2004 年 04 月～)
  18. [その他] 茨城県カウンセリングアドバイザー・(2002 年 04 月～)
  19. [兼業] 茨城県スクールカウンセラー・(1996 年 04 月～)
- 学外教育
1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「免許更新講習」, , ,
  2. [その他]「茨城大学附属中学校公開研究会助言者」, , ,
  3. [その他]「附属小学校公開授業研究会講師」, , ,
  4. [その他]「水戸市総合教育研究所事例検討会講師」, , ,
- 地域協力活動
1. 大子町(年度不詳～)
  2. 東海村(年度不詳～)
  3. いわき市(年度不詳～)
  4. 茨城県青少年アドバイザー(年度不詳～)
  5. 茨城県カウンセリングアドバイザー(年度不詳～)
  6. NPO 法人すだち(年度不詳～)



学校教育教員養成課程(学校教育)

氏名 三輪 壽二

**教員履歴など**

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	一橋大学 経済学部[1985年卒業] 千葉大学大学院 教育学研究科 学校教育[1991年修了]
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会, 日本カウンセリング学会, 日本教育心理学会, 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)空想、適応、主題統覚法検査、コンサルテーション
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)学校教育相談, 心理臨床援助法実習 I, 心理臨床診断法, 学校教育相談/学校教育相談(心理), 心理臨床援助法実習 II, 臨床心理学(健康コース用:免許使えない)/臨床心理学(心理コース用:免許使える), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育臨床心理特論, 臨床家族心理学特論, 人格心理学特論

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]三輪壽二「臨床心理における空想と適応についての序説～TAT 解釈のための序論として～」, 心理臨床研究, 8, 3-8(2016年03月31日)

**研究業績(2)学会発表など**

学会総会シンポジスト「「終末期医療」「尊厳死」「介護保険制度」に対するこれまでの社臨の論点を踏まえて考える」, 日本社会臨床学会第23回総会シンポジウムⅡ「超高齢社会」の福祉と医療を考える、2015.5.24

**社会的活動、地域貢献など**

○ 行政機関等での委員就任

1. 「水戸市家庭裁判所委員会」水戸市家庭裁判所委員会

2. 「日本教職員組合養護教員部会研修会」日本教職員組合養護教員部会[研究協力者]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] リリー保育福祉専門学校・非常勤講師(2008年04月～)

2. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2003年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本社会臨床学会, 会長(2015年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日本社会臨床学会(国内)」, (明星大学)[パネリスト](2015年05月)

○ 地域協力活動

1. 社団法人いはらき思春期保健協会副理事長(2012年04月～)

2. 社団法人いはらき思春期保健協会幹事(2010年04月～)

3. 社団法人いはらき思春期保健協会(2006年04月～)

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学 第二学群 人間学類心理[1988年卒業] 筑波大学大学院 心理学研究科 心理学[1994年単位取得満期退学] 茨城大学教育学部講師(1995年1月～1999年9月) 茨城大学教育学部助教授(1999年10月～2007年3月) 茨城大学教育学部准教授(2007年4月～2011年9月) 茨城大学教育学部教授(2011年10月～)
学位	修士(心理学)[筑波大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本カウンセリング学会, 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード)子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)心理学研究法 I, 心理学文献講読 I, 発達の理解 I/発達の理解A, 心理学統計法, 心理学研究法 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)人間関係特論/学校教育心理学特論

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]渡部玲二郎・江幡綾子「児童のコミュニケーション能力を高めるための実践研究(2)ー小学校におけるアサーション・トレーニングの試みー」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 371-380(2015年07月)
2. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]渡部玲二郎・江幡綾子「児童のコミュニケーション能力を高めるための実践研究(1)ー小学校におけるアサーション・トレーニングの試みー」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 64, 353-370(2015年07月)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 行政機関等での委員就任

1. 「社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師」茨城県看護協会

- 2. 「社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師」茨城県看護協会
- 3. 「埼玉県教育心理・教育相談研究会講師」
- 兼業・兼職
- 1. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・(1998 年 04 月～)
- 2. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・(2010 年 04 月～)
- 3. [非常勤講師] 茨城県立医療大学・(2013 年 04 月～2015 年 09 月)
- 4. [非常勤講師] 富山大学 人間発達科学部・(2014 年 08 月～2015 年 09 月)
- 学協会での役職
- 1. 日本カウンセリング学会, 日本カウンセリング学会常任編集委員(2008 年 04 月～2017 年 03 月)

### 科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
- 1. [科研費]萌芽研究(代表)「「教師による小・中学生のコミュニケーション能力を向上させる方法」の構築」, 500 万円 (2013 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日)
- 共同研究・受託研究
- 1. [国内共同研究]「教師による小・中学生のコミュニケーション能力向上プロジェクト(代表)」, 未詳 (2007 年 12 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 打越 正貴
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1960年9月
学歴・職歴	茨城大学大学院 教育学研究科 学校教育[1999年03月修了]
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学位	修士(教育学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会 教育実践学会 社会科教育開発学会
専門分野	教育学 教育方法
教育研究概要	教育実践に関する研究
	(キーワード)教育実践 授業研究 思考指導 学級経営 生徒指導 教師教育
担当科目	(専門科目)教育課程演習, 教育的関係論演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴, 齋藤茂樹「論理的思考力を育成するための指導方法の改善に関する一考察—説明的文章における思考の共有化を通して—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 395-413(2016年03月)
2. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴, 島本晃宏「生徒の思考力を育成するための理科学習の工夫改善—自分なりに問題解決するための見方や考え方を育てる指導を通して—」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 375-393(2016年03月)

### 研究業績(2)学会発表など

1997年10月 (単)「社会科の授業における単元導入段階に『色と形』の表現活動を生かした学習指導の研究—安土桃山時代を通して—」, 第32回茨城県教育研究会主催教育論文, 優良賞. (概要)茨城県教育研究会『研究紀要』第35集、1998年3月, 90.
1998年7月 教育実践学会第6回学会大会 パネルディスカッション「これからの学校と授業—自ら学び自ら考える力を育てる授業について」パネリスト(於:茨城大学)
1999年10月 (単)「思考力を育成するための実践的研究」, 第34回茨城県教育研究会主催教育論文, 佳作.
1999年12月 (単)「生徒の思考指導に関する実践的研究」(社)茨城県教育会『茨城教育』第801

号, 44-47.

2000 年 11 月 (共)潮来市立延方小学校「自然と触れ合う環境学習—地域の教育資源の効果的な活用を通して—」, 第 3 回(財)げんでん科学技術振興会応募論文, げんでん大賞.

2001 年 11 月 社会科教育開発学会第 8 回研究集会 実践発表「問題解決能力を育成するための実践的研究」(於:ホテルレイクビュー水戸)

2001 年 6 月 第 39 回教育研究会全国大会「地域や学校の特色に応じた総合的な学習の時間」に関する実践研究発表(於:つくば市立吾妻中学校)

(概要)打越正貴「自ら考え追究する力を育てる実践的な研究」(財)ソニー教育財団・ソニー理科教育振興資金受賞校連盟『平成 13 年度理科教育研究集録 豊かな人間性の育成』vol.39, 2001 年 12 月, 24.

2001 年 12 月(共)潮来市立延方小学校「自然とふれあう環境学習」, 第 10 回全国小中学校環境教育賞応募論文, 小学館, 優秀賞.

(概要)潮来市・延方小学校「自然とふれあう環境学習」『環境教育ガイド』(『総合教育技術』8 月号増刊)2002 年 8 月, 小学館, 24-25.

2001 年 10 月 (共)潮来市立延方小学校「自己の生き方にかかわる『問題解決能力』を育成する総合的な学習の時間の在り方」, 第 36 回茨城県教育研究会主催教育論文, 優良賞.

2002 年 2 月 第 2 回全国学校ビオトープコンクール発表会 実践発表(優秀賞).

(概要)「潮来市立延方小学校」(財)日本生態系協会『第 2 回全国学校ビオトープコンクール報告書』2002 年 3 月, 46-49.

2002 年 9 月 (単)「生き物の『ヒミツ』発見 五感を通して自然と触れ合う授業」『たのしい学校』2002 年 2 学期号, 大日本図書, 22-23.

2003 年 4 月 (単)「イメージを『色と形』で具象化する方略」『道德教育』2003 年 4 月号, 明治図書, 21-22.

2003 年 10 月(共)「潮来市立延方小学校「自ら考え, 自ら追究する力を育てる実践的な研究—地域の資源を活用し, 共に学び合うことで問題解決能力の育成を目指した総合的な学習の時間の授業改善を通して—」, 第 27 回「教育に関する研究」茨城県教育弘済会応募論文, 最優秀賞.

(概要)潮来市立延方小学校 代表打越正貴 他全職員「自ら考え, 自ら追究する力を育てる実践的な研究」茨城県教育委員会・(財)茨城県教育弘済会『第 27 回研究論文集』2004 年 4 月, 1-11.

2004 年 4 月 (単)「自立した子どもを目指して」『道德教育』2004 年 4 月号, 明治図書, 22-23.

教育実践高度化専攻	氏名 藤井 とし子
-----------	-----------

**教員履歴など**

現 職	准教授
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

**研究業績(1)論文・著書・翻訳など**

--

**研究業績(2)学会発表など**

--

**研究業績(3)芸術・体育系の活動**

--

**社会的活動、地域貢献など**

--

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**

--

**科学研究費補助金などの受領**

--

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 加藤 崇英
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 11 月
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002 年～2005 年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005 年～2006 年) 国立教育政策研究所 研究員(2006 年～2007 年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007 年～2009 年) 茨城大学教育学部准教授(2009 年～2016 年) 茨城大学大学院教育学研究科准教授(2016 年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育事務学会, 日本スクールコンプライアンス学会, 日本教育行政学会, 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	学校組織に関する理論的・実証的研究 学校評価に関する研究 学校規模に応じた学校マネジメントに関する研究 学校経営における業務改善に関する研究 上記、研究課題に関する学校現場・教職員への支援 (キーワード)
担当科目	(専門科目)教育の制度と経営, 教育行政特講, 教育の制度と経営, 教育行政演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校経営論演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・編者]加藤崇英編著「「チーム学校」まるわかりガイドブック」, 教育開発研究所, (2016 年 03 月 15 日)
2. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]加藤 崇英「「チームとしての学校」を阻む意識(特集「チームとしての学校」を実現する校長のマネジメント)」, 教職研修, <b>44</b> , 6, 29-31(2016 年 02 月)
3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]加藤 崇英「いじめ対応の学校アカウンタビリティと学校評価システムの課題」, スクール・コンプライアンス研究, 3, 6-16(2015 年)



4. [研究論文(学術雑誌)共著]高橋 望, 加藤 崇英「へき地小規模校における学校経営とカリキュラム開発に関する研究動向(教育経営学研究動向レビュー)」, 日本教育経営学会紀要, 57, 242-252 (2015年06月15日)
5. [研究論文(学術雑誌)単著]加藤 崇英「人口減少社会における学校規模の多様性と学校経営(特集 新しい教育課題と学校経営)」, 学校経営研究, 40, 37-47(2015年04月)

### 社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
  1. 日本教育経営学会, 理事(2015年～)
  2. 日本教育経営学会, 研究推進委員(2015年～)
  3. 日本教育経営学会, 国際交流推進委員(2012年～2015年)
  4. 日本教育経営学会, 研究推進委員(2012年～2015年)
- 地域協力活動
  1. [学外審議会・委員会等]「文部科学省・教育相談等に関する調査研究協力者会議委員」(2015年11月～2017年03月)
  2. [学外審議会・委員会等]「平成27年度 鹿嶋市教育行政評価委員会」(2015年07月～2016年03月)
  3. JICA 筑波 中南米からの教員研修による本学訪問時における講義(2009年～)

### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

ニュージーランド ウェリントン ニュージーランド教育省[ヒアリング調査及び資料収集](2016年2月～3月:2日間)

### 科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
  1. [科研費]基盤研究(B)一般(分担)「人口減少社会における地域共生に資する学校適正規模・学校適正配置に関する研究」, 35万円 (2014年04月01日～2017年03月31日)
  2. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「学校経営組織における評価フィードバック機能に関する理論研究」, 130万円 (2013年04月01日～2016年03月31日)
- 共同研究・受託研究
  1. [国内共同研究]「学校評価システムの展開に関する実証的研究(分担)」, 未詳(2007年04月～)

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1972年4月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部[1995年卒業] 東京大学大学院 教育学研究科[2003年単位取得満期退学] 東京大学大学院教育学研究科助手(2003年4月～2005年6月) 茨城大学教育学部助教授(2005年7月～2007年3月) 茨城大学教育学部准教授(2007年4月～)
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会, 日本学生相談学会, 日本心理臨床学会, 日本コミュニティ心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[心理学から見る人間理解] (専門科目)コミュニティ心理学(環境コース)/コミュニティ心理学(心理コース), 人間教育の心理学(教職共通), 心理学史, 総合演習[人環用], 心理特別演習 II, 健康心理学, 人間教育の心理学(教職共通)/人間教育の心理学[人環用教職], 保育内容の研究(人間関係), 心理学実験, 心理特別演習 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育心理学特論, 学校心理学研究法特論

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

打越由美子・丸山広人「特別なニーズを持つ児童への通常学級における支援:特別支援教育支援員としての立場から」, 茨城大学教育実践研究, 33, 171-184, 2014.

### 社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
  1. 「水戸市いじめ問題対策連絡協議会委員」水戸市教育委員会[水戸市教育長]
- 兼業・兼職
  1. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2013年05月～2017年03月)
  2. [兼業] 茨城北西看護専門学校・カウンセラー(2011年12月～2017年03月)

3. [兼業] 茨城県教育研究連盟・助言者(2007年10月～2017年03月)
  4. [兼業] 茨城いのちの電話・講師(2006年04月～)
- 学外教育
1. [自治体での社会教育]「水戸市総合教育研究所内事例検討会」, 2時間, 15名出席, 水戸市総合教育研究所
  2. [自治体での社会教育]「第60回茨城県教育研究連盟研究集会助言者」, 8時間, 20名出席,
  3. [自治体での社会教育]「石岡市適応指導教室研修会(年5回)」, 10時間, 20名出席, 石岡市教育委員会
  4. [自治体での社会教育]「那珂市教育支援センター研修会(年5回)」, 12時間, 30名出席,
  5. [自治体での社会教育]「大子町教育支援センター研修会講師」, 2時間, 30名出席, 大子町教育委員会
  6. [自治体での社会教育]「発達障害等に関する専門家派遣事業 講師(年6回)」, 36時間, 100名出席, 茨城県立盲学校、茨城県友部東特別支援学校
  7. [自治体での社会教育]「子どもホットライン」サポートスタッフ研修会講師」, 2時間, 15名出席, 茨城県教育庁学校教育部義務教育課
  8. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「教員免許状更新講習講師」, 14時間, 300名出席, 茨城大学教員免許状更新講習専門委員会
  9. [自治体での社会教育]「いのちの電話研修会講師(年8回)」, 16時間, 15名出席,
  10. [自治体での社会教育]「教育相談電話相談員全体研修会」, 2時間, 15名出席, 茨城県教育研修センター
  11. [自治体での社会教育]「石岡市学校サポートチーム総会 講演」, 2時間, 100名出席, 石岡市教育委員会

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 杉本 憲子
------------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1973年7月
学歴・職歴	名古屋大学 教育学部 教育学科[1996年卒業] 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育科学[2001年単位取得満期退学]
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会, 日本生活科・総合的学習教育学会, 中部教育学会, 日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	(専門科目)生活科内容研究, 教育の方法と技術, 学習指導特講, 教育の方法と技術, 生活科教育法研究, 学習指導の方法, 学習指導演習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教授学演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

「話し合いの授業にみる子どもの思考の深化に関する一考察：問題とその発展に着目して」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), , 64, 295-307, 2015.

### 研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 杉本憲子「上田薫の動的相対主義の理論と授業研究」日本教育方法学会第51回大会(岩手大学)[2015年10月10日]

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

### 社会的活動、地域貢献など

○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「教育政策の動向についての理解」, , 茨城大学  
2. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「特別活動の今日的課題と実践」, 6時間, 茨城大学

3. [出前授業]「子どもの学びを考える」, , ,

### 科学研究費補助金などの受領

「集団思考の深化を図る授業過程の構築に関する理論的・実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表) (2012 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 青柳 路子
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1975 年 9 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科[1999 年 03 月卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻(日本)[2001 年 03 月修了] 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻[2004 年 03 月単位取得満期退学]
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	教育思想史学会, 教育哲学会, 美術教育研究会, 日本教育学会, 日本人間性心理学会, 美術解剖学会, 日本道德教育学会, 道德教育方法学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード) 道德教育、教育哲学、教育人間学
担当科目	(専門科目) 道德と価値の教育, 教育思想, 教育哲学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 学校教育総合研究, 道德教育特論, 道德教育演習

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著]「生命倫理と道德」, 渡邊満ら (編)「『特別の教科 道德』が担うグローバル化時代の道德教育」, 北大路書房, 117-130 (2016 年 03 月 19 日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]青柳路子「『障害とアートー美術・福祉・教育を結ぶー』, 『美術教育研究』, 20, 19-31(2015 年 09 月)

### 研究業績(2)学会発表など

・「ユング派の『個性化』概念展開にみるライフサイクルと『死』」, 日本教育学会大会(於・東北大学), 2006 年.

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [兼業] 公益財団法人 野間教育研究所・兼任研究員(2006 年 12 月～)

#### ○ 学協会での役職

1. 美術教育研究会, 委員(2008 年～)

2. 美術教育研究会, 編集委員(2011 年～)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「きらきらっとアートコンクール 審査員」(2014 年 10 月～)

### 科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「「いのちの教育」における「身体」の位置づけ—歴史的展開からの再考—」, 140 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

教育実践高度化専攻	氏名 照屋 翔大
-----------	----------

### 教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	筑波大学 第二学群 人間学類 教育学専攻[2004年03月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(一貫制博士課程) 教育学主専攻[2010年03月その他] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(博士後期課程) 教育基礎学専攻[2010年08月単位取得満期退学] 愛知東邦大学(2010年9月～2011年3月) 愛知東邦大学(2011年4月～2016年3月) 茨城大学大学院(2016年4月～)
学位	修士(教育学)[筑波大学大学院人間総合科学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育経営学会 日本教育行政学会 日本教育学会 日本教育制度学会 筑波大学教育学会 American Educational Research Association
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)学校経営学、学校改善論、地方教育行政のリーダーシップ
担当科目	

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・分担執筆]小島弘道 編著『全訂版 学校教育の基礎知識』, 協同出版, 125-138(2015年08月01日)</p> <p>2. [その他・分担執筆]水本徳明 編著『実践教育法規 2015』, 小学館, 20-21, 66-67, 68-69, 70-71, 72-73(2015年06月15日)</p> <p>3. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著]今津 孝次郎, 正岡 元, 大勝 志津穂, 照屋 翔大, 伊藤 龍仁「[調査報告]スマートフォン等の利用に関する実態-愛知東邦大学1年生と東邦高校全生徒-」, 東邦学誌, <b>44</b>, 1, 193-210(2015年06月10日)</p> <p>4. [(MISC)その他記事単著【依頼/招待】]照屋翔大「アメリカの動向④ 学校改善を支える教育行政の評価(世界の学校経営最新事情)」, 日本教育新聞(平成27年5月4・11日版), 3(2015年05月)</p> <p>5. [(MISC)研究論文単著【依頼/招待】]照屋 翔大「アメリカにおける「学区を基盤にした学校改善」</p>
--



の考え方と実践：学区事務局のリーダーシップに着目して」, 学校経営研究, 40, 48-69 (2015 年 04 月)

#### 研究業績(2) 学会発表など

#### 研究業績(3) 芸術・体育系の活動

#### 社会的活動、地域貢献など

##### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 名城大学大学院 大学・学校づくり研究科・(2012 年 09 月～2016 年 03 月)

##### ○ 学協会での役職

1. 日本教育経営学会, 国際交流委員会 委員(2015 年 06 月～2018 年 06 月)

2. 北名古屋市教育委員会, 学校運営推進協議会(現:北名古屋市豊かな学び創造推進協議会)アドバイザー(2012 年 06 月～)

3. 北名古屋市教育委員会, 外部評価委員(2012 年 06 月～2016 年 03 月)

#### 海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

#### 科学研究費補助金などの受領

##### ○ 競争的資金の獲得

1. [科研費] 若手研究(B)(代表)「教委と学校のコラボレーションを核にした学校評価システムの構築に関する日米比較研究」, 325 万円 (2015 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 2 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部[1983 年 03 月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1985 年 03 月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1988 年 09 月中退] 広島大学大学院 教育学研究科 教育人間科学専攻[2005 年 03 月修了] 九州産業大学 教授(2001 年 4 月～2004 年 3 月) 九州産業大学大学院 教授(2004 年 4 月～2010 年 3 月) 茨城大学教育学部 教授(2010 年 4 月～)
学位	教育学修士[広島大学] 博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチー・フレーベル学会 教育哲学会 日本道德教育学会 日本道德教育方法学会
専門分野	教育学、教育哲学、道德教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[現代教育の諸問題] (専門科目)教育哲学特講, 教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念[人環用教職], 平和教育の理論と実践, 教育史演習 I, 教育の本質と理念(教職共通), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育原論特論, 教育原論演習, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [著書・編者]渡邊満・押谷由夫・渡邊隆信・小川哲哉 編「シリーズ「特別の教科 道徳」を考える3 中学校における「特別の教科 道徳」の実践」, 北大路書房, (2016 年 03 月)
2. [著書・編者]渡邊満・押谷由夫・渡邊隆信・小川哲哉 編「シリーズ「特別の教科 道徳」を考える 1 「特別の教科 道徳」が担うグローバル化時代の道徳教育」, 北大路書房, (2016 年 03 月)
3. [著書・共著]小川哲哉『教育哲学の課題「教育の知とは何か」－啓蒙・革新・実践－』, 福村出版, 329－343(2015 年 06 月 05 日)

(全学教職センター)	氏名 柴原 宏一
------------	----------

### 教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>東北大学 理学部 生物学科動物生理学講座[1977年03月卒業]</p> <p>茨城県立日立商業高等学校(1978年4月～1983年3月)</p> <p>茨城県立日立北高等学校(1983年4月～1998年3月)</p> <p>茨城県教育庁高校教育課(1998年4月～2005年3月)</p> <p>茨城県立太田第一高等学校(2005年4月～2008年3月)</p> <p>茨城県教育庁高校教育課(2008年4月～2010年3月)</p> <p>茨城県立日立北高等学校(2010年4月～2011年3月)</p> <p>茨城県教育庁高校教育課(2011年4月～2013年3月)</p> <p>茨城県教育庁(2013年4月～2015年3月)</p> <p>茨城大学教育学部(2015年4月～2016年3月)</p> <p>学校法人東京家政学院筑波学院大学(2015年4月～2016年3月)</p> <p>茨城大学教育学部(2016年4月～)</p>
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本教育制度学会 日本道德教育方法学会 日本教育実践学会
専門分野	教育学
教育研究概要	<p>教育制度改革が進む中、子どもたちと直に接して教育を担う教員の資質向上を図るためには、開放制のもとでの教員養成において、教育委員会とどのように連携すれば効果的な教員養成に繋がるのかという課題意識を持ちながら取り組んでいます。</p> <p>(キーワード)教育制度 教員養成 地方教育行政 初等中等教育 アクティブラーニング(協働的な学び)</p>
担当科目	

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

### 研究業績(2)学会発表など

### 研究業績(3)芸術・体育系の活動

**社会的活動、地域貢献など**

## ○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城教育みらい塾(国内)」, [招待講演](2015 年 12 月)
2. 「学校法人土浦日本大学学園 岩瀬日本大学高等学校 生徒講演会(国内)」, [招待講演](2015 年 11 月)
3. 「学校法人茨城 茨城高等学校・中学校 校内研修会(国内)」, [招待講演](2015 年 09 月)
4. 「学校法人東京家政学院 筑波学院大学 FD・SD」, [招待講演](2015 年 08 月)

## ○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「茨城県立日立第一高等学校・附属中学校 学校評議員」(2015 年 04 月～)
2. [その他公的社会活動]「茨城県立古河中等教育学校 学校評議員」(2015 年 04 月～)

**海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など****科学研究費補助金などの受領**

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

### 教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年10月
学歴・職歴	島根大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻国語教育専修[1998年03月修了]
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本文学協会, 表現学会, 日本読書学会, 日本国語教育学会, 全国大学国語教育学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[「声」を届ける] (専門科目) 初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講 II, 教職のためのパブリックスピーキング, 国語科教育法演習 I, 読書と豊かな人間性, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 国語科教育特論 II, 言語文化総合研究, 国語科教育演習 II, 特別課題研究

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

・文学作品と国語教科書—「泣いた赤おに」の教材化をめぐる—, 単著, 『茨城の国語教育』(茨城国語教育学会)第14号, 18—28頁, 2015.3

### 社会的活動、地域貢献など

- ・日本国語教育学会茨城支部研究会講師, つくばカピオ(つくば市), 2014.8
- ・東海村立東海中学校校内研修講師, 2014.10
- ・全労済茨城県本部小学生作品コンクール作文の部審査員, 2015.2
- ・日本国語教育学会茨城支部研究会講師, 茨城大学(水戸市), 2015.2

附属教育実践総合センター	氏名 五島 浩一
--------------	----------

### 教員履歴など

現職	准教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	北浦村立北浦中学校(1984年04月～1990年03月) 水戸市立新荘小学校(1990年04月～1994年03月) 茨城大学教育学部附属小学校(1994年04月～2009年03月) 牛久市立下根中学校(2009年04月～2011年03月) 水戸市立第一中学校(2011年04月～2013年03月)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)教科教育、理科教育、教育方法、教師教育
担当科目	(専門科目)教師の資質と教職設計A, 教師の資質と教職設計B

### 研究業績(1)論文・著書・翻訳など

#### ○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著]「学校現場の視点からとらえた養護実習の在り方」, 日本養護教諭教育学会, 19, 1(2015年09月30日)

### 社会的活動、地域貢献など

#### ○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城県立中央看護専門学校・(2015年09月～2016年01月)

#### ○ 地域協力活動

1. 那珂市教育委員会「那珂市研究主任研修会」(2015年05月～)
2. 茨城県水戸教育事務所[地域貢献事業]「中学校研究主任研修会講師」(2015年01月～)
3. [地域貢献事業]「那珂市研究主任研修会講師」(2014年05月～)
4. [地域貢献事業]「鹿嶋市立鹿島小学校理科要請訪問指導講師」(2013年11月～)
5. [地域貢献事業]「神栖市教育会理科教育研究部研修会講師」(2013年08月～)
6. [地域貢献事業]「日立市教育研究会教育課程研究部研修会講師」(2013年02月～)